西山町文化財調査報告書第８集

新潟県刈羽郡西山町

坪之内塚群・坪之内遺跡
発掘調査報告書

－県代行町道南慶寺線道路改築工事に伴う発掘調査－

２００５年３月

西山町教育委員会

新潟県刈羽郡西山町

坪之内塚群・坪之内遺跡
発掘調査報告書

－県代行町道南慶寺線道路改築工事に伴う発掘調査－

２００５年３月

西山町教育委員会

例　言

1．本書は、新潟県刈羽郡西山町大字坂田字坪之内・大字新保字向山に所在する坪之内塚群・坪之内遺跡の発掘調査報告書である。

2．発掘調査及び整理作業は県代行町道南鹿寺線道路改築工事に伴い西山町が新潟県（柏崎土木事務所、平成16年度は新潟県柏崎地域振興局）と委託契約を交わして行った。調査主体は西山町教育委員で、発掘調査は平成12年6月12日から平成14年9月9日まで行い、引き続き平成17年3月2日まで報告書作成を行った。

3．遺物の注記には遺跡・塚群の略称として「ツボ」を用い、塚の号数もしくは地区記号、調査年度の下二桁を付けた。出土資料及び記録は西山町教育委員会が保管している。

4．本報告書の作成は中島義人の指示のもと整理作業員が行い、本文の執筆及び編集は中島が行った。

5．本文・図版中の北は真北を指す。遺構表記中の方位は真北に対するものである。

6．遺構平面図の作成及び諸測量、空中写真の撮影は平成12・13年度は国際航業（株）に、平成14年度は（株）朝日航洋に委託して行った。なお、発掘調査は測地系の変更前に開始されたため、旧測地系による数値を用いている。

7．現場の土色観察及び土器の色調観察には『新版標準土色帖』（小山・竹原1967）を用いた。

8．発掘調査においてはの地元坂田・新保集落、地権者代表委員会をはじめとする地権者の皆様から多大な御理解・御協力をいただきました。また、坂田・新保・北野集落の皆様からは、調査作業員として御協力を賜りました。ここに厚くお礼を申し上げます。

9．縄文時代の遺物については小熊博史氏、弥生時代・古墳時代については滝沢規朗氏、中世及び塚群については品田高志氏から、勾玉については寺村光晴氏・藤田富士夫氏から多大なご教示を得た。誤記等については全て筆者の責である。また、発掘調査から報告書作成に至るまで以下の方々及び機関から御教示・協力を頂いた。記して感謝申し上げます。

春日真実　木島　勉　北村　亨　笹沢正史　田中　亨　田海義正　渡邊裕之
新潟県土木部道路維持課市町村道係　新潟県柏崎土木事務所　新潟県柏崎地域振興局
新潟県教育庁文化行政課

目　　次

第Ⅰ章　調査に至る経緯 …… 1

第Ⅱ章　遺跡の環境 …… 2
1. 地理的環境 …… 2
2. 歴史的環境 …… 2
a．縄文時代 …… 2
b．弥生時代・古墳時代 …… 5
c．古代・中世 …… 5
d．塚・塚群 …… 5

第Ⅲ章　調査概要 …… 8
1. 調査方法 …… 8
2. 調査経過 …… 8
a．平成12年度の調査 …… 8
b．平成13年度の調査 …… 10
c．平成14年度の調査 …… 10
3. 調査体制 …… 11
4. 遺構・遺物の概観 …… 11

第Ⅳ章　坪之内塚群 …… 14
1. 坪之内塚群の概要 …… 14
2. 塚 …… 14
3. 塚群出土遺物 …… 17

第Ⅴ章　坪之内遺跡A地区 …… 19
1. 坪之内遺跡A地区の概要 …… 19
2. 坪之内遺跡A地区の遺構 …… 19
3. 坪之内遺跡A地区の遺物 …… 29

第Ⅵ章　坪之内遺跡B地区 …… 35
1. 坪之内遺跡B地区の概要 …… 35
2. 坪之内遺跡B地区の遺構 …… 35
3. 坪之内遺跡B地区の遺物 …… 39

第Ⅶ章　坪之内遺跡C地区 …… 42
1. 坪之内遺跡C地区の概要 …… 42
2. 坪之内遺跡C地区の遺構 …… 42
3. 坪之内遺跡C地区の遺物 …… 44

第Ⅳ章　まとめ …… 47
1. 坪之内塚群 …… 47
2. 縄文時代中期 …… 47
3. 弥生時代後期～古墳時代後期 …… 49
4. 古代 …… 49
5. 中世 …… 49

《要　約》
《引用・参考文献》

表　目　次

表1　坪之内塚群と西山町の塚群
表2　坪之内塚群・坪之内遺跡編年表
別表1　塚一覧表
別表2　住居等一覧表
別表3　遺構一覧表
別表4　出土遺物一覧表
別表5　土器陶磁器計測表
別表6　打製石斧計測表
別表7　磨製石斧計測表
別表8　石鏃計測表
別表9　その他石器・石製品計測表
別表10　古銭計測表
別表11　鉄滓計測表
別表12　その対物計測表

挿図目次

第1図　坪之内塚群・坪之内遺跡と周辺の遺跡
第2図　坪之内塚群と周辺の地形
第3図　坪之内塚群と西山町の塚群
第4図　ｸﾞﾘｯﾄﾞ設定図

図版目次

図面図版
図版1　塚群全体実測図　1:1500
図版2　1号塚実測図　1号塚　1:40
図版3　2号塚実測図　2号塚　1:40
図版4　3・4号塚実測図　3・4号塚　1:40
図版5　5号塚実測図　5号塚　1:40
図版6　6・7号塚実測図　6・7号塚　1:40
図版7　8号塚実測図　8号塚　1:40
図版8　9・10・11号塚実測図　9・10・11号塚　1:40
図版9　坪之内遺跡A地区遺構全体実測図　1:500
図版10　A地区遺構実測図1　1:20
図版11　A地区遺構実測図2　1:20
図版12　A地区遺構実測図3　1:20
図版13　A地区住居跡実測図1　住居1A・B　1:30
図版14　A地区住居跡実測図2　住居2、住居3　1:30
図版15　A地区住居跡実測図3　住居4　1:30
図版16　A地区住居跡実測図4　住居5、住居6　1:30
図版17　A地区住居跡実測図5　住居7、住居8　1:30
図版18　A地区住居跡実測図6　住居9　1:30
図版19　A地区建物跡、柵跡、炉跡実測図　建物1・柵1・柵2・炉1・炉2　1:30
図版20　A地区遺構個別実測図1
図版21　A地区遺構個別実測図2
図版22　A地区遺構個別実測図3
図版23　A地区遺構個別実測図4
図版24　A地区遺構個別実測図5

図版 25　A地区遺構個別実測図 6
図版 26　A地区遺構個別実測図 7
図版 27　B地区遺構全体実測図　1:400
図版 28　B地区遺構実測図 1
図版 29　B地区遺構実測図 2
図版 30　B地区遺構個別実測図 1　1:60・1:300
図版 31　B地区遺構個別実測図 2
図版 32　B地区遺構個別実測図 3
図版 33　B地区遺構個別実測図 4
図版 34　B地区遺構個別実測図 5　西壁、北側壁、北斜面西側中腹壁
図版 35　C地区遺構全体実測図
図版 36　C地区建物跡実測図　建物 1
図版 37　C地区遺構個別実測図
図版 38　遺物実測図 1　1 号塚～5 号塚
図版 39　遺物実測図 2　6 号塚～11 号塚・盛土
図版 40　遺物実測図 1（土器類）　住居 1A・B
図版 41　遺物実測図 2（土器類）　住居 1A・B、住居 2
図版 42　遺物実測図 3（土器類）　住居 2、住居 3、住居 4、住居 5
図版 43　遺物実測図 4（土器類）　住居 6、住居 7
図版 44　遺物実測図 5（土器類）　住居 9
図版 45　遺物実測図 6（土器類）　住居 9
図版 46　遺物実測図 7（土器類）　住居 9
図版 47　遺物実測図 8（土器類）　住居 9
図版 48　遺物実測図 9（土器類）　住居 9、建物 1、柵 2
図版 49　遺物実測図 10（土器類）
図版 50　遺物実測図 11（土器類）
図版 51　遺物実測図 12（石器類）
図版 52　遺物実測図 13（石器類）
図版 53　遺物実測図 14（石器類）
図版 54　遺物実測図 15（石器類）
図版 55　遺物実測図 16（石器類）
図版 56　遺物実測図 1
図版 57　遺物実測図 2
図版 58　遺物実測図 3
図版 59　遺物実測図 4
図版 60　遺物実測図 5

図版 61　遺物実測図 6
図版 62　遺物実測図 1
図版 63　遺物実測図 2
図版 64　遺物実測図 3
図版 65　遺物実測図 4
図版 66　遺物実測図 5
図版 67　遺物実測図 6

写真図版

第Ⅰ章　調査に至る経緯

西山町では、昭和63年に地域振興の拠点として西山インターチェンジ脇に「西山町工業団地」を造成し、その企業誘致のためにアクセス道路である町道南慶寺線の早急な整備が望まれていた。しかし、当路線が通過する地域は軟弱地盤であり、さらに北陸自動車道との立体交差が必要なことから、高度な技術力と資金を要するため、西山町単独で整備を行うことが困難であった。西山町は新潟県交通資源対策課や道路維持課などと協議を重ね、建設省に「過疎地域活性化特別措置法第14条第１項」の規定に基づく指定の申請を行い、平成10年４月１日付けで前記規定に基づく基幹道路の指定を受け、新潟県が過疎代行路線として整備を行うことが決定された。その後に決定された道路法線内の丘陵上に周知の遺跡坪之内塚群が存在したため、新潟県柏崎土木事務所（以下「柏崎土木事務所」）と西山町教育委員会（以下「町教委」）で埋蔵文化財の取り扱いに関する協議が行われた。町教委は新潟県教育庁文化行政課（以下「県文化行政課」）と協議し、柏崎土木事務所へ法線変更の可否について照会したが、地理的条件などから法線の変更は困難であるとの回答を得た。さらに、丘陵の地盤が軟弱なことから掘削幅が大きくなるため、塚群全体が掘削範囲に含まれることに決まり、現状保存は無理となった。そこで、事業主体である新潟県の負担で、工事に先立ち坪之内塚群を記録保存のための発掘調査を行うこととなった。その後、柏崎土木事務所長は平成11年８月10日付柏土第135号で文化庁長官宛に文化財保護法第57条の３第１項の規定による通知を町教委を通じて行い、新潟県と西山町が平成12年５月１日付けで発掘調査の委託契約を結んだ。西山町教育長は平成12年６月５日付西教第82号で新潟県教育長宛に文化財保護法第58条の２第１項の報告を行い、発掘調査に着手した。なお、平成16年度は新潟県柏崎地域振興局と委託契約を締結した。

第Ⅱ章　遺跡の環境

1．地理的環境

西山町は新潟県の中央やや南寄り、柏崎平野北東部に位置する。行政区域は東西15.47km、南北13.75km、面積56.63㎢である。この地域は柏崎平野と新潟平野の境に位置する。町域は中山間地帯に当り、町の東には長岡市との境をなす曾地丘陵が東頸城丘陵の北麓から延び、西側の海岸線沿いには荒浜砂丘から始まる西山丘陵が弥彦山・国上山・角田山へと続く。この両丘陵は褶曲により形成され、この地形構造特有の油田・ガス田が周辺に多く存在し、吉井・西山・関原などの中央油帯を形成する。この両丘陵の間には別山川が南へ流れ、柏崎市内で鯖石川に合流する。別山川流域には氾濫原堆積物からなる沖積層が広がり、柏崎平野の北端を形づくる。

坪之内塚群・坪之内遺跡は曾地丘陵の西側の独立した丘陵に位置し、地籍は坂田・新保にあたる。この独立丘陵の西側には別山川の支流である坂田川が流れ、遺跡の東には面ヶ池がある。丘陵の最頂部は標高約46m、周辺の水田で約21m前後であり、比高は約25m前後である。

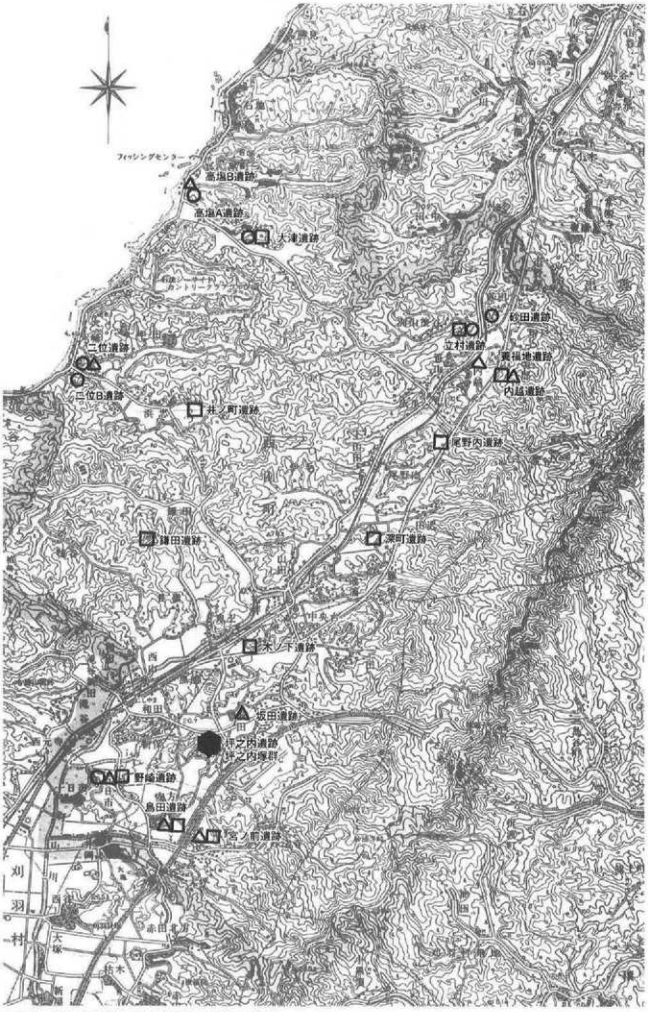
2．歴史的環境

西山町は古代国郡制の当初は古志郡に属し、その後分立して三嶋郡となった。「刈羽郡」の名称は正平12（1357）年の鎌倉二階堂覚音寺領の文書で初めて現れ、正保２（1645）年より公称としての「苅羽郡」が用いられた。正徳２（1712）年の「正徳二年令」から草冠が取れ「刈羽郡」になったとされる。古代三嶋郡の郡域は明らかではないが、ほぼ現在の刈羽郡に一致するものと考えられる。『和名類聚抄』によると三嶋郡には三嶋・高家・多岐の三郷があったとされる。郷域は諸説があり、別山川流域が多岐郷であるということは一致している。しかし、海岸部の石地・大津・大崎・浜忠地区を多岐郷に入れるか高家郷に入れるかで見解が別れる。その他、町内に比定される地名に長橋庄・野崎保がある。物部神社・御島石部神社・石井神社・多岐神社の四社が延喜式内社に比定される。

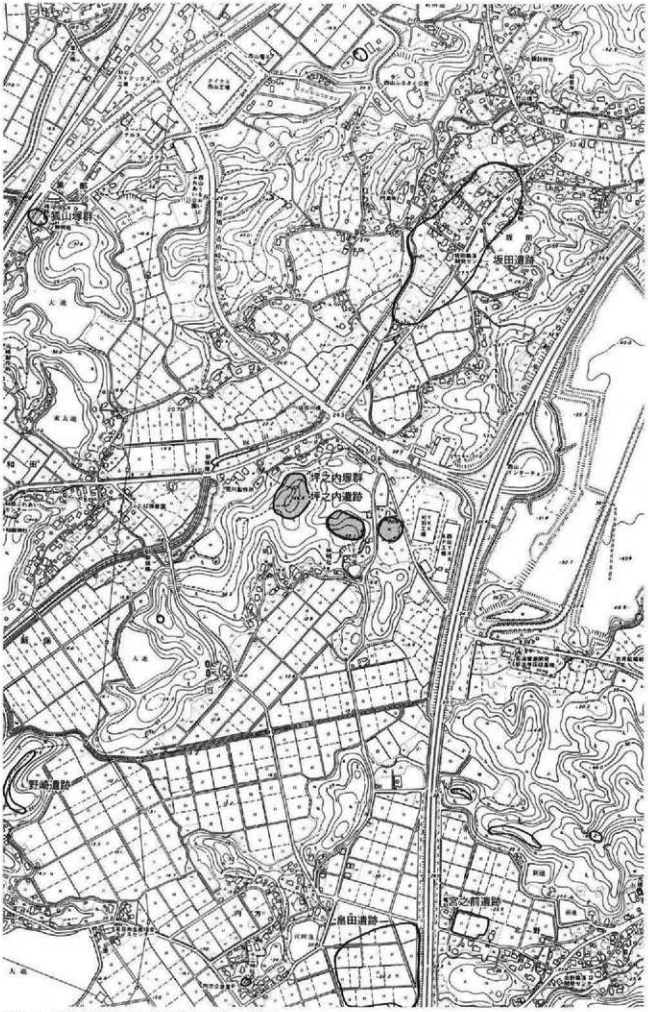
西山町で確認されている埋蔵文化財包蔵地は176件で、遺物包含地・集落跡は21件、城館跡は11件、製鉄跡・石塔が各１件、他の142件は塚もしくは塚群である。（平成17年１月31日現在）

a．縄文時代

縄文時代の遺跡は、坪之内遺跡の他に高塩Ａ遺跡、大津遺跡、二位殿遺跡、二位殿Ｂ遺跡、多岐ノ脇遺跡、砂田遺跡、野崎遺跡がある。高塩Ａ遺跡、二位殿遺跡は海岸に面した砂丘上に立地する。高塩Ａ遺跡からは中期初頭の土器が、二位殿遺跡からは火炎型土器の鶏冠状把手の一部が出土している。別山川西側の多岐ノ脇遺跡、砂田遺跡は、いずれも西山丘陵の東にのびる支尾根上に立地する。多岐ノ脇遺跡は前期後葉から中期前半頃に位置づけられる。発掘調査では竪穴住居三棟が検出され、住居内から蛇紋岩の擦り切石が出土した。別山川東岸の野崎遺跡は大池を巡る独立段丘上とその周辺に広がり、発掘調査では縄文時代後期前葉から晩期中葉



第1図　坪之内塚群と坪之内遺跡と周辺の遺跡（S=1：50,000）



第2図　坪之内塚群・坪之内遺跡と周辺の地形

の遺物が出土している。

b．弥生時代・古墳時代

弥生時代の遺跡には内越遺跡、坂田遺跡がある。内越遺跡は発掘調査で、弥生時代末期から古墳時代前期の竪穴住居等が見つかり、当期の弥生土器とともに後北Ｃ１式の続縄文土器が出土した（新潟県教委1983）。野崎遺跡でも弥生時代の遺物が確認されている。古墳時代の遺跡には高塩Ｂ遺跡、畠田遺跡、宮ノ前遺跡がある（西山町教委1983、2001、2003）。高塩Ｂ遺跡は海岸部の砂丘に立地する。発掘調査で遺構は確認されなかったが、包含層から古墳時代前期及び後期の遺物がまとまって出土した。両時期の遺物はそれぞれ時期的なまとまりが認められる。古墳時代前期の遺物には小型丸底坩・小型器台・Ｓ字状口縁甕・鉢などがあり、畿内や東海などの影響がみられる。畠田遺跡と宮ノ前遺跡は隣接する古墳時代後期の遺跡で同一の集落跡と見られる。竪穴住居３棟等の遺構が検出され、須恵器・土師器が出土した。

c．古代・中世

古代・中世の遺跡は多く、発掘調査が行われたものに井ノ町遺跡、畠田遺跡、宮ノ前遺跡、尾野内遺跡、内越遺跡がある。井ノ町遺跡は西山丘陵の海岸側の支尾根の麓に立地する９世紀前半の遺跡である。大型の柱穴をもつ掘立柱建物や旧河川跡などが検出され、鞴の羽口・鉄滓などの製鉄関連の遺物が出土した。宮ノ前遺跡では100㎡を超える大型掘立柱建物、井戸などが検出され、灰釉陶器が多数出土した。また、中世では陶磁器と共に多量の木製品・漆器が出土している。尾野内遺跡では古代の竪穴住居１棟・中近世の墓壙群・炭焼窯などが検出されている。内越遺跡では製鉄炉・炭焼窯が見つかっている。西山丘陵・曾地丘陵には山城が点在する。

d．塚・塚群

西山町では142基の塚が確認されている。これらの多くは群をなし、西山・曾地丘陵の支尾根先端部の尾根上や独立段丘の頂部などに立地するものが多い。分布は大きく三カ所に分かれ、別山川流域東側で西山町南部を中心とし物部神社の付近を北限とする地域、別山川上流の両岸で多岐神社周辺の地域、そして希薄ではあるが海岸部である。発掘調査が行われたものは狐山塚群（新潟県教委1973）と二塚（町教委1991）のみである。狐山塚群は３基が調査されたが、塚と認められたものは２基であった。１号塚に近接する擂り込みから五輪塔・宝篋印塔が出土した。塚本体は後世の盗掘を受けており、その内部構造を確認することはできなかったが、１号塚の攪乱内から中世後期の珠洲焼壺の破片が出土しており、墳墓としての性格が想定される。二塚の調査では人工的な盛土などは確認できたが、内部構造は把握できず、その性格は不明である。

第3図　坪之内塚群と西山町の塚群（S=1：50,000）

表1　西山町の塚群

No.	名　称	所　在　地	基数	配置	立地
1	別山塚	別山字尾頃部	1	単独	水田内
2	礼拝塚群	鬼王字中山	6	群集	先端
3	狐山塚群	黒部字狐山	2	並置	先端
4	二塚	大崎字妻山	2	並置	頂部
5	石上経塚	大崎字石上	1	単独	尾根上
6	山城塚群	大崎字山城	6	直列	尾根上
7	井の町須藤家の塚	浜忠字井の町	1	単独	先端
8	井の町の塚群	浜忠字井の町	2	並置	尾根上
9	鎌田百塚	鎌田字西ヶ峰・長表	24	直列	頂部
10	多岐ノ協塚群	別山字多岐ノ脇	6	直列	頂部
11	別山後谷の塚	別山字後谷	1	単独	頂部
12	山寺の塚	別山字山寺廻	1	単独	頂部
13	塚崎の塚群	別山字熊ノ谷	5	直列	先端
14	灰爪の塚群	灰爪字向平	4	直列	頂部
15	甲田ヶ谷の塚群	二田字甲田ヶ谷	2	並置	頂部
16	西ヶ入の塚群	二田字西ヶ入	2	並置	頂部
17	六百苅の塚群	二田字六百刈	9	群集	先端
18	車田の塚	二田字車田	1	単独	先端

No.	名　称	所　在　地	基数	配置	立地
19	善五郎塚群	坂田字善五郎	7	直列	先端
20	石甲塚の塚群	坂田字善五郎	3	分散	頂部
21	刃田の塚群	坂田字刃田	2	並置	先端
22	坪之内塚群	坂田字坪之内	11	群集	頂部
23	向山の塚	新保字向山	1	単独	頂部
24	桑田の塚群	北野字桑田	2	並置	頂部
25	小橋の塚群	五日市字小橋他	8	分散	頂部
26	内方神社の塚群	内方字宮ノ下	2	並置	先端
27	妙法寺の大塚	妙法寺字檜浦	1	単独	頂部
28	峰の塚群	北野字峰	3	直列	頂部
29	北野塚群	北野字峰	15	直列	尾根上
30	カヤ場の塚群	北野字カヤ場	4	直列	尾根上
31	谷地ノ入の塚	大坪字谷地ノ入290	1	単独	頂部
32	西小路の塚	大坪字西小路285	1	単独	先端
33	脇之多の塚	大坪字脇之多	1	単独	尾根上
34	大塚の塚群	大坪字大塚	2	並置	尾根上
35	石上の塚	大崎字石上813	1	単独	先端

第Ⅲ章　調査概要

1．調査方法

調査に先立ってグリッドの設定を行った。設定には国土座標（旧測地系）を用い、調査範囲が広がることを考慮して、法線全体を網羅する方眼を組んだ（第4図）。方眼は5mとし、東西方向をX軸、南北方向をY軸として数字をつけた。包含層出土の遺物の取り上げはこのグリッド単位とした。グリッド原点の旧測地系による国土座標はX＝159855.000、Y＝13795.000である。グリッド杭の設置は遺構測量と併せて業務委託で行った。

坪之内塚群の調査は地表面で確認できる盛土とその周囲の表土を剥がし、周辺施設の存在を確認した。塚は十字の層位図を作成できるようにベルトを設定し、表土、盛土を掘削し、地山面を確認して層位図を作成することとした。各塚の名称（号数）は新潟県遺跡台帳のものである。

坪之内遺跡の調査では調査区が3ヶ所となったため、A地区・B地区・C地区とした。重機、人力により表土・包含層を掘削して遺構を検出した。検出した遺構は1:100の概略図を作成し、遺構番号を付けた。遺構番号は重複を避けるため、A地区では1～1000を、B地区で1001～2000を、C地区で2001以降を用いた。検出順に通し番号をつけたが、現場での混乱や重複を避けるために途中に欠番を残した。また、住居跡、建物跡には整理作業の段階で別に番号を付けた。本報告で使用する遺構番号は基本的に現場で用いたものである。

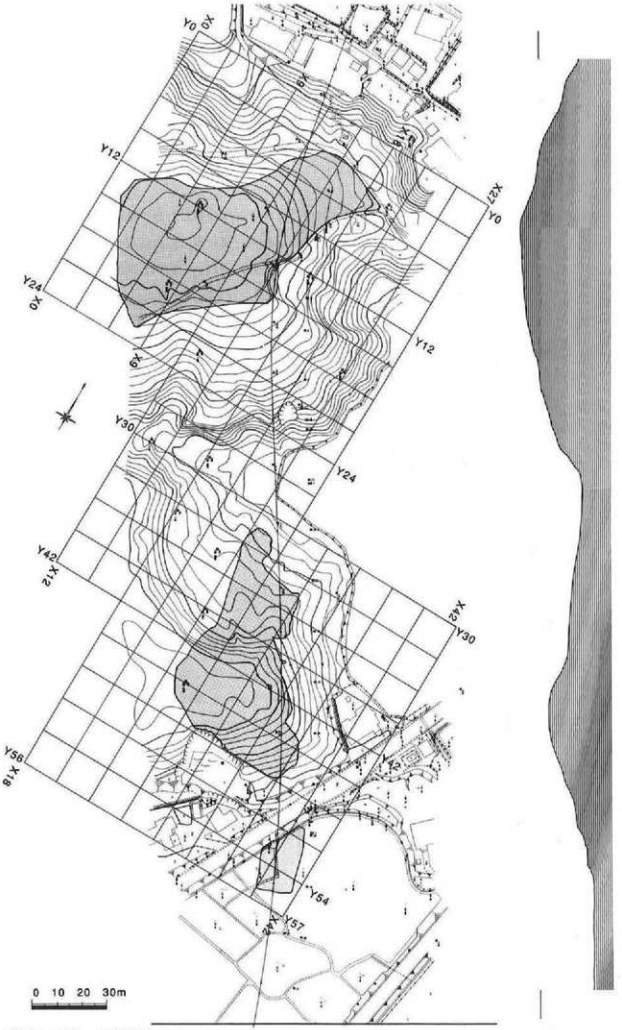
※グリッド原点の世界測地系による座標はX＝160205.1182、Y＝13513.8541である。

2．調査経過

a．平成12年度の調査

坪之内塚群の発掘調査は用地の買収と立木の伐採を待って開始した。発掘に先立ち塚の現況写真の撮影と地形測量を行った。平成12年6月12日、撮影前に下草を刈り、翌13日にラジコンヘリコプターによる空中写真の撮影を行った。その後、グリッド杭の設置、現況地形の測量を行い、7月3日に地権者・柏崎土木事務所・西山町・町教委・発掘調査参加者が集まり、調査及び工事の安全のための祈願祭を行い、発掘調査に着手した。

発掘調査は用地買収・樹木伐採の日程などから、事前調査を行えずに着手した。しかし、塚のサブトレンチから縄文土器や石器が多量に出土し、トレンチの下部に竪穴住居の堀込みが確認されたた。そのため、塚群の調査を一時中断して下層遺構の分布状況を調査したところ、他にも竪穴住居などの遺構が確認された。そこで西山町教育長は平成12年9月8日付で県文化行政課長宛に坪之内遺跡を新発見の遺跡として報告を行った。当初想定していない遺跡が発見されたことから調査計画の変更が余儀なくされたため、新潟県土木部道路維持課・柏崎土木事務所と町教委の間で協議し、塚群の調査に引き続き坪之内遺跡の調査を行うこと、平成13年度以降も発掘調査を継続して行うことを確認し、平成12年12月5日付で委託契約の変更契約を行っ



第4図　グリッド設定図 (S=1：1,500)

た。平成12年度は坪之内塚群の調査を完了し、坪之内遺跡の調査に一部着手した。平成13年3月14日に塚完掘状況の空中写真撮影を行って現場作業を終了した。

b．平成13年度の調査

平成12年度の調査で丘陵上に展開する縄文時代集落の存在が判明したが、法線内の他の範囲については確認がされていなかった。そこで、遺跡の範囲を確定するため南側の丘陵の試掘調査を行うこととなった。当該範囲は未買収地であったため、買収予定地内の試掘調査を行うことの了解を地権者から得て試掘調査を行った。調査の結果、谷部で大型の落ち込みを確認し、その上面から縄文土器・土師器・磨製石斧などが出土した。また、丘陵上では幅約1m、深さ1m弱の溝が巡ることがわかり、文化行政課へ坪之内遺跡の範囲変更の報告を行った。その後、柏崎土木事務所と調査計画変更のための協議を行い、当初計画範囲の調査終了後に継続して発掘調査を行うこと、平成14年度まで発掘調査を継続することの了解を得た。

平成13年度の現場作業は平成13年5月29日より着手した。北側調査区の調査は9月27日まで行い、仮設機材の移動、表土掘削などを行った後、10月17日から12月13日まで南側調査区の発掘調査を行った。この南側調査区から翡翠製の勾玉が出土し、マスコミ発表及び今後の遺跡の取り扱いについて柏崎土木事務所・県文化行政課・町教委で協議を行った。しかし遺跡の性格が不明瞭であるため、平成14年度調査で勾玉出土地点の周辺の様相を早急に把握し、工事への影響を検討することとなった。町教委は平成14年1月15日に富山市埋蔵文化財センター所長藤田富士夫氏に出土品について教示を受け、2月19日に西山町役場庁舎内で報道陣に対し勾玉出土についての発表を行った。

c．平成14年度の調査

平成13年度の試掘調査で南側の丘陵上にも遺跡範囲が広がり、南側に隣接する水田内にも遺跡が存在する可能性が考えられたため試掘調査を行った。試掘調査では多量の須恵器・土師器・中世陶器が出土し、柱穴・土坑などの遺構も確認された。そのため、坪之内遺跡の範囲変更を県文化行政課へ報告した。また、土木事務所と協議し、平成14年度の調査計画を変更した。なお、この時点で調査区が3ヶ所となり煩雑となったため、塚群下層の調査区を坪之内遺跡A地区、南側丘陵上及び谷部の調査区をB地区、田圃内の調査区をC地区として記録・出土遺物などの整理を行うこととした。

当年度の発掘調査はB地区・C地区併行して5月20日から開始した。平成13年度調査で出土した勾玉と遺跡の関係によっては工事に影響も出るため、B地区丘陵上の調査を最優先に行ったが、墓壙や弥生時代の住居跡は確認されなかった。発掘調査は9月7日まで行い、現地調査をすべて完了した。整理・報告書作成作業は平成15・16年度も継続して行った。

3．調査体制

調査主体　新潟県刈羽郡西山町教育委員会　　教育長　三嶋千穎
総　　括　伊比弘毅（西山町教育委員会教育課長、平成12・13年度）
　　押見忠保（　　〃　　教育課長、平成14年度）
　　市橋眞三子（　　〃　　教育課長、平成15・16年度）
庶　　務　中野芳子（　　〃　　副参事、平成12・13・14年度）
　　廣川君子（　　〃　　副参事、平成16年度）
調査担当　中島義人（　　〃　　主事）
調 査 員　多々静治（西山町臨時職員、平成12・13年度）
　　若松　茂（西山町臨時職員、平成12年度）
　　神林昭一（西山町臨時職員、平成12年度）
作 業 員　地元雇用作業員

4．遺構・遺物の概観

坪之内塚群・坪之内遺跡の発掘調査では多岐にわたる時代の遺構遺物が確認された。ここで、時期の名称を便宜的に以下のように設定し、記述に用いる（表2）。

縄文時代

縄文時代中期前葉末から中葉、大木7b式段階～大木8b式新段階である。長岡市中道遺跡の中道Ⅰ期、Ⅱ期及びそれに先行する時期である。

弥生時代後期

弥生時代後期から古墳時代初頭である。田嶋氏の編年（田嶋1986）の2群から6群に相当する。

古墳時代中期

古墳時代前期後半から古墳時代中期中葉にあたる。田嶋氏の編年の9群から13群に相当する。

古墳時代後期

古墳時代後期、田嶋氏の編年の15群に相当する。

古代

春日氏の編年（春日1999）のⅥ期を中心とした時期のものが出土した。

中世

珠洲焼編年（吉岡1994）のⅡ期からⅢ期、13世紀前半から後半が中心である。Ⅳ期以降のものも若干出土している。

近世

18世紀から19世紀代である。

a．遺構

塚　塚の呼称は新潟県遺跡台帳に掲載されている名称をそのまま用いた。塚の各部名称として、盛土・基壇・周溝を用いた。

住居　縄文時代のものと見られる掘り込みを伴う竪穴住居、もしくは柱穴の並び及び炉の存在などから住居と見なしたものである。内部施設に炉（地床炉・石組炉）、壁、ベッド状遺構、周溝、柱穴、床（貼床）がある。

建物　縄文時代以外のものと見られる掘立柱建物をさす。

構　柱穴が列をなして直線的に並ぶもの。

フラスコ状土坑　上面直径に対して底部直径が大きい土坑である。

ピット　比較的小さい穴で、弥生時代以降の柱穴もしくはその他の穴となるもの。建物などの構成が確認できなかったものである。

道　中世以降のものと見られ、現在は埋没している山道である。

土壙墓　大型の方形掘り込みで、覆土に小骨片が混入するもの。

以上の他に土坑、倒木痕を遺構の分類に用いた。

b．遺物

縄文時代

土器

坪之内塚群・坪之内遺跡A地区から出土した土器はいずれも大木８b式段階の限定された時期のものである。器種は深鉢が多く、浅鉢が少量、台形土器が１点ある。

石器・石製品

打製石斧、磨製石斧、石鏃、尖頭器、凹み石・叩石、三角刀形石器、不定形石器、礫石器、剥片、石皿、立石がある。

装飾品

土製耳飾、大珠が各１点ある。

弥生時代後期

当期の土器には高杯・器台・壷・甕がある。勾玉が１点ある。玉

古墳時代中期

土師器では碗・高杯・壷・甕がある

古墳時代後期

土師器の碗・高杯・甕が確認される。須恵器杯蓋が１点出土した。

古代

須恵器・土師器・緑釉陶器がある。須恵器には杯蓋・有台杯・無台杯・壷・甕があり、土師器では無台碗・甕・鍋が確認される。緑釉陶器は有段皿が１点見られる。

中世

珠洲焼、土師器皿、瓷器系陶器、青磁がある。珠洲焼は擂鉢・壷・甕がある。

近世

陶磁器の碗、寛永通宝が出土している。肥前系陶器、瀬戸などが確認される。

これらの他に、鉄滓（鍛冶滓）、羽口、鉄製品が出土した。

表2　坪之内塚群・坪之内遺跡編年表

坪之内遺跡			東北		中道遺跡（長岡市教委1998）	清水上（新潟県教委1996）	笹山遺跡（十日町市教委1998）	北陸	坪之内遺跡A地区	
縄文時代	中期	前葉	大木7b			前葉③	1期	新崎Ⅱ		
		中葉	大木8a	古	Ⅰ期	中葉①～③	2期	天神山（上山田）	住居6	
				新						
			大木8b	古	a期		3期		住居1A・9・2・4・7	
				新	b期				住居3	

		春日（1994）	晶田（1992）	田嶋（1986）	坂井・川村（1993）	新潟ジョ'	吉岡（1991）	機内
弥生時代後期	弥生後期			1群		1	V-1・2	
				2群		2	Ⅵ-1	
				3群		3	Ⅵ-2	
				4群	Ⅰ（最新）	4	Ⅵ-3	庄内Ⅰ
	古墳前期		Ⅰ-1	5群	Ⅱ-1	5	古墳Ⅰ-1	庄内Ⅱ
			Ⅰ-2	6群	Ⅱ-2	6	古墳Ⅰ-2	庄内Ⅲ
		Ⅰ期	Ⅰ-3	7群	Ⅱ-3	7		庄内Ⅳ
		Ⅱ期	Ⅰ-4	8群	Ⅲ	8		布留Ⅰ
古墳時代中期		Ⅲa期	Ⅱ-1	9群	Ⅳ	9		布留Ⅱ
			Ⅱ-2	10群		10		布留Ⅲ
		Ⅲb期	Ⅱ-3	11群				布留Ⅳ
		Ⅳ期	Ⅲ-1	12群				TK208
	古墳中期		Ⅲ-2	13群				TK23
			Ⅳ-1	14群				TK47
	古墳後期		Ⅳ-2	15群				MT15・TK10
古墳時代後期			Ⅳ-3					TK43

	越後（春日1999）	田嶋（1988）	出雲（1997）	佐渡（坂井他1991）	三浦部（品田2001）	古志郡	宮ノ前遺跡
Ⅴ期・古代	Ⅴ2	Ⅴ2	Ⅰ-2～Ⅰ-4		前掛り		
	Ⅵ1	Ⅵ1		カメ畑		八幡林Ⅰ地区上層	Ⅰ
	Ⅵ2	Ⅵ2	Ⅱ-1	江ノ下	宮田SD-345 宮田SD-378a	八幡林C地区	Ⅱ
	Ⅵ3	Ⅵ3					
	Ⅶ1	Ⅶ1	Ⅱ-2古	高野	深町SX-33	門新外割田	Ⅲ

		吉岡（1994）
Ⅵ期・中世	中世	Ⅰ期
		Ⅱ期
		Ⅲ期
Ⅶ期・近世	近世	１８～１９世紀

第Ⅳ章　坪之内塚群

1．坪之内塚群の概要

坪之内塚群は新潟県刈羽郡西山町大字坂田字坪之内と大字新保字向山に跨って位置する。坪之内塚群は11基からなり、これは二群に分けられる。ここでA群、B群とする。A群は1号塚から8号塚からなり、丘陵頂部の標高46m前後の平坦面に位置する。この平坦面は東西約60m、南北約50mの広さを持つ。B群は9号塚から11号塚からなり、丘陵中腹の標高38m前後の平坦部に立地する。

A群の1号塚から7号塚は頂上平坦部の北側縁辺に立地する。8号塚は頂上の中央付近に位置し、形態的にも他の塚と区別される。縁辺を巡るものは5号塚を除き調査前の形状では半球状を呈していた。8号塚は平面方形、頂部が平坦な台状で大型のものである。B群の塚はいずれも半球形に近いものであった。

2．塚

1号塚

現況　丘陵頂部平坦面の北東縁辺に位置する。形状は低平な半球形で頂部は平坦である。直径4.8m、高さ0.8mである。周溝などの痕跡は地表面では観察されない。

盛土　暗褐色土が主体の層、地山土である黄褐色土が主体の層、暗褐色土に黄褐色土がブロック状に混入する層からなり、それぞれがほぼ水平に堆積する。盛土の下層には旧表土と見られる黒褐色土層が薄く残る。

基底部　周溝は旧表土層から掘り込まれており、幅0.5m前後の溝がほぼ一辺約5.5mの隅丸正方形に巡る。周溝の深さは検出面から0.3m前後で、断面はV字形を呈し、最深部は細い坦な面になる。周溝最深部から盛土頂部までの高さは1.4mになる。周溝の覆土は暗褐色土で、塚側からの流れ込みと見られる。東側の周溝の南半分は後世の土壙墓（1号土壙墓・2号土壙墓）により破壊される。周溝の覆土から遺物は出土しなかった。

遺物　盛土内から須恵器甕の体部破片、石鏃、不定形石器が出土した。（1～4）

2号塚

現況　丘陵頂部平坦面の北東縁辺に位置する。低平な半球形で、平面直径4.4m、高さ0.7m、頂部はやや広い平坦部を持つ。塚の南東部を1号土坑が切る。

盛土　ほぼ水平に堆積する。その多くは黒褐色を基本とした層で、地山土を含む層が薄く入る。盛土の下部には縄文時代の包含層と竪穴住居があり、盛土内からも多量の縄文時代の遺物が出土した。

基底部　周囲より若干の盛り上がりを見せるが、明瞭な掘り込みは把握できなかった。

遺　物　盛土内から縄文土器、石鏃、不定形石器が出土した。（5～7）

3号塚

現況　丘陵頂部平坦面の北側縁辺に位置する。4号塚の東に接して築かれる。低平な半球形で長径5.6m、短径4.6m、高さ0.8mである。

盛土　レンズ状に堆積する。暗褐色土・黒褐色土の層に褐色土が混ざる。地山土はほとんど混入しない。最下層の第7層は1号住居の覆土で、第6層が縄文時代の包含層、第5層が旧表土層である。

基底部　旧表土層が削られて、基底部となる。その高さは約10センチ弱と低い。地山面の掘り込みは確認されなかった。

遺物　打製石斧、磨製石斧が出土した。(8～10)

4号塚

現況　丘陵頂部平坦面の北側縁辺に位置する。3号塚の西側に接して築かれる。半球形で長径3.4m、短径2.7m、高さ0.5mである。

盛土　地山土の混入がほとんど見られない暗褐色層が盛られ、ほぼ均一な層からなる。3号塚と同様に下部に1号住居が存在する。西側の掘り込みは5号塚の周溝である。

基底部　南側の裾で旧表土層を削って成形する。北側の裾は1号住居の覆土を削って裾を成形している。

遺物　須恵器甕体部、縄文土器、磨製石斧、凹石(11～15)

5号塚

現況　丘陵頂上平坦面の縁辺から斜面にかけて築かれる。平面形は長方形に近く、等高線にほぼ直行し、南北方向に長い。長辺のほぼ中央に若干のくびれが見られる。頂部はおおむね平坦である。長さ12.1m、最大幅7.8m、くびれ部の幅5.4mである。調査当初から2基の塚がつながったものと考えられたが、盛土に攪乱が多く、層位からは確認できなかった。周溝は「コ」の字状で端部が内側に若干屈曲する。盛土の括れ部の下にこの屈曲があることから2基の塚が接して築かれたものだと考えられる。盛土がこの周溝に壊されていないことから周溝に囲まれた北側の盛土が先行して築かれたものである。

盛土　長軸ベルト北側の盛土は褐色土もしくは黒褐色土と地山土がほぼ交互に水平に堆積する。各層は薄く、ほぼ均一な厚さである。長軸南側の盛土は黒褐色土が主体となる。盛土の前後関係は攪乱により把握できない。

基底部　北側盛土の基底部は周溝が確認され、南側盛土の基底部は浅い掘り込みの周溝が西側に見られる。

遺物　打製石斧、剥片、寛永通宝が出土した。(16～19)

6号塚

現況　丘陵頂部縁辺に築かれる。半球形で直径6.45m、高さ1.4mである。

盛土　黒褐色土と暗褐色土が主体で地山土を含む層が所々に見られる。

基底部　4.5m×5.1m、高さ0.15mの方形に地山を削って基底部を成形する。

遺物　陶器擂鉢、寛永通宝（20・21）

7号塚

現況　丘陵頂部縁辺に築かれる。半球形で直径5.0m、高さ1.0mである。

盛土　暗褐色土を主体に水平に堆積する。所々に地山土の小ブロックが混入する。

基底部　一辺約4mの方形で、高さ約0.15mに地山土を削る。

遺物　石鏃（22）

8号塚

現況　丘陵頂部平坦部のほぼ中央に築かれる。10.4m×8.5mのほぼ方形である。南東角は丸みを帯びて広がる。頂部は広く平坦で、周囲との比高は0.7m～0.9mである。頂部平坦面のほぼ中央に直径0.9m、深さ0.3mの掘り込みが確認された。

盛土　暗褐色土、黒褐色土、灰黄褐色土がほぼ水平に堆積する。地山土は細かいブロック状に所々に混入する。頂部の掘り込みは確認面から0.7mの深さまで達しており、盛土の層位を断ち切っていることから、塚の構築後に掘り込まれたことがわかる。

基底部　東側では地山の掘り込みが確認できなかった。西側は長さ10.6mの基底部が確認された。隅丸方形の基底部が想定される。

遺物　陶器碗、須恵器甕、石鏃、大珠、磨製石斧、不定形石器、寛永通宝（23～34）

9号塚

現況　半球形で直径約3.5m、高さ1.0mである。

盛土　暗褐色土と黒褐色土を主体に上半はレンズ上に堆積し、下半は水平に堆積する。

基底部　旧表土層を地山まで掘り込んで基底部を作る。基底部の高さは0.15mである。

遺物　弥生土器壷、土師器甕、須恵器無台杯（35～38）

10号塚

現況　丘陵頂部縁辺に築かれる。半球形で長径3.2m、短径2.9m、高さ0.6mで、平面形は楕円形である。

盛土　褐色土を主体に水平に堆積する。

基底部　塚の周囲に地山を掘り込んだ周溝が巡る。周溝は北西側が途切れる。周溝が明瞭に残る南側で幅1.6，深さ0.2mである。

遺物　珠洲焼擂鉢（39）

11号塚

現況　長径5.3m、短径3.3mの楕円形で、高さは0.9mである。北側は現代の山道により削られており、山道との比高は1.7mである。

盛土　山道側斜面を中心に巨樹が生えており、層位には木根が多く混入する。確認できる部分では堆積は水平で褐色土と暗褐色土が主体である。

基底部　東側に地山を削った段が確認される。

遺物　土師器椀、須恵器甕、珠洲焼擂鉢、磁器椀（40～43）

その他の遺構

1号土坑

2号塚の南東側裾上に築かれる。長径4.3m、短径3.0mの楕円形で、深さは約0.5mである。覆土はしまりが弱く黒色で灰を多く含み、何らかの焼成を行ったものと見られる。

1号土壙墓

1号塚・2号土壙墓を切る。掘方は長径3.5m、短径2.3mの隅丸方形に近い長楕円形である。深さ約1.1m、壁の立ち上がりは上部が大きく開き、下部は垂直気味である。床面は長径1.7m、短径0.8mの隅丸方形で平坦である。覆土は明褐色土が主体で、掘削後にそれほど時間をおかずに埋め戻したことが想定される。

2号土壙墓

1号塚を切り、1号土壙墓に切られる。1号土壙墓に直行する。平面形は長径2.4m以上、短径1.4mの隅丸方形である。深さは約1.0m、壁は垂直気味に立ち上がる。床面は長径1.9m以上、短径1.0mの隅丸方形で平坦である。

3．塚群出土遺物

坪之内塚群の出土遺物の多くは下層の坪之内遺跡の包含層や遺構を掘り返した際に混入したと考えられる。塚の構築に伴って埋納されたと見られる遺物は出土していない。塚の表土や周辺からは寛永通宝や近世の陶磁器が少量出土しており、これらが塚の構築時やその後の活動に伴うものと考えられる。

5・12・13は深鉢で口縁部に隆線による渦巻文様を描く。大木8 b式である。石器・石製品

では打製石斧、磨製石斧、不定形石器、凹石、大珠がある。打製石斧の石材は安山岩もしくは頁岩でいずれも撥形である。磨製石斧は安山岩と蛇紋岩がある。安山岩のものは刃部を磨くもので、蛇紋岩製のものは定格式磨製石斧である。石鏃は無茎の２・６，有茎の22・30がある。31は翡翠製の大珠である。中央近くで斜めに割れる。中央に直線的な穴が貫通する。

弥生時代後期の土器に、碗、有段口縁壷、甕がある。40は底部輪台充填法で成形され、口縁部は緩く内湾気味に立ち上がる。35の口縁部下端は外側に肥厚し段をなす。36は口縁端部をつまみ上げ、内面にハケ調整を行う。

古代では須恵器無台杯、甕、中世では珠洲焼擂鉢がある。38は底部回転ヘラ切り痕をナデ消す。25～27・42は頸部に２条の波状文と沈線が巡る。26・27は同一個体の可能性がある。

近世の遺物には陶器の碗・皿・擂鉢、寛永通宝がある。いずれも塚の表土もしくは周辺の表土層から出土した。43は肥前系の染付けの皿である。

第Ⅴ章　坪之内遺跡Ａ地区

１．坪之内遺跡Ａ地区の概要

坪之内遺跡Ａ地区は坪之内塚群の調査中に発見された遺跡である。遺構の分布は塚群と同様に丘陵頂部の平坦面と中腹の狭い平坦部の二箇所に別れる。丘陵頂部は縄文時代の竪穴住居からなる集落跡である。塚群が築かれる際に包含層はほとんど削られているものと見られ、表土を除去するとすぐに遺構面が検出される状況である。平坦面の縁辺は緩やかに傾斜が始まっており、竪穴住居はいずれもこの傾斜地で検出されている。竪穴住居の壁面がこの傾斜により消失していることから、平坦面はさらに広がっていたものと見られる。

中腹平坦部に分布する遺構は掘立柱建物やピット、土坑などで、遺物は弥生時代以降のものが多い。このことから頂部の遺構群とは明瞭に分けられるものと考えられる。

丘陵頂部の標高は46m前後、丘陵中腹部の遺構分布範囲の標高は38m前後である。

２．坪之内遺跡Ａ地区の遺構

住居１Ａ（10－９）

平面形態：楕円形竪穴住居

規模：長軸5.6m、短軸4.8m、周壁の高さ0.4m

内部施設：石組炉、周壁、柱穴

炉：長方形石組炉、長軸1.28m、短軸0.84m、炉のほぼ中央に粗製の小型深鉢を埋設。炉石の一部に半分に割れた石皿が使われる。

柱穴：炉の周囲に多くのピットが巡る。主柱穴は６本と見られる。

遺物：縄文土器（深鉢・浅鉢）、炉内埋設土器、打製石斧、磨製石斧、石皿、叩石、不定形石器

その他：住居１Ｂを切る。遺物は覆土中層以上からのものと、炉周辺のものが多い。

住居１Ｂ（10－９）

平面形態：楕円形竪穴住居

規模：長軸5.8m、短軸5.2m、周壁の高さ0.2m

内部施設：地床炉、柱穴、ベッド状遺構、周溝、柱穴

炉：直径0.7mのほぼ円形の範囲が被熱によりやや赤く変色する。

柱穴：ベッド状遺構の内側に柱穴が３基確認できる。

周溝：周壁の内側に幅0.1m前後の周溝が巡る。

遺物：調査の段階で住居１Ｂとの切り合いが確認できなかった。

その他：住居１Ａ・５号塚周溝に切られる。

住居2（11－10）

平面形態：楕円形竪穴住居

規模：長軸7.2m、短軸5.2m、周壁の高さ0.1m

内部施設：地床炉、柱穴、ベッド状遺構

炉：長軸2.0m、短軸0.5の長楕円形。ほぼ中央に粗製の小型深鉢を埋設する。

柱穴：ベッド状遺構の内側を沿うように柱穴が巡る。主柱穴は6本と見られる。

ベッド状遺構：住居の西半に残る。幅0.3m、床面からの高さ0.1m以内である。

遺物：縄文土器（深鉢）、石鏃、尖頭器、打製石斧、磨製石斧、不定形石器

その他：住居の上に2号塚が築かれており、検出状態ではすでに上部を削っていたものと見られる。検出面上面で多量の遺物が出土した。

住居3（12－10）

平面形態：円形竪穴住居か

規模：長軸4.6m、短軸3.9m

内部施設：埋設土器

埋設土器：住居のほぼ中央に位置する。

柱穴：主柱穴は8本と見られる。平面形は円形もしくは楕円形に近く、規模は0.6～0.8m前後、深度は最大のもので0.5mを測る。柱穴の底部はほぼ平坦である。

遺物：縄文土器（深鉢）、埋設土器、打製石斧、磨製石斧

その他：周壁・炉は確認された。

住居4（13－11）

平面形態：円形竪穴住居

規模：長軸7.0m、短軸6.4m、周壁の高さ0.4m

内部施設：地床炉、周溝、柱穴

炉：長軸0.9m、短軸0.5m。

周溝：周壁の内側に幅0.15m、深さ0.1m以内の周溝が巡る。

柱穴：炉を中心に5本の柱穴が確認される。北東側は攪乱を受けている。主柱穴は6本と見られる。柱穴規模は平面直径0.5m～1.0mの円形もしくは楕円形で、深度は0.3m前後である。

遺物：縄文土器（深鉢）、石鏃、磨製石斧、不定形石器

その他：床面は北に向かい緩やかに傾斜する。東は現代の山道に壊される。

住居5（12－12）

平面形態：長方形柱穴群

柱穴：直径0.8m前後の円形。深度は0.4m前後。
遺物：縄文土器（深鉢）、打製石斧、不定形石器
その他：遺物は柱穴覆土から少量出土した。

住居6（14－13）
平面形態：円形竪穴住居
規模：長軸（6.0m）、短軸（6.0m）、周壁の高さ0.3m
内部施設：地床炉2、柱穴、ベッド状遺構、埋設土器
炉：1基は長軸1.4mで、もう1基は長軸0.9m、短軸0.4mである。
ベッド状遺構：南側壁沿いに幅0.5m、床面からの高さ0.1mのベッド状遺構が巡る。
遺物：縄文土器（深鉢）、打製石斧
その他：床面は北東方向に緩く傾斜する。

住居7（12－15）
平面形態：円形竪穴住居
規模：長軸7.0m、短軸4.3m、周壁の高さ0.1m
内部施設：地床炉、柱穴、周壁、周溝
炉：長軸2.4m、短軸0.5mの長楕円形の地床炉である。中央を道382が切る。
柱穴：周壁内に小ピットが巡る。
周溝：南北壁沿いに幅0.2m、深度0.1mの周溝が走る。
遺物：縄文土器（深鉢）、叩石、不定形石器
その他：確認面上面で縄文土器の小片が多量に検出された。住居東側は道382とその東側の平坦面の造成により破壊される。

住居8（12－15）
平面形態：楕円形竪穴住居か
規模：長軸4.5m、短軸3.5m
柱穴：六角形に並ぶ。直径0.5m～1.0m、深度0.3m～0.4m、柱穴底部は平坦である。
その他：住居7と切り合いを持つ。

住居9（8－18）
平面形態：楕円形竪穴住居
規模：長軸8.0m、短軸5.4m、周壁の高さ0.4m
内部施設：地床炉、柱穴、ベッド状遺構、周溝、貼床

炉：長軸2.3m、短軸0.9mの長楕円形。被熱の厚さ0.2mである。

柱穴：地床炉を中心に6本ないし8本の主柱穴が巡ると見られる。

ベッド状遺構：住居西側の周壁内側に幅0.4m、床面からの高さ0.1mのベッド状遺構が巡る。平坦面は住居内側に緩く傾斜する。

周溝：住居西側のベッド状遺構上の周壁沿いに幅0.1m、深度0.15mの周溝が巡る。

貼床：厚さ5cm以下、灰色粘質土の貼床が地床炉周辺に貼られる。

遺物：縄文土器（深鉢・浅鉢・台形土器）、石鏃、叩石、不定形石器、玉髄

その他：遺物は覆土中及び貼床直上から多量に出土する。住居東側へ緩やかに傾斜し、周壁が見られない。

建物1（13－5）

平面形態：長方形掘立柱建物（3間×2間）

規模：桁行き4.8m、梁行き3.6m

柱穴：直径0.4m～0.7mの円形で、深度は最大で0.5mである。

遺物：柱穴覆土から土師器甕の口縁部破片が出土した。

その他：北側の柱穴が不明瞭であり、さらに北に延びる可能性がある。

柵1（13－5）

形態：柱穴3基からなる柵

規模：長さ5.4m

柱穴：直径0.4mの円形、深度0.5m以内。

その他：柱穴1基は溝702により切られると見られる。建物1の東梁間に平行する。目隠し塀と見られる。

柵2（13－5）

形態：柱穴5基からなる柵

規模：長さ7.5m

柱穴：直径0.4mの円形、深度は最大で0.6mである。

遺物：柱穴覆土から土師器甕の底部破片が出土した。

その他：建物1の南側桁行きにほぼ並行する。

炉1（3－18）

形態：石組炉

規模：長軸1.4m、短軸0.7mの範囲を中心に焼土が分布する。

炉石：南側と西側の二辺に炉石が残存する。炉石に加工の痕跡は見られない。
その他：中央やや西寄りの焼土面に直径15cm、深さ5cmほどの窪みがある。炉に伴うと見られる柱穴は確認できない。

炉2（4－17）
形態：地床炉
規模：長軸1.1m、短軸0.5m。
その他：被熱の厚さは0.1m、堅く焼け締まる。炉に伴うと見られる柱穴は確認できない。

土坑114（10－13）
形態：楕円形
規模：長軸0.69m、短軸0.52m、深度0.11m。
その他：覆土は2層、下層は床面上に薄く堆積する。

土坑172（9－12）
形態：長楕円形
規模：長軸1.95m、短軸0.66m、深度0.87m。
その他：北側下部は根による攪乱を受ける。

土坑196（6－12）
形態：楕円形
規模：長軸1.0m、短軸0.68m、深度0.27m。
その他：底部はやや丸みを帯びる。

土坑250（8－19）
形態：円形
規模：長軸0.92m、短軸0.90m、深度0.18m。
その他：覆土は3層で水平に堆積する。底部丸みを帯びる。

土坑202（7－19）
形態：長楕円形
規模：長軸1.70m、短軸0.80m、深度0.60m。
その他：底部は浅い凹凸を持つ。

土坑585（11－12）

形態：円形

規模：長軸0.58m、短軸0.64m、深度0.39m。

その他：覆土は3層で水平に堆積する。テラスを持つ。

土坑392（13－16）

形態：不整形

規模：長軸0.89m、短軸1.02m、深度0.50m。

その他：底部は平坦な面を持つ。住居3と切り合いを持つ。

土坑254（8－18）

形態：楕円形

規模：長軸1.06m、短軸1.65m、深度0.26m。

遺物：縄文土器（深鉢）

その他：底部はやや平坦で、覆土は両側からの流れ込みと見られる。

土坑629（10－11）

形態：隅丸長方形

規模：長軸1.00m、短軸0.62m、深度0.20m。

その他：底部中央がやや窪む。覆土は2層で水平堆積である。

土坑653（13－13）

形態：円形

規模：長軸0.68m、短軸0.56m、深度0.23m。

遺物：縄文土器（深鉢）

その他：底部は丸みを帯びる。

土坑630（9－9）

形態：長楕円形

規模：長軸1.92m、短軸0.78m、深度0.21m。

その他：覆土は4層で、流れ込みが見られる。底部は平坦で、中央に小さな窪みを持つ。

土坑651（13－12）

形態：楕円形

規模：長軸1.21m、短軸0.86m、深度0.35m。
その他：住居4に隣接する土坑である。底部は平坦面を持つ。

土坑709（3－14）
形態：円形
規模：長軸0.86m、短軸0.91m、深度0.31m。
その他：底部は丸みを帯びる。

土坑716（2－15）
形態：楕円形
規模：長軸1.43m、短軸0.94m、深度0.44m。
その他：底部は広い平坦面を持つ。南側の壁は垂直気味に立ち上がり、北側は中位にテラスを持つ。

土坑743（3－17）
形態：長楕円形
規模：長軸1.11m、短軸2.00m、深度0.24m。
その他：底部は細かい窪みをもつ。

土坑765（5－18）
形態：楕円形
規模：長軸0.88m、短軸0.64m、深度0.20m。
その他：底部は凹凸がある。

土坑768（4－18）
形態：円形
規模：長軸1.01m、短軸0.97m、深度0.13m。
遺物：縄文土器（深鉢）
その他：底部は広い平坦面にやや浅い凹凸を持つ。覆土の堆積は水平に近い。

倒木痕384（9－17）
形態：不整形
遺物：縄文土器（深鉢）、掻器
その他：覆土はレンズ状堆積をなし底部は細かい凹凸が広く分布する。地山土の逆転現象は見

られないが覆土に地山土が粒状に多く混入する。

土坑770（4－19）

形態：円形

規模：長軸0.63m、短軸0.76m、深度0.23m。

その他：覆土は水平堆積で底部は平坦である。

土坑774（4－19）

形態：不整形

規模：長軸1.00m、短軸0.70m、深度0.25m。

その他：底部は東に向かって深くなる。

土坑752（3－13）

形態：円形

規模：長軸1.67m、短軸1.85m、深度0.33m。

その他：東側に大きなテラス状の平坦面を持つ。底部は平坦である。

溝775（5－19）

形態：長楕円形

規模：長さ1.81m、幅0.42m、深度0.25m。

その他：覆土は東からの流れ込みと見られる。

土坑778（5－19）

形態：円形

規模：長軸1.14m、短軸0.92m、深度0.46m。

その他：南側に浅い底部を、北側に深い底部を持つ。いずれの底部も丸みを帯びる。北側の壁の立ち上がりは垂直に近い。覆土の堆積は水平である。

土坑781（5－19）

形態：不整形

規模：長軸0.91m、短軸0.91m、深度0.40m。

その他：西側中位に平坦なテラスを持ち、東側の底部はやや広い平坦面を持つ。

土坑784（5－19）

形態：円形

規模：長軸0.74m、短軸0.72m、深度0.27m。

その他：壁の立ち上がりは垂直気味で、底部は広い平坦面を持つ。底部中央に小さな窪みを持つ。

土坑790（6－20）

形態：円形

規模：長軸1.25m、短軸1.11m、深度0.41m。

その他：底部は碗形をなし、覆土はほぼ水平に堆積する。

土坑794（5－14）

形態：円形

規模：長軸0.95m、短軸0.94m、深度0.35m。

その他：底部は平坦で、壁は緩く立ち上がる。覆土の堆積は水平である。

土坑799（3－17）

形態：不整形

規模：長軸0.70m、短軸0.80m、深度0.43m。

その他：底部は広い平坦面をもち、壁はやや開き気味に立ち上がる。

土坑791（6－20）

形態：隅丸方形

規模：長軸1.45m、短軸0.93m、深度0.22m。

その他：底部は広く平坦である。

土坑807（4－12）

形態：楕円形

規模：長軸2.08m、短軸1.29m、深度0.21m。

その他：底部は広く平坦である。

土坑808（5－12）

形態：円形

規模：長軸0.72m、短軸0.80m、深度0.10m。

その他：底部は平坦である。

土坑834（2－12）

形態：楕円形

規模：長軸0.50m、短軸0.61m、深度0.32m。

土坑901（12－5）

形態：長楕円形

規模：長軸4.10m、短軸1.53m、深度0.43m。

その他：覆土の上層は炭と灰が多く混入する黒色土で、下層は暗褐色土である。底部は細かい凹凸があるが、おおむね平坦である。覆土下層にこぶし大の礫が少量入る。建物1の柱穴を切る。

土坑910（14－4）

形態：不整形

規模：長軸2.60m、短軸0.58m、深度0.24m。

その他：浅い溝状の土坑で、ほぼ中央に小さいピットを持つ。

土坑913（15－5）

形態：円形

規模：長軸0.55m、短軸0.45m、深度0.31m。

その他：底部は平坦である。柱穴の可能性がある。

土坑793（3－16）

形態：楕円形

規模：長軸0.90m、短軸0.50m、深度0.81m。

その他：縄文土器（深鉢）が埋設される。深鉢は粗製のもので劣化が著しい。

土坑203（8－20）

形態：不整形

規模：長軸1.50m、短軸1.01m、深度0.19m。

立石729（8－20）

形態：円形

規模：長軸0.67m、短軸0.58m、深度0.13m。

その他：南壁沿いに、扁平な円礫が斜めに据えられる。下半部が地中に埋まる。その他の遺物は見られない。

立石792（6－20）

形態：円形

規模：長軸0.7m、短軸0.76m、深度0.18m。

その他：中央よりやや北よりに礫が据えられる。礫は底部よりやや浮いており、確認面より完全に埋没している。

土坑796（7－19）

形態：不整形

規模：長軸4.36m、短軸3.60m、深度0.21m。

その他：不整形で大型の土坑。掘り込みは浅く、内部に複数の小土坑を持つ。焼土面も見られる。東側の小土坑内から2個の深鉢が重なった状態で出土した。

道382

規模：幅0.8～1.2m、深度0.4m前後。

遺物：珠洲焼（甕）

その他：丘陵頂部平坦面の東端を南北に走る山道である。現況は完全に埋没している。竪穴住居など縄文時代の遺構を切る。底部は平均幅0.5～0.8mで平坦である。覆土中から珠洲焼甕の体部破片が出土した。

溝702

規模：短軸0.76m、深度0.26m。

その他：掘り込みは浅く、底部はおおむね平坦である。南辺で2条に別れる。

溝974（14－5）

規模：短軸0.55m、深度0.14m。

遺物：縄文土器（深鉢）

3．坪之内遺跡A地区の遺物

a．土器・陶磁器

住居1A・B（44～72）

44は4単位の大型の把手と、隆線による渦巻文を持ち、斜位の細沈線を充填する。頸部は無

紋帯で、体部との境を3条の沈線で区切る。45・46・48・49は口縁部に隆線による渦巻文を持つ。47は口縁部に太い沈線による渦巻文を持ち、頸部に横位の沈線、体部に縦位の沈線で区画する。64は縦位と横位の複数の沈線で区画をする。56. 58・59・60も3条から4条で1組の沈線を施す。51・52・53は波状口縁の粗製深鉢である。72は無文の浅鉢である。65は石組炉に埋設された深鉢である。大木8 b式古段階が主体である。

住居2 (73～85)

74・75は隆線による渦巻文を持ち、斜行沈線を施す。73・76・77・79は口縁端部に太い沈線をもつ。76は沈線による渦巻文がある。78は口縁部に太い沈線による渦巻文を持つ。80・82は体部に複数の沈線で区画をする。81は頸部が無紋帯となり体部に縦横の沈線で区画をする。大木8 b式古段階が主体である。

住居3 (86・87)

86は波状口縁の深鉢である。87は体部に沈線による大振りの渦巻文と矢羽根状細沈線を充填する。大木8 b式新段階のものである。

住居4 (88～95)

88・89は4単位の波状口縁を持つ粗製の深鉢である。90は口縁部に太い沈線が巡る波状口縁の深鉢である。93は頸部に複数の沈線が巡る。91は隆帯による渦巻文を持ち縄文を充填する。92は体部に複数の平行沈線を縦位に施す。95は体部に隆線を縦位に充填する。大木8 b式古段階が主体である。

住居5 (96)

96は平口縁の粗製深鉢である。

住居6 (97～99)

97は口縁部に隆線による渦巻文を持ち、矢羽根状細沈線を充填する。98は火焔型土器である。頸部が環状に残り、住居床面に倒置された状態で出土した。99は3条1組の沈線を縦位に施す。大木8 a式新段階が主体である。

住居7 (100～114)

100は口縁部に4条の太い隆線と円形の貼付け文を持つ波状口縁の深鉢である。102は隆線による渦巻文を持ち、斜行沈線を充填する。101・103・104・106・107・108・111は3条もしくは4条の沈線を施す。111の底部外面には網代痕が残る。109は口縁端部に沈線による渦巻文を持

つ。110は火焔型土器の眼鏡状突起である。112は無紋の浅鉢、113・114は深鉢の底部である。大木８ａ式新段階が主体である。

住居９（115～174）

115は口縁部に３条１組の沈線と波状文を施す大型の波状口縁の深鉢である。117は橋状把手を持ち、斜位の細沈線を施す。口縁部には沈線による渦巻文を持つ。118・119・120・123・129・140・141・142・144・145・146・151・152・153・154・156は隆線による渦巻文を持つ。118・156は矢羽根状の細沈線を、119・120・123・129・140・141・142・145・146・151・152・153は斜行沈線を充填する。116・127・128・130・132・136は口縁部に太い沈線による渦巻文を持ち、143・162・163は体部に渦巻状文様と縦位の区画を沈線により描き、矢羽根状沈線を施す。121・122・133・158・168は複数の沈線を体部に巡らす。131は口縁部に円形の貼付け文を持ち、複数の沈線を施す。124は渦巻状の大振りの把手である。161は口縁部の沈線区画内に斜位の細沈線を施す。157は浅鉢で口縁部に沈線による文様を描き、細沈線を充填する。164は台形土器である。器壁は厚く、体部に２個１組の穿孔を１対持つ。大木８ｂ式古段階が主体である。

建物１（175）

弥生時代後期の甕の口縁部である。口縁端部はやや丸みを帯び頸部は緩く湾曲する。口縁部内面に横位のハケ調整を行う。

掘２（176）

176は土師器甕の底部で内面にハケ調整を行う。

土坑254（177）

縄文時代中期の深鉢の底部である。底部に縄文痕が残る。

土坑653（178）

キャリパー形深鉢の口縁部である。隆線に細沈線を充填し、複数の沈線を施す。大木８ｂ式段階のものである。

土坑768（179・180）

いずれも縄文時代中期の深鉢の底部である。

倒木痕384（185～188）

185は口縁部に横位の隆線が巡り、上部に円形の貼付け文を持つ大木８ｂ式古段階のもの。

186は太い沈線による渦巻文が口縁部に付き、体部との境に沈線が巡る。187は火焔形土器の大振りの鶏冠状把手で大木８ａ式新段階である。188は深鉢の底部で外面に縄文痕が付く。

土坑901（181）

須恵器無台杯の口縁部である。口縁部の開きは大きく、端部は内側に肥厚する。

土坑796（182・183）

182・183は体部に隆線による渦巻状突起と縦位の沈線を施す。182は隆線間を斜行沈線を充填し、183は矢羽根状沈線を充填する。大木８ｂ式古段階のものである。

道382（184）

珠洲焼甕の体部破片である。

土坑974（189）

口縁部に沈線による文様を描き、斜位の細沈線を施す。大木８ｂ式段階である。

包含層出土の土器（190～226）

190は隆線による渦巻状文様を描き、口縁部に隆線が巡る大木８ｂ式古段階である。191・196・200は隆線による渦巻文を持ち、斜位の細沈線を充填する大木８ｂ式のもの。210も同様と見られる。206・209・211・212・213は複数の沈線が一組となり縦横に施される大木８ｂ式である。193は火焔型土器の袋状突起で、205は火焔型土器の口縁部である。大木８ａ式新段階である。194は口縁部に円形貼付け文を持ち、横位の隆線が巡る。大木８ｂ式である。

215～220は古代の遺物である。215は須恵器無台杯の口縁部で、開きは大きく端部は肥厚する。216は須恵器無台杯の底部で体部との境にケズリ調整を行う。217～219は須恵器甕の体部破片で、外面叩き目は擬格子、内面の当具痕は217・219が同心円、218は平行である。220は土師器甕でロクロ整形で底部の切り離しは回転糸切りである。214は珠洲焼の擂鉢で口縁端部は外傾し、卸目が密に施される。珠洲Ⅳ期と見られる。

ｂ．A地区出土の石器・その他

石鏃（229～242）

230が有茎の他は全て凹基無茎石鏃である。241は調整・法量などからも未製品と見られる。241を除くと重量は１～４ｇ、長さは1.8～4.0cmである。2.7cm前後で大小の２群に分けられる。石材はチャートが最も多く、他に頁岩・メノウ・安山岩がある。

尖頭器（243）

長さ6.5cm、幅2.1cm、厚さ1.2cm、重量12ｇである。石材は鉄石英である。

石錐（244）

先端が破損する。つまみ部は扁平でやや広くなる。石材はチャートである。

打製石斧（245～248・250～255）

完形品４点、欠損品６点が出土した。いずれも短冊形である。刃部幅は4.4cm～6.5cm、厚さは1.6cm～3.2cmである。完形品では長さ９cm～12cmで、重量は最も軽いもので112ｇ、重いもので181ｇである。欠損品では基部が欠損するものが３点、刃部が欠損するものが２点、刃部と基部が欠損するものが１点である。

石材は玄武岩・頁岩・ハンレイ岩・輝緑岩がある。完形品はいずれも住居内の覆土からの出土である。

磨製石斧（249・256～266）

12点出土している。249は未製品、266は小型磨製石斧である。未製品の他はいずれも欠損品である。欠損品の残存状況では基部のみを欠損するもの３点、刃部のみを欠損するもの１点、基部のみが残るもの２点、刃部のみが残るもの２点、刃部と基部を欠損するもの３点である。石材は蛇紋岩が最も多く７点、輝緑岩が４点、ハンレイ岩が１点である。小型を除く刃部幅は最小で3.9cm、最大で6.4cmである。

263を以外は住居覆土内からの出土である。

石皿（267・268）

いずれも住居１の石組竈の袖石として転用されていた。いずれも磨面が丸みを帯びて若干凹み、縁を持つ。裏面はやや丸みを帯びる。

三角刀形石器（273）

断面二等辺三角形を呈し、各面はほぼ平坦である。底面には凹石状の敲打痕が残る。石材は輝緑岩である。

その他の石器

274～296は不定形石器である。石材は安山岩・ハンレイ岩・チャート・鉄石英・頁岩・緑色凝灰岩・流紋岩・玄武岩がある。269は敲石もしくは磨り石で扁平な石の平坦面にアバタ状の敲

打痕が残る。270・271は砥石である。やや軟質の石材で、270は両面に擦痕がある。272はやや扁平で平面円形の石材の一端が敲打により打ち掻かれ平坦になる。敲石もしくは石鹸石材と見られる。277は石鏃の素材で両極打法によりはぎ取られている。石材はチャートである。

297～299は立石と見らる、やや大型の自然石である。297・298は一部が土坑内から出て据えられていた。

第Ⅵ章　坪之内遺跡Ｂ地区

1．坪之内遺跡Ｂ地区の概要

坪之内遺跡Ｂ地区はＡ地区の南側にある丘陵頂部とその北側の低地に位置する。丘陵頂部と北側斜面には埋没した山道が巡る。頂部では縄文時代・弥生時代の遺物が主に出土し、竪穴住居・フラスコ土坑などが検出された。丘陵北側の低地には埋没した谷があり、その覆土からは縄文時代の遺物が出土し、上層からは古墳時代の遺物が主に出土している。丘陵頂部の標高は約36m、低地の埋没谷検出面の標高は約28mである。

2．坪之内遺跡Ｂ地区の遺構

道1501

規模：幅1.03m、深度0.35m。

遺物：弥生土器（甕）、石鏃、勾玉

その他：丘陵東側から登り、頂部南辺沿いと北へ向かって２本に別れる溝状の道である。底部は平坦である。現況は完全に埋没している。覆土の最下層は厚さ２㎝前後の堅く締まったものである。覆土内から流れ込みと見られる遺物が出土している。

住居10（28－44）

形態：楕円形

規模：短軸（6.0m）、深度0.45m。

内部施設：地床炉、柱穴

地床炉：住居のほぼ中央に直径0.5m程の焼土の塊が２箇所検出された。

柱穴：柱穴は２基見られるが、主柱穴は確認できない。

遺物：縄文土器（深鉢）

その他：内部施設は明瞭に確認できなかった。

住居11（26－36）

規模：長軸（4.0m）、短軸（3.5m）

内部施設：柱穴、地床炉

地床炉：柱穴群のほぼ中心に焼土の塊が２基検出された。

柱穴：直径0.3m前後、深度0.4m前後の柱穴６基が不整形に巡る。

遺物：柱穴内から弥生時代後期の壺・甕が出土した。周辺から土師器小片が少量出土した。

その他：明瞭に住居の形態は確認できなかったものの、焼土の周囲を柱穴が巡ることから住居として扱った。周辺の遺物の散布から古墳時代のものと考える。

フラスコ土坑1630（29－44）

形態：円形

規模：長軸0.89m、短軸0.88m、底部最大径0.85m、深度0.5m。

その他：覆土は単層である。上面にはフラスコ土坑1632の覆土に切られる。壁面は確認面から下に向かって徐々に広くなる。底部はほぼ平坦である。

フラスコ土坑1632（29－44）

形態：円形

規模：長軸2.08m、短軸1.50m、底部最大幅1.52m、深度0.72m。

遺物：縄文土器（深鉢）

その他：床面からの高さ0.3m程のところで最も直径が狭く、1.1～1.3mである。最大径は床面から0.2mの高さまでで、1.7m前後である。底部はほぼ平坦である。第6層から縄文土器の深鉢が出土した。

フラスコ土坑1502（29－44）

形態：円形

規模：長軸0.81m、短軸1.03m、底部最大幅1.6m、深度1.15m。

その他：床面からの高さ0.9m程のところで最も直径が狭く、0.5m前後である。最大径は床面から0.3mの高さで1.6m前後である。底部はほぼ平坦である。覆土はほぼ水平に堆積する。

土坑1002（25－35）

形態：隅丸長方形

規模：長軸1.06m、短軸0.74m、深度0.37m。

遺物：土師器（高杯・甕）、土錘

その他：底部にピット状の落ち込みを持つ。

土坑1026（27－36）

形態：長楕円形

規模：長軸1.52m、短軸0.67m、深度0.24m。

土坑1503（29－44）

形態：円形

規模：長軸1.09m、短軸1.08m、深度0.40m。

その他：住居10に隣接する土坑である。底部は平坦である。

土坑1501（29－42）

形態：楕円形

規模：長軸1.84m、短軸1.03m、深度0.35m。

その他：道1501に切られる土坑である。覆土第3層までは道1501のものである。底部は平坦である。

土坑1579（25－43）

形態：楕円形

規模：長軸1.12m、短軸0.87m、深度0.20m。

その他：底部は平坦である。ピットに切られる。

土坑1560（26－44）

形態：楕円形

規模：長軸1.40m、短軸0.94m、深度0.30m。

土坑1563（25－44）

形態：楕円形

規模：長軸1.27m、短軸0.94m、深度0.26m。

土坑1580（25－45）

形態：不整形

規模：長軸2.74m、短軸1.95m、深度0.29m。

土坑1564（25－44）

形態：不整形

規模：長軸1.09m、短軸0.93m、深度0.16m。

土坑1534（28－45）

形態：円形

規模：長軸0.86m、短軸0.71m、深度0.37m。

遺物：縄文土器（深鉢）、打製石斧

その他：底部は平坦で、壁ははぼ垂直に立ち上がる。覆土は水平に堆積する。

土坑1515（30－43）

形態：不整形

規模：長軸1.95m、短軸1.65m、深度0.27m。

遺物：石鏃

その他：底部に細かい凹凸が多く、覆土と地山の境も不明瞭である。倒木痕の可能性がある。

土坑1511（28－46）

形態：隅丸長方形

規模：長軸1.72m、短軸0.82m、深度0.34m。

その他：壁面は焼成を受けて堅い。床面に焼成の痕跡は確認できなかった。覆土に炭が少量含まれる。

土坑1693（27－43）

形態：円形

規模：長軸0.62m、短軸0.49m、深度0.19m。

ピット1578（25－43）

形態：円形

規模：長軸0.58m、短軸0.44m、深度0.37m。

溝1548（27－43）

規模：長さ0.58m、幅0.44m、深度0.37m。

その他：底部は狭く、深い溝である。

埋没沢

規模：幅3.8m、深度0.7m。

遺物：縄文土器（深鉢・浅鉢）、土師器（高杯・甕）、磨製石斧、石鏃、土製耳飾

その他：現況では完全に埋没していた。調査区西側から調査区の中央付近で北へ曲がり、そのまま調査区外へのびる。段を持ちながら徐々に深くなる。底部はほぼ平坦である。覆土は黒褐色土、明褐色土などが複雑に堆積する。南側の丘陵に向かい層位の混乱は顕著となるが、この丘陵から流れ込んだ様子はうかがえる。丘陵北側斜面が崩落し、沢に流れ込んだものと考えられる。上面及び第1層からは古墳時代の遺物が出土し、第2層以下からは縄文時代の遺物が出土した。弥生時代以降の遺物は第2層以下に混入しない。

3．坪之内遺跡Ｂ地区の遺物

道1501

300は弥生時代後期の壺で、口縁外端を垂下させる。内面に横位のハケ調整を施す。301は翡翠製勾玉である。長さ4.7cm、厚さ1.9cm、重さ49ｇである。頭部は丸く、その中央に両面から穴が開けられる。背面の中央は太く浅い溝が通る。尾部は若干丸みを帯びる面になる。色調は大部分が半透明の緑色で、まだら状に白色部分が入る。302は不定形石器で石材は凝灰岩である。

住居10（303）

縄文時代の深鉢の底部である。底面に網代痕が残る。

住居11（304・305）

304は弥生時代後期の壺で頸部はコの字状を呈し、口縁端部はとがり気味である。305は小型の壺の体部で内面に輪積み痕が残る。

フラスコ土坑1632（306・307）

306は大振りの波状口縁を持つ深鉢である。口縁部の形態は王冠型土器に類似し、隆線で文様を描き、体部との境に２条の隆帯を巡らす。大木８ａ式新段階のものである。307は大木８ｂ式段階の波状口縁深鉢である。

土坑1002（308～311）

308・309は高杯である。309は杯体部と杯底部の境が明瞭で、309は脚柱部がふくらみ気味に延びる。古墳時代中期のものである。311は土錘である。焼成はやや軟質である。

土坑1534（312・313）

312は深鉢の体部破片である。木目状の撚糸文を施す。大木７ｂ式段階のものと見られる。313は打製石斧で石材は頁岩である。刃部が欠損する。

土坑1515（314）

石鏃で石材はチャートである。基部は丸みを帯びる、凸基鏃である。

埋没沢（315～367）

315～331は第１層から出土したものである。315は深鉢で口縁部は受け口状である。316は波状口縁の深鉢で口縁部に撚糸の側面圧痕が付く。大木７ｂ式段階である。317は沈線で描かれた

文様に細沈線を充填する大木８ａ式である。318～325は高杯である。319・320は口縁部と体部の境が垂下する。古墳時代中期前半のものと見られる。321～324は脚柱部で321は円柱状、他は中空である。古墳時代中期中葉を中心とした時期のものと見られる。325は高杯の裾の破片である。326～331は土師器の甕である。口縁部の端部は尖り気味で、頸部は「く」の字状である。330は内面にハケ調整が残る。古墳時代中期前半が中心と見られる。

332～340は第３層からの出土である。332は４単位の波状口縁の深鉢である。口縁部に縦位の沈線文が充填され、頸部の隆線に爪形文が施される。大木７ｂ式段階の新崎式新段階のものである。333は大木８ａ式のものと見られ、沈線による文様が施される。334は頸部の横位隆帯が突出する。335は口縁部に円形貼付け文がある。336は深鉢の底部で網代痕が残る。337は土製耳飾りで施文はされない。338～340は磨製石斧である。石材はいずれも蛇紋岩である。

341～359は第９層からの出土である。341は隆線による渦巻文様が描かれ、眼鏡状の突起が付く。火焔型土器に類似する。大木８ａ式段階のものである。342は大型波状口縁を持つ深鉢で頸部の隆線に爪形文が施される。新崎式後期のものが在地化したものと見られ、大木７ｂ式段階である。343は王冠形土器で、隆線による渦巻文様と縦位の隆線が充填された袋状突起が付く。344は隆線で充填され、口縁端部の円形貼付け文は中央の穴が貫通する。345は隆線により文様が描かれる。大木７ｂ式もしくは大木８ｂ式段階のものと見られる。346は新崎式で沈線による渦巻文を持つ。347は粗製の深鉢である。348は横位の隆線に爪形文を施す新崎式で、大木７ｂ式段階のものである。349は隆線に矢羽根状細沈線を充填する。350は大振りな波状口縁を持つ浅鉢である。351は隆帯に刺突を巡らせる。352は地紋の上に縦位の沈線を施す。353は頸部に３条の隆帯を巡らし、その最下段の隆帯に刺突を巡らせる。354は粗製の浅鉢である。口縁端部は内側に肥厚する。355は頸部に爪形文を施し、新崎式の影響を受ける。356は口縁端部に太い沈線を巡らす。357は縦位の竹管沈線を充填する大木８ｂ式段階のものである。358は粗製深鉢の底部である。359は不定形石器で石材は安山岩である。360は隆帯で直線文・曲線文を描き、隆帯上に矢羽根状細沈線と刺突文を施す。北陸系の上山田天神式の影響を受けた大木８ａ式段階のものである。361は頸部に３条の沈線を巡らす。362は黒曜石の剥片である。363は口縁部に側面圧痕を巡らす大木７ｂ式段階のもの、364は波状口縁に隆帯を巡らす大木７ｂ式もしくは大木８ａ式段階のものである。365・366は粗製の深鉢である。367は口縁部に側面圧痕と竹管による爪形文を施し、東北系と北陸系の影響を受ける。大木７ｂ式段階のものと見られる。367は磨製石斧の刃部で石材は輝緑岩である。

包含層出土の遺物

369は隆帯で渦巻文や直線文、曲線文を施す。火炎型土器に類似する大木８ａ式段階のものである。370は口縁部に交互刺突を巡らし、371は縦位の細沈線を巡らす。いずれも大木８ａ式段階である。372は隆帯に爪形文を施す新崎式で大木７ｂ式段階である。373は隆帯に爪形文を巡

らし、沈線により直線文、曲線文が描かれる。北陸系で大木８ａ式段階である。374は王冠形土器で隆帯で曲線文が描かれる。把手は小型である。大木８ａ式古段階に位置づけられる。375・376は粗製深鉢である。377は口縁部に隆帯で渦巻文が描かれ、頸部に隆線が巡り、体部には縄文が残る大木８ａ式古段階である。378は口縁部内面に円形貼付け文を施す。379は口縁部に穿孔がある。380は沈線で曲線文を描く。381は王冠形土器と見られる。口縁部の橋状突起に細かい刺突が密に施される。

382は土師器椀である。外面は横位のミガキ調整を行う。383も丸底の椀で、口縁部は内湾気味である。382・383は古墳時代中期のものと見られる。384は弥生時代後期の器台である。口縁端部は上方に短く折り曲げられ、脚端部は下方に折り曲げられる。口縁端部外面には横位のハケメが残る。脚裾部に３箇所、ほぼ同間隔に穿孔がある。385～398は高杯である。386・387は杯体部と底部の境に段が付き、389は赤彩が施される。弥生時代後期段階の後半のものと見られる。他は古墳時代中期の所産と見られる。

399は弥生時代後期の甕口縁部の細片で、赤彩が施される。400～403は古墳時代中期と見られる甕である。404は弥生時代後期の小型の壺の肩部である。肩部は大きく開く。口縁部の付け根は上方に向く。405～408は土師器甕の底部でいずれも厚手である。

409は古墳時代後期の須恵器杯蓋である。端部は面を持つ。ＴＫ23もしくはＴＫ47型式のものと見られる。410は古代の須恵器無台杯の口縁部で開きは大きい。411は中世の土師器皿である。体部と底部の境に沈線が巡る三島刈羽型である。412は珠洲焼の甕の体部破片である。413～423は近世の陶磁器の椀である。414・416・419は肥前系である。416は銅緑釉がかかる内野山北窯産と見られる。417・418は瀬戸焼である。

426～428、430・431は石鏃である。石材は427は頁岩、431は安山岩、他はチャートである。428は両極技法により制作されたと見られる。432・433は打製石斧である。石材は432が頁岩、433は凝灰岩である。434は不定形石器で石材は頁岩である。435～438は磨製石斧で、石材は435～437が蛇紋岩である。439は砥石で石材は凝灰岩である。440は鍛冶滓と見られる。441は寛永通宝である。

第Ⅶ章　坪之内遺跡Ｃ地区

1．坪之内遺跡Ｃ地区の概要

坪之内遺跡Ｃ地区はＢ地区の南側の水田内に位置する。遺構検出面の標高は18m前後である。遺構検出面の地形は丘陵のある北側が高く南に向かって徐々に低くなる。遺構の分布は調査区の北半分に多く、南へ向かって少なくなる。

基本層序はⅠ層からⅥ層に大別された。。層は暗褐色の表土・耕作土、Ⅱ層はオリーブ灰色・黄灰色の粘質シルト、Ⅲ層は灰色中心の粘質シルト、Ⅳ層は洪水に伴うと見られる堆積層で砂質土を多く含むシルト層、Ⅴ層は黒褐色を中心とし炭化物を多く含む粘質シルトの遺物包含層、Ⅵ層は緑灰色・灰オリーブ色の粘質シルトの地山（遺構検出面）である。Ⅳ層の洪水堆積層は地山面が高いＣ地区北側では確認されず、地山面が低くなる調査区中央付近から南側にかけて堆積する。Ⅲ層からは遺物の出土がほとんど見られない。

2．坪之内遺跡Ｃ地区の遺構

建物２（38－51）

平面形態：長方形掘立柱建物（３間以上×２間）

規模：桁行き5.1m、梁行き3.8m

柱穴：直径0.4m～0.6mの円形もしくは隅丸方形で、統一性は見られない。柱根は残らず、覆土の観察からも柱痕は確認できない。確認面からの深度は0.3～0.5mである。柱間は桁行きが1.7mで均一で、梁行きは確認されるところで1.9mである。

その他：西側は調査区の外に延びる可能性がある。建物は溝2034を切る。

溝2001（39－51）

規模：残存長8.02m、幅0.79m、深度0.17m。

遺物：須恵器（無台杯・壷・甕）、土師器（甕・皿）、珠洲焼（擂鉢）、青磁（碗）、鉄釘、鍛冶滓、鞴の羽口

その他：溝の正確は不明である。床面は北東方向に徐々に低くなる。底部は船底状で凹凸が多い。覆土内から遺物が多量に出土した。覆土はレンズ状の堆積である。建物２と切り合いを持ち、土坑2027を切る。

土坑2027（39－51）

形態：不整形

規模：長軸3.01m、深度0.35m。

その他：溝2001に切られ、土坑2029を切る。

土坑2029（39－51）
形態：円形
規模：長軸0.64m、短軸0.72m、深度0.82m。
遺物：須恵器（無台杯）・土師器（無台碗）
その他：平面規模に比べ深いものである。底部はややとがり気味である。

土坑2080（39－52）
形態：不整形
規模：長軸2.08m、短軸1.97m、深度0.69m。
その他：大型の土坑である。底部は丸みを帯びる。遺物は出土しない。

土坑2047（39－52）
形態：不整形
規模：長軸2.46m、短軸1.08m、深度0.18m。
その他：土坑2080に切られる。深度は浅い。

土坑2052（39－51）
形態：隅丸長方形
規模：長軸1.36m、短軸0.60m、深度0.14m。
その他：北側にピット状の落ち込みがある。

ピット2071（39－53）
形態：円形
規模：長軸0.47m、短軸0.46m、深度0.38m。
その他：底部にピット状の落ち込みが見られる。

ピット2072（40－53）
形態：円形
規模：長軸0.37m、短軸0.34m、深度0.35m。
遺物：土師器無台碗

溝2034（39－51）
規模：深度0.4m。
遺物：須恵器（蓋・無台杯・有台杯・甕）、鍛冶滓

その他：覆土は砂を多く含む黒褐色シルトである。建物２の柱穴に切られる。丘陵のある西側から東へ向かって低くなる。覆土中から遺物が出土した。

３．坪之内遺跡Ｃ地区の遺物

溝2001（442～471）

古代では須恵器の無台杯・有台壷・甕、土師器は甕が出土した。中世では土師器皿と珠洲焼擂鉢、青磁碗がある。他に鉄釘、鍛冶滓、輪の羽口がある。442は外底面に粗いナデを行い、内面は広く煤が付着する。443は回転ヘラ切り痕を粗くナデ消す。444は外面体部下端にケズリを行う。土師器皿は手捏ね成形によるもので、451～454は口縁部に横ナデによる段ができる三島・刈羽型である。455～457は器壁は薄く胎土が緻密で焼成が堅緻である。珠洲焼擂鉢の口縁端部は丸みを帯びた面が外傾する。459は器壁が薄く直線的に開く。463は７目の卸目が波状に入る。464は５目の卸目が八方に刻まれ、底部外面は切り離し痕をケズリにより消す。青磁碗は鎬をもつ蓮弁文を持つ。

ピット2005周辺（472～481）

古代の遺物がピット周辺で集中して出土した。須恵器では472は有台杯の口縁部で灰色を呈し軟質である。甕の外面叩き目は擬格子である。土師器甕は厚手の平底で胎土に小礫を多く含む。

ピット2006周辺（482～485）

古代の須恵器、杯蓋・無台杯・横瓶が出土した。484は横瓶の肩部で外面は密にカキメを施し、自然釉が広くかかる。胎土は灰色で緻密、焼成は良好で堅緻である。

土坑2029（486～488）

古代の須恵器無台杯と土師器無台碗が出土した。須恵器無台杯は器壁が薄く、口縁部が大きく開く。土師器無台碗の底部は大きく、487の胎土には海綿骨針が多量に含まれる。

溝2034（489～496）

古代の須恵器が出土した。杯蓋・碗・無台杯・横瓶・甕がある。杯蓋の天井部は若干丸みを帯び、丁寧なナデ調整を行う。493の外面叩き目は格子状だが、叩き目がナデによりつぶれる。内面当具痕はナデ消される。他に鍛冶滓が出土した。

土坑2047（497）

古代の須恵器無台杯の口縁部の小片が出土した。

2050（498）

中世の土師器皿である。三島刈羽型で、横ナデによる段は浅い。

2064（499・500）

古代の須恵器杯蓋と無台杯が出土した。杯蓋は器壁がやや厚く、無台杯の口縁部は直線的に開く。

ピット2072（501）

古代の土師器無台碗で、体部は内湾気味に開く。底部の糸切り痕をナデ消す。

ピット2205（502）

鍛冶滓が出土した。

試掘調査出土遺物（503～513）

古代の須恵器無台杯、壷・鉢、土師器無台碗・甕 、中世の瀬器系の甕である。504の無台杯は外底面のヘラ切り痕をナデ消す。505の壷は内底面に自然釉がつく。507の鉢は灰色を呈し軟質で、口縁端部が内側に肥厚する。509は口縁端部外面に面を持ち、頸部が「く」字に屈曲し、口縁部が長くのびる。512は回転糸切り痕が残る。513は口縁部が「N」状で、肩部に薄く釉がかかる。

包含層出土遺物（514～617）

古墳時代後期から中世のものである。古墳時代後期のものには土師器の碗・高杯・甕がある。514は口縁部が内湾する。515は器壁が厚く、調整は粗雑である。516・517は口縁部が長く外反し、内面に黒色処理を行う。518～523は高杯である。口縁部は大きく外反する。脚部はふくらみを持つ。584・586・587は甕である。584は内外面にハケメが残る。

古代の須恵器には杯蓋・碗・有台杯・無台杯・壷・横瓶・甕があり、土師器では無台碗・甕・鍋がある。また、緑釉陶器の有段皿がある。524は擬宝珠状のつまみで、焼成は軟質である。天井部は高く丸みを帯びる。525は丁寧なナデを行い、526～528は肩部にケズリを行う。528の外面端部に重ね焼き痕がある。529は碗の口縁部で体部が内湾し、口縁部が短く外反する。有台杯はいずれも底部で、高台の取付部は体部外周沿い、もしくはやや内寄りである。532の外底面に墨痕がつく。536～554は無台杯である。器壁がやや厚く、口縁部の開きが小さいものと、器壁が薄く口縁部が大きく開くものがある。後者は小泊窯産のものと見られる。555～571は土師器無台碗である。底部破片はいずれも回転糸切りとみられ、底径が大きいものと小さいものに分けられる。563は内面体部に強く煤が付着し、灯明皿などとして転用されたと見られる。572

は緑釉陶器の有段皿である。内面の体部と底部の境に段を持つ。口縁端部は短く外反する。高台は貼付けの三角高台である。施釉は内外面の全体に行われるが、高台端部の接地面にはみられない。胎土は灰色を呈し、白色の小礫が極少量混入する。574・575は高台を持つ壺の底部で、574は体部外面と外底面に自然釉がかかる。573は横瓶の口縁部、576～579は甕の口縁部である。576は頸部に波状文を施し、自然釉が薄くかかる。580～585は甕の口縁部である。585は口縁部が緩く外反し、他は口縁端部を内側に折り曲げる。586・587は厚手の甕底部である。588・589は外底面にケズリを行う。590～593は糸切りの甕の底部である。594は鍋の口縁部で、端部は外側に肥厚する。

595～607は中世のものである。595～597は土師器皿である。いずれも手捏ね成形によるもので、595・597は三島刈羽型である。595は口縁部と体部の境に明瞭な段ができる、597は段と沈線が入る。598は青磁碗である。599～603は珠洲焼の擂鉢である。599は注口部の破片のため口縁部が外反する。器壁は薄く、体部はややふくらみを持つ。卸目は波状に入る。600～602の口縁端部の面はやや凹みを持つ。603の底部切り離しは回転糸切りで、9目の卸目を12条入れる。604～605・607は珠洲焼の甕である。604の口縁部は短く外反する。608は壷の底部である。606は瓷器系陶器の甕である。

609は土錘で、610～617は鍛冶滓である。

第Ⅷ章　まとめ

1．坪之内塚群

坪之内塚群は11基からなる塚群で今回の調査で全基の発掘を行った。5号塚は層位に撹乱が多く明瞭な切り合い関係は確認できなかったが、盛土の質や基底部の状況から2基の塚がつながって構築されたものであると推定された。塚の盛土からは多くの遺物が出土したが、いずれも塚の構築以前の遺物であった。また、塚周辺から寛永通宝が出土しているが、これらが塚に直接関連するという確証はなく、築造の時期や目的については不明と言わざるをえない。1号塚と8号塚では頂部のほぼ中央に築造後の掘り込みが確認され、盗掘坑であると考えられる。しかし、陶磁器などの破片すら出土しておらず、埋納されていたものの痕跡は残っていないため、推測の域を出ない。

A群では8号塚と5号塚を除き調査前の形状は平面円形であったが、1号塚では方形に巡る周溝が、5号塚では方形の一部が途切れた周溝が検出された。また、6号塚と7号塚では基底部が方形に削られていることが確認された。8号塚の基底部も方形に削られている。A群には8基の塚が築造されたが、8号塚とそれ以外のものでは立地及び形態に明瞭な違いが認められる。8号塚は丘陵頂部平坦面のほぼ中央に位置し、形態は広い平坦面を持つ台状のものである。これに対し、他の7基は丘陵頂部の縁辺を巡るように立地し、形態は四角錐状であったと想定される。頂部に平坦面があったとしても狭いものと考えられる。しかし、これら7基も配置の計画性を認めることはできない。B群の3基も立地は丘陵の中腹であるが、塚の形態や構造は1号塚から7号塚とほぼ共通する。遺物を伴わないという点でも同様である。

塚の性格には道標やさまざまな境界を明示するものなどが想定されるが、これらは道などから見える場所などに構築されたり、一連の規格で配置される。しかし坪之内塚群は東側に確認された道沿いに規則的に並ぶこともなく、配置に計画性を持つものでもない。塚の性格は不明であるが、可能性の一つに墓ということもあげられる。しかし、物証は何も得られておらず推測の域を出るものではない。

坪之内塚群が何時、何の目的で築造されたかを明確にすることはできないが、他にも西山町には多くの塚及び塚群が存在する。これらの立地、形態などの研究により坪之内塚群の性格も明らかになると考えられる。

2．縄文時代中期

当期の遺物はA地区の頂部平坦部、B地区埋没沢、B地区頂部からまとまって出土した。

A地区は円形もしくは楕円形の竪穴住居が広場的な空間を囲むように環状に配置される。炉は石組炉が2基で、他はいずれも地床炉である。墓域は確認されず、墓壙も把握することはできなかった。集落としての特徴であるのか、塚が築かれた際に破壊されたのかは判断ができなかった。A地区で出土した土器は大木8a式新段階から大木8b式新段階のものである。大木

8ａ式新段階では火炎型土器をはじめ在地系のもので構成される。この時期の住居に住居６があげられる。大木８ｂ式古段階になると遺物量が豊富になり、住居１Ａ・住居２・住居４・住居７・住居９がこの時期のものである。この時期の土器もそのほとんどが在地系のものに占められる。大木８ｂ式新段階の住居は大振りの渦巻文に矢羽根状沈線を充填する87が出土した住居３がある。倒木痕や土坑、包含層出土の土器も大木８ａ式新段階のから大木８ｂ式新段階のもので、中でも大木８ｂ式古段階のものが量的に豊富である。Ａ地区では在地系のものがほとんどであり、他系統の土器がほとんど見られない事が特徴的である。

Ｂ地区は埋没沢の形成に見られるように丘陵の崩落や山道の造成などにより地形が改変されており、集落の様相は不明である。しかし、竪穴住居１棟とフラスコ状土坑３基が確認され、埋没沢の覆土からは多量の土器が出土した。Ｂ地区では大木７ｂ式段階から大木８ａ式新段階のものが主体となり、Ａ地区に対して、大木８ｂ式段階のものが少ない。大木７ｂ式段階の土器では北陸系の新崎式のものが主体となり、これに東北系のものが加わる。また、両者が融合した在地化したものも見られる。フラスコ土坑1632から出土した306は王冠型土器の初期段階のものと見られる。大木８ａ式段階になると火炎型・王冠型の在地系のものが増え、北陸系の上山田・天神式の影響を受け、東北系の影響を受けるものは減少する。大木８ｂ式段階になるとＢ地区では遺物量が減少する。

両地区を通じて、石器では打製石斧・磨製石斧・石鏃が定量出土し、当期の一般的な様相を示す。しかし、装飾品では翡翠製大珠と土製耳飾りが各１点出土しているのみで極端に少ない。また、土偶や石棒が見られないことも特徴である。Ａ地区では墓城が明確でない、このことが当集落の祭祀の形態に関係するものかは不明である。

以上、Ａ地区及びＢ地区の土器の様相から、Ｂ地区では集落の様相が不明ではあるが、大木７ｂ式段階から、Ｂ地区において居住を開始し、大木８ｂ式段階にかけてＡ地区へ移動したことが考えられる。

当遺跡の特徴的な遺物に台形土器があげられる。土器製作台としての機能が推測されているが、類例が少ないものである。当遺跡の台形土器は住居９の床面のほぼ直上で、脚部を床に向けた状態で出土した。脚部内には覆土が詰まっていたため、住居内に据えてあったものが埋まったものかは定かではない。器壁は厚く、天井部は特に厚手の作りある。天井部の外側は口縁部状に広がっていたものと見られるが、脚部の付け根で破損しており残存していない。胎土に小礫が多く含まれる。脚部には２個１組の穴が脚部中央よりやや上に一対開けられる。これは他の遺跡で出土した事例でも見られることである。調整は粗雑で縄文などは施されないことから装飾以外の目的で開けられた可能性もあるのではないかと思われる。二次焼成は見受けられない。脚端部が若干摩滅しているが、天井部に顕著な使用痕は確認できなかった。今回の事例でも使用法を明確にすることはできなかったが、厚手の作りなため、やや小さめの作業台としての機能は果たせるのではないかと考えられる。

3．弥生時代後期～古墳時代後期

これらの時期の遺物は一定量出土しているものの、遺構を明確に把握できなかった。遺物の時期は2度の断絶が認められ、大きく3時期に分けられた。

弥生時代後期の遺物はA地区の中腹とB地区の丘陵頂部でまとまって出土している。A地区では壺・甕などが出土した。遺構に伴うものでは建物1の柱穴から甕の口縁部破片が1点出土した。B地区の丘陵頂部では埋没した山道の覆土内からではあるが、当期の翡翠製勾玉が出土し、その近くから遺構に伴うものではないが、ほぼ同時期と見られる器台・甕・壷が出土した。器台は近江系もしくは東海地方の影響を受け、在地化したものである。勾玉は大型のもので、その特殊性が伺われる。しかし、B地区の調査範囲が狭く地形が大幅な改変を受けていると見られることなどから、その集落の様相は全く不明なであった。

古墳時代中期から後期の遺物はB地区の住居11周辺とC地区から出土した。住居11周辺では甕・高杯が少量出土したのみで、遺構も把握できたものは住居1棟であることから、短期的な居住が行われたものと見られる。古墳時代後期の遺物はC地区を中心に出土したが、遺構は把握できなかった。遺物には内黒処理を行う碗、須恵器杯蓋、甕が見られる。遺物量は少なく、時期幅も狭いことから短期間のうちに廃絶したものと見られる。

4．古代

C地区で掘立柱建物1棟、土坑・ピットなどが確認され、遺物もC地区で多く出土した。A・B地区でも少量の遺物が出土しているが、当期の住居跡をはじめとした遺構は確認できなかった。C地区出土の遺物のほとんどは包含層からの出土で、ある程度の時期幅がある。須恵器食膳具では無台杯が多く、その中でも小泊窯産と見られるものが多くを占める。土師器無台碗は遺存状態が良好なものが少ないが、501は口径に対して底径が大きく口縁部が内湾気味に立ち上がる。底部破片は底径が大きいものが見られる。土師器甕の口縁部は端部を上方に折り曲げるものが多い。春日氏の編年（春日1999）のⅥ期が主体である。

5．中世

C地区で主に遺構・遺物が確認された。建物跡は把握できなかったが、遺物は定量出土している。溝2001は混入品を多く含むが当期の資料がまとまって出土した。珠洲焼擂鉢は卸目を波状に施す463，器壁が薄く焼成が堅緻な459，外底面の糸切り痕をケズリにより消す464などはⅡ期と見られる。460～462はⅢ期と見られ、13世紀前半から後半までと時期幅が認められる。土師器皿では451～454は口縁部下に横ナデによる段を持つ三島刈羽型で、13世紀後半にこの地域で一般的に見られるものであるが、455～457は器壁が薄く丁寧なナデ調整を行い、焼成は良好なものである。現在のところ当地域で類例は認められず、時期・系譜などは不明のものである。

465の鎬連弁文の青磁碗は14世器頃と見られる。その他の遺構や包含層から出土したものでは珠洲焼の599・603はⅡ期、その他のものがⅢ期、土師器皿はいずれも三島刈羽型で13世紀後半のものである。C地区は13世紀後半に遺物量が最も充実する。

《要約》

1．坪内塚群・坪之内遺跡は新潟県刈羽郡西山町大字坂田字坪之内・大字新保字向山に所在する。

2．発掘調査は県代行町道南鹿寺線道路改築工事に伴い、平成12年度から平成14年度にかけて行った。整理作業は平成16年度まで行った。

3．坪之内塚群は曾地丘陵西麓の独立段丘上に立地し、丘陵頂部に８基、北側斜面中腹の平坦部に３基が存在する。発掘調査は11基に対して行った。

4．坪之内塚群では塚の築造に伴う遺物は出土せず、その築造時期・目的などは不明である。

5．坪之内遺跡の発掘調査はＡ・Ｂ・Ｃ地区に分けて調査を行った。各調査区の調査面積はＡ地区4,150㎡、Ｂ地区2,850㎡、Ｃ地区260㎡である。

6．Ａ地区は縄文時代中期前葉から中葉の竪穴住居が環状に並ぶ集落が主体である。

7．Ａ地区では竪穴住居が９棟確認され、うち１棟は石組炉を持ち、他の住居の炉は地床炉であった。

8．Ａ地区では竪穴住居の覆土より多量の遺物が出土した。土器はその多くが在地系で、大木８b式古段階のものが最も充実する。

9．Ｂ地区では縄文時代中期前葉から中期中葉を中心に、弥生時代後期・古墳時代中期・古墳時代後期の遺物が出土した。

10．Ｂ地区の縄文時代の主要な遺構には竪穴住居１棟、フラスコ状土坑３基がある。

11．Ｂ地区の弥生時代以降の遺構は明確ではない。

12．Ｂ地区の弥生時代後期の遺物には器台・高杯・壷・甕・翡翠製勾玉がある。

13．Ｃ地区では古墳時代後期・古代・中世の遺物が出土した。

14．Ｃ地区の主要な遺構には古代の掘立柱建物１棟、中世の溝がある。

15．古墳時代後期の遺物にはうち黒処理を行う碗がある。

16．Ｃ地区の掘立柱建物は３間×２間が確認されたが調査区外に広がる可能性がある。

17．Ｃ地区の古代の遺物は９世紀後半から10世紀初頭を中心とする。特徴的な遺物に緑釉陶器の有段皿がある。

18．Ｃ地区の溝からは中世の遺物がまとまって出土した。時期は幅があり、13世紀前半から14世紀初頭頃までのものである。

〈参考文献〉

著者 年 タイトル

加賀真樹 1997 「第1節 珠洲窯」『中・近世の北陸－考古学が語る社会史－』
柏崎市教育委員会 1983 「国光の塚群－新潟県柏崎市・国光の塚群発掘調査報告書」
柏崎市教育委員会 1986 「藤橋向山の塚－新潟県柏崎市・藤橋向山の塚発掘調査報告書」
柏崎市教育委員会 1997 「前津Ⅱ」（柏崎埋蔵文化財調査報告書第26集）
柏崎市教育委員会 1999 「国光の二ツ塚－新潟県柏崎市・国光の二ツ塚発掘調査報告書」
柏崎市教育委員会 2001 「宮ノ下遺跡群」
柏崎市史編さん委員会 1983 「柏崎市史資料編　地質」
春日真実 1997 「越後・佐渡における9世紀中葉の画期」『北陸古代土器研究』第6号
春日真実 1997 「越後における10・11世紀の土器様相」『北陸古代土器研究』第7号
春日真実 1999 「第2節　土器編年と地域性」『新潟県の考古学』高志書院
金子拓男 1990 「三鳥器の分立」・「交通と交通路」『柏崎市史』上巻　柏崎市史編さん室
刈羽村教育委員会 1995 「粘木A遺跡」
刈羽村教育委員会 1998 「払川・山ノ脇遺跡」
刈羽村教育委員会 1999 「払川遺跡」
川村浩司 1999 「2　須恵器の様相」『新潟県の考古学』高志書院
斎藤孝正・後藤建一 1995 「須恵器集成図録　第3巻　東日本編」
坂井秀弥 1984 「今池遺跡群における奈良・平安時代の土器」『上新バイパス関係遺跡発掘調査報告Ⅰ　今池遺跡・下新町遺跡・子安遺跡』（新潟県埋蔵文化財発掘調査報告書第35集）新潟県教育委員会
坂井秀弥 1989 「新潟県の黒色土器－6～8世紀を中心に－」『東国土器研究』第2号
坂井秀弥・川村浩司 1993 「古墳出現前後における越後の土器様相－越後・会津・能登－」『磐越地方における古墳文化形成過程の研究』
坂井秀弥・鶴岡正昭・春日真実 1991 「佐渡の須恵器」『新潟考古』
品田高志 1990 「越後における古墳時代土器の変遷－柏崎平野の中期～後期を中心に－」『柏崎市立博物館報No.4』柏崎市立博物館
品田高志 1992 「越後における古墳時代土器の変遷」『柏崎市立博物館報No.6』柏崎市博物館
品田高志 1994 「古代三島郡と古代土器の様相－柏崎平野における古代史理解に向けて－」『柏崎市立博物館報No.8』
品田高志 1997 「第2節　越後国における土師器の変遷と諸相」『中・近世の北陸－考古学が語る社会史－』
品田高志 1999a 「3　柏崎平野の土師器編年」『新潟県の考古学』高志書院
品田高志 1999b 「第1項　中世土師器」『新潟県の考古学』高志書院
田嶋明人 1986 「古代土器編年軸の設定ー加賀地域にみる7世紀から11世紀頃にかけての土器群の推移ー」『シンポジウム北陸の古代土器研究の現状と課題（報告編）石川考古学研究会・北陸古代土器研究会
田嶋明人 1988 「概説　中世の土器・陶磁器」真陽社
中世土器研究会編 1995 「北陸古代後半における複重食器（後）」『北陸古代土器研究』第7号　北陸古代土器研究会
出越茂和 1997 「笹山遺跡発掘調査報告書」
十日町市教育委員会 1998 「中道遺跡」
長岡市教育委員会 1998 「孤山塚群」
新潟県教育委員会 1979 「尾野内遺跡」「埋蔵文化財発掘調査報告書　尾野内遺跡・声ヶ崎磐跡」（新潟県埋蔵文化財発掘調査報告書第30）
新潟県教育委員会 1982 「内越遺跡」
新潟県教育委員会 1983 「今池遺跡・下新町遺跡・子安遺跡」
新潟県教育委員会 1984 「山三賀「遺跡」」
新潟県教育委員会 1989 「上越市春日・木田地区発掘調査報告書、一之口遺跡東地区」
新潟県教育委員会 1994 「上越市春日・木田地区発掘調査報告書、一之口遺跡東地区」
新潟県教育委員会・財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団 1996 「清水上遺跡Ⅱ」
新潟県考古学会編 1999 「新潟県の考古学」高志書院
西山町 1963 「西山町史」
西山町 1970 「西山町の民俗と文化財」
西山町 1980 「続西山町史」
西山町教育委員会 1983 「高塚B遺跡発掘調査概告書」
西山町教育委員会 1985 「多岐の脇遺跡発掘調査報告書」
西山町教育委員会 1991 「二塚　・甲田城跡発掘調査報告書」
西山町教育委員会 1994 「野崎遺跡発掘調査報告書」
西山町教育委員会 2003 「宮ノ前遺跡発掘調査報告書」
日本考古学協会新潟大会実行委員会 1993 「東日本における古墳出現課程の再検討」
北陸中世土器研究会編 1997 「中・近世の北陸－考古学が語る社会史－」桂書房
吉岡康暢 1991 「日本海域の土器・陶磁器」古代編　六興出版
吉岡康暢 1994 「中世須恵器の研究」吉川弘文館
和島村教育委員会 1991 「八幡林遺跡」（和島村埋蔵文化財調査報告書第1集）
和島村教育委員会 1993 「八幡林遺跡」（和島村埋蔵文化財調査報告書第2集）
和島村教育委員会 1994 「八幡林遺跡」（和島村埋蔵文化財調査報告書第3集）
和島村教育委員会 1995 「門新遺跡」（和島村埋蔵文化財調査報告書第4集）
和島村教育委員会 1996 「八幡林遺跡　外側田地区」（和島村埋蔵文化財調査報告書第5集）

別表1　塚一覧表

塚番号	平面形態		規模			盛土	施設	備考	新潟県遺跡台帳No.
	掘削前	基部	長辺	短辺	高さ				
1号塚	円	方	4.6	4.6	1.2	水平	周溝	頂部中央に攪乱 墓坑S-4(近世)に切られる	114
2号塚	円		4.4	4.4	0.7	水平		1号土坑に切られる	115
3号塚	円		4.4	4.4	0.7	水平		4号塚に接する	116
4号塚	円		2.8	2.8	0.4	水平		3号塚に接する	117
5号塚	方		10.4	6.9	0.5	水平	周溝		118
6号塚	円	方	9.0	9.0	1.3		方形基底部		119
7号塚	円	方	6.0	6.0	1.4		方形基底部		120
8号塚	方	方	8.0	8.0	1.2		方形基底部	頂部中央に攪乱	164
9号塚	円		5.1	5.1	1.1				165
10号塚	円	方	3.8	3.8	0.8		周溝		166
11号塚	円	方	5.4	5.4	1.1			北側が崩落	167

別表2　住居等一覧表

住居番号	地区	位置	平面形	規模	炉	主柱穴	壁	床	施設	重複	時期	備考
住居１Ａ	A	10-9	楕円	6.5*5	石組炉	6	有		ベッド状遺構	住居１Ｂ	大木８ｂ古	
住居１Ｂ	A	10-9	楕円	6.0*5	地床炉	3	有		ベッド状遺構 周溝	住居１Ａ		
住居２	A	11-10	楕円	4.8*4.0	地床炉	6	有		ベッド状遺構	住居３	大木８ｂ古	
住居３	A	12-10	円形？	3.2*2.6	不明	6	無		埋設土器 (S671)	住居２	大木８ｂ新	中央に埋設土器
住居４	A	13-11	円形	5.2*4.2	地床炉	5	有		周溝		大木８ｂ古	
住居５	A	12-12	長方形			4	無					長方形建物
住居６	A	14-13	円形	4.0*3.4	地床炉	3	有		ベッド状遺構 埋設土器		大木８ａ新	
住居７	A	12-15	円形	5.6*4.4	地床炉	6	有		周溝	住居８	大木８ｂ古	
住居８	A	12-15	楕円	5.8*2.2		6				住居７		
住居９	A	8-18	楕円	5.6*4.4	地床炉	5	有	貼床	ベッド状遺構 周溝		大木８ｂ古	
住居１０	B											
住居１１	B											
建物１	A	12-4										
建物２	C											
構１	A	13-5										
構２	A	13-5										
炉１	A	3-18			石組炉							ほぼ中央に窪み
炉２	A	4-17			地床炉							

別表3　遺構一覧表

A地区

遺構番号	グリッド	長径	短径	深度	その他
住居１A·B	10-9				深鉢·浅鉢·打製石斧·磨製石斧·石皿·敲石·不定形石器
住居２	11-10				深鉢·石匙·尖頭器·打製石斧·磨製石斧·不定形石器
住居３	12-10				深鉢·打製石斧·磨製石斧
住居４	13-11				深鉢·石匙·磨製石斧·不定形石器
住居５	12-12				深鉢·打製石斧·不定形石器
住居６	14-13				深鉢·打製石斧
住居７	12-15				深鉢·敲石·不定形石器
住居８	12-15				
住居９	8-18				深鉢·浅鉢·石匙·敲石·不定形石器
建物１	12-4				弥生土器甕
構１	13-5				
構２	13-5				土師器甕
炉１	3-18				
炉２	4-17				
土坑114	10-13	0.69	0.52	0.11	
土坑172	9-12	1.95	0.66	0.87	
土坑196	6-12	1.00	0.68	0.27	
土坑250	8-19	0.92	0.90	0.18	
土坑202	7-19	1.70	0.80	0.60	
土坑585	11-12	0.58	0.64	0.39	
土坑392	13-16	0.89	1.02	0.50	
土坑254	8-18	1.06	1.65	0.26	深鉢
土坑629	10-11	1.00	0.62	0.20	
土坑653	13-13	0.68	0.56	0.23	深鉢
土坑630	9-9	1.92	0.78	0.21	
土坑651	13-12	1.21	0.86	0.35	
土坑709	3-14	0.86	0.91	0.31	
土坑716	2-15	1.43	0.94	0.44	
土坑743	3-17	1.11	2.00	0.24	
土坑765	5-18	0.88	0.64	0.20	
土坑768	4-18	1.01	0.97	0.13	深鉢
個体番384	9-17				深鉢·掻器

遺溝番号	グリッド	長径	短径	深度	その他
土坑770	4-19	0.63	0.76	0.23	
土坑774	4-19	1.00	0.70	0.25	
土坑752	3-13	1.67	1.85	0.33	
溝775	5-19	1.81	0.42	0.25	
土坑778	5-19	1.14	0.92	0.46	
土坑781	5-19	0.91	0.91	0.40	
土坑784	5-19	0.74	0.72	0.27	
土坑790	6-20	1.25	1.11	0.41	
土坑794	5-14	0.95	0.94	0.35	
土坑799	3-17	0.70	0.80	0.43	
土坑791	6-20	1.45	0.93	0.22	
土坑807	4-12	2.08	1.29	0.21	
土坑808	5-12	0.72	0.80	0.10	
土坑834	2-12	0.50	0.61	0.32	
土坑901	12-5	4.10	1.53	0.43	炭・炭多量
土坑910	14-4	0.58	2.60	0.24	
土坑913	15-5	0.45	0.55	0.31	
土坑793	3-16	0.50	0.90	0.18	土器埋設
立石729	4-16	0.58	0.67	0.13	
土坑203	8-20	1.56	1.01	0.19	
立石792	6-20	0.76	0.79	0.18	
土坑796	7-19	3.60	4.36	0.21	焼土一部にたまる。明瞭な住穴なし。小土坑を持つ
遺382	12-17		3.85	0.37	珠洲甕
溝702			0.76	0.26	
溝703			0.62	0.15	
溝704			0.76	0.10	
溝974	14-5		0.55	0.14	深鉢、10号塚周溝

B地区

遺溝番号	グリッド	長径	短径	深度	その他
道1501	28-40				弥生土器甕・勾玉・不定形石器
住居10	28-44				深鉢、地床炉
住居11	26-36				弥生土器甕・壺、地床炉
フラスコ土坑1630	29-44	0.88	0.89	0.51	
フラスコ土坑1631	29-44	0.45	0.95	0.16	
フラスコ土坑1632	30-44	1.50	2.08	0.72	深鉢
フラスコ土坑1502	29-44	0.81	1.03	1.15	
土坑1002	25-35	1.06	0.74	0.37	高杯・土師
土坑1026	27-36	1.52	0.67	0.24	
土坑1503	29-44	1.08	1.09	0.40	
土坑1501	29-42	1.03	1.84	0.35	
土坑1579	25-43	1.12	0.87	0.20	
土坑1560	26-44	1.40	0.94	0.30	
土坑1563	25-44	1.27	0.94	0.26	
土坑1580	25-45	2.74	1.95	0.29	
土坑1569	25-44	1.07	1.09	0.31	
土坑1564	25-44	1.09	0.93	0.16	
土坑1534	28-45	0.86	0.71	0.37	深鉢・打製石斧
土坑1515	30-43	1.65	1.95	0.27	石鏃
溝1548	27-43	0.19	4.51	0.65	
土坑1511	28-46	1.72	0.82	0.34	
土坑1693	27-43	0.49	0.62	0.19	
ピット1578	25-43	0.58	0.44	0.37	

C地区

遺溝番号	グリッド	長径	短径	深度	その他
建物2	38-51				
溝2001	39-51	0.79	8.02	0.17	須恵器無台杯・壺・甕・土師器甕・鼎・珠洲焼甕・鍋鉢・青磁碗・鉄釘・鍛冶滓・羽口
土坑2027	39-51	3.10		0.35	
土坑2029	39-51	0.64	0.72	0.82	須恵器無台杯・土師器無台碗
土坑2080	39-52	1.97	2.08	0.69	
土坑2047	39-52	1.08	2.46	0.18	須恵器無台杯
ピット2071	39-53	0.47	0.46	0.38	
土坑2052	39-51	1.36	0.60	0.14	
溝2034	39-51				須恵器杯蓋・碗・無台杯・横瓶・甕
ピット2005	38-53	0.42	0.44	0.18	周辺で須恵器有台杯・甕・土師器甕
ピット2006	38-53	0.41	0.51	0.16	須恵器杯蓋・無台杯・横瓶
ピット2072	40-53	0.34	0.37	0.35	土師器無台碗
ピット2205	39-51				鍛冶滓

別表4　出土遺物一覧表

No	遺構	時代	種類	器種
1	1号堀	古代	須恵	甕
2	1号堀	縄文	石器	石鏃
3	1号堀	縄文	石器	不定形石器
4	1号堀	縄文	石器	不定形石器
5	2号堀	縄文	縄文	深鉢
6	2号堀	縄文	石器	石鏃
7	2号堀	縄文	石器	不定形石器
8	3号堀	縄文	石器	磨製石斧
9	3号堀	縄文	石器	打製石斧
10	3号堀	縄文	石器	磨製石斧
11	4号堀	古代	須恵	甕
12	4号堀	縄文	縄文	深鉢
13	4号堀	縄文	縄文	深鉢
14	4号堀	縄文	石器	磨製石斧
15	4号堀	縄文	石器	凹み石
16	5号堀	縄文	石器	打製石斧
17	5号堀	縄文	石器	打製石斧
18	5号堀	縄文	石器	剥片
19	5号堀	近世	古銭	寛永通宝
20	5号堀	近世	陶磁	擂鉢
21	6号堀	近世	古銭	寛永通宝
22	7号堀	縄文	石器	石鏃
23	8号堀	近世	陶磁	椀
24	8号堀	近世	陶磁	椀
25	8号堀	古代	須恵	甕
26	8号堀	古代	須恵	甕
27	8号堀	古代	須恵	甕
28	8号堀	古代	須恵	甕
29	8号堀	古代	須恵	甕
30	8号堀	縄文	石器	石鏃
31	8号堀	縄文	装身具	大珠
32	8号堀	縄文	石器	不定形石器
33	8号堀	縄文	石器	磨製石斧
34	8号堀	近世	古銭	寛永通宝
35	9号堀	弥生	土師	壺
36	9号堀	弥生	土師	甕
37	9号堀	古墳	土師	甕
38	9号堀	古代	須恵	無台杯
39	10号堀	中世	瑞洲	擂鉢
40	11号堀	弥生	土師	杯
41	11号堀	古墳	土師	杯
42	11号堀	古代	須恵	甕
43	11号堀	近世	肥前	皿
44	住居1A	縄文	縄文	深鉢
45	住居1A	縄文	縄文	深鉢
46	住居1A	縄文	縄文	深鉢
47	住居1A	縄文	縄文	深鉢
48	住居1A	縄文	縄文	深鉢
49	住居1A	縄文	縄文	深鉢
50	住居1A	縄文	縄文	深鉢
51	住居1A	縄文	縄文	深鉢
52	住居1A	縄文	縄文	深鉢
53	住居1A	縄文	縄文	深鉢
54	住居1A	縄文	縄文	深鉢
55	住居1A	縄文	縄文	深鉢
56	住居1A	縄文	縄文	深鉢
57	住居1A	縄文	縄文	深鉢
58	住居1A	縄文	縄文	深鉢
59	住居1A	縄文	縄文	深鉢
60	住居1A	縄文	縄文	深鉢
61	住居1A	縄文	縄文	深鉢
62	住居1A	縄文	縄文	深鉢
63	住居1A	縄文	縄文	深鉢
64	住居1A	縄文	縄文	深鉢
65	住居1A	縄文	縄文	深鉢
66	住居1A	縄文	縄文	深鉢
67	住居1A	縄文	縄文	深鉢
68	住居1A	縄文	縄文	深鉢
69	住居1A	縄文	縄文	深鉢
70	住居1A	縄文	縄文	深鉢
71	住居1A	縄文	縄文	深鉢
72	住居1A	縄文	縄文	浅鉢
73	住居2	縄文	縄文	深鉢
74	住居2	縄文	縄文	深鉢
75	住居2	縄文	縄文	深鉢
76	住居2	縄文	縄文	深鉢
77	住居2	縄文	縄文	深鉢
78	住居2	縄文	縄文	深鉢
79	住居2	縄文	縄文	深鉢
80	住居2	縄文	縄文	深鉢

No	遺構	時代	種類	器種
81	住居2	縄文	縄文	深鉢
82	住居2	縄文	縄文	深鉢
83	住居2	縄文	縄文	深鉢
84	住居2	縄文	縄文	深鉢
85	住居2	縄文	縄文	深鉢
86	住居3	縄文	縄文	深鉢
87	住居3	縄文	縄文	深鉢
88	住居4	縄文	縄文	深鉢
89	住居4	縄文	縄文	深鉢
90	住居4	縄文	縄文	深鉢
91	住居4	縄文	縄文	深鉢
92	住居4	縄文	縄文	深鉢
93	住居4	縄文	縄文	深鉢
94	住居4	縄文	縄文	深鉢
95	住居4	縄文	縄文	深鉢
96	住居5	縄文	縄文	深鉢
97	住居6	縄文	縄文	深鉢
98	住居6	縄文	縄文	深鉢
99	住居6	縄文	縄文	深鉢
100	住居7	縄文	縄文	深鉢
101	住居7	縄文	縄文	深鉢
102	住居7	縄文	縄文	深鉢
103	住居7	縄文	縄文	深鉢
104	住居7	縄文	縄文	深鉢
105	住居7	縄文	縄文	深鉢
106	住居7	縄文	縄文	深鉢
107	住居7	縄文	縄文	深鉢
108	住居7	縄文	縄文	深鉢
109	住居7	縄文	縄文	深鉢
110	住居7	縄文	縄文	深鉢
111	住居7	縄文	縄文	深鉢
112	住居7	縄文	縄文	浅鉢
113	住居7	縄文	縄文	深鉢
114	住居7	縄文	縄文	深鉢
115	住居9	縄文	縄文	深鉢
116	住居9	縄文	縄文	深鉢
117	住居9	縄文	縄文	深鉢
118	住居9	縄文	縄文	深鉢
119	住居9	縄文	縄文	深鉢
120	住居9	縄文	縄文	深鉢
121	住居9	縄文	縄文	深鉢
122	住居9	縄文	縄文	深鉢
123	住居9	縄文	縄文	深鉢
124	住居9	縄文	縄文	深鉢
125	住居9	縄文	縄文	深鉢
126	住居9	縄文	縄文	深鉢
127	住居9	縄文	縄文	深鉢
128	住居9	縄文	縄文	深鉢
129	住居9	縄文	縄文	深鉢
130	住居9	縄文	縄文	深鉢
131	住居9	縄文	縄文	深鉢
132	住居9	縄文	縄文	深鉢
133	住居9	縄文	縄文	深鉢
134	住居9	縄文	縄文	深鉢
135	住居9	縄文	縄文	深鉢
136	住居9	縄文	縄文	深鉢
137	住居9	縄文	縄文	深鉢
138	住居9	縄文	縄文	深鉢
139	住居9	縄文	縄文	深鉢
140	住居9	縄文	縄文	深鉢
141	住居9	縄文	縄文	深鉢
142	住居9	縄文	縄文	深鉢
143	住居9	縄文	縄文	深鉢
144	住居9	縄文	縄文	深鉢
145	住居9	縄文	縄文	深鉢
146	住居9	縄文	縄文	深鉢
147	住居9	縄文	縄文	深鉢
148	住居9	縄文	縄文	深鉢
149	住居9	縄文	縄文	深鉢
150	住居9	縄文	縄文	深鉢
151	住居9	縄文	縄文	深鉢
152	住居9	縄文	縄文	深鉢
153	住居9	縄文	縄文	深鉢
154	住居9	縄文	縄文	深鉢
155	住居9	縄文	縄文	深鉢
156	住居9	縄文	縄文	深鉢
157	住居9	縄文	縄文	深鉢
158	住居9	縄文	縄文	深鉢
159	住居9	縄文	縄文	深鉢
160	住居9	縄文	縄文	深鉢

No	遺構	時代	種類	器種
161	住居9	縄文	縄文	深鉢
162	住居9	縄文	縄文	深鉢
163	住居9	縄文	縄文	深鉢
164	住居9	縄文	縄文	台形土器
165	住居9	縄文	縄文	深鉢
166	住居9	縄文	縄文	深鉢
167	住居9	縄文	縄文	深鉢
168	住居9	縄文	縄文	深鉢
169	住居9	縄文	縄文	深鉢
170	住居9	縄文	縄文	深鉢
171	住居9	縄文	縄文	深鉢
172	住居9	縄文	縄文	深鉢
173	住居9	縄文	縄文	深鉢
174	住居9	縄文	縄文	深鉢
175	建物1	弥生	土器	甕
176	柵2	古墳	土師	甕
177	土坑254	縄文	縄文	深鉢
178	土坑653	縄文	縄文	深鉢
179	土坑768	縄文	縄文	深鉢
180	土坑768	縄文	縄文	深鉢
181	土坑901	古代	須恵	無台杯
182	土坑796	縄文	縄文	深鉢
183	土坑796	縄文	縄文	深鉢
184	遺382	中世	珠洲	甕
185	掘木底384	縄文	縄文	深鉢
186	掘木底384	縄文	縄文	深鉢
187	掘木底384	縄文	縄文	深鉢
188	掘木底384	縄文	縄文	深鉢
189	溝971	縄文	縄文	深鉢
190	包含層	縄文	縄文	深鉢
191	包含層	縄文	縄文	深鉢
192	包含層	縄文	縄文	深鉢
193	包含層	縄文	縄文	深鉢
194	包含層	縄文	縄文	深鉢
195	包含層	縄文	縄文	深鉢
196	包含層	縄文	縄文	深鉢
197	包含層	縄文	縄文	深鉢
198	包含層	縄文	縄文	深鉢
199	包含層	縄文	縄文	深鉢
200	包含層	縄文	縄文	深鉢
201	包含層	縄文	縄文	深鉢
202	包含層	縄文	縄文	深鉢
203	包含層	縄文	縄文	深鉢
204	包含層	縄文	縄文	深鉢
205	包含層	縄文	縄文	深鉢
206	包含層	縄文	縄文	深鉢
207	包含層	縄文	縄文	深鉢
208	包含層	縄文	縄文	深鉢
209	包含層	縄文	縄文	深鉢
210	包含層	縄文	縄文	深鉢
211	包含層	縄文	縄文	深鉢
212	包含層	縄文	縄文	深鉢
213	包含層	縄文	縄文	深鉢
214	包含層	中世	珠洲	擂鉢
215	包含層	古代	須恵	無台杯
216	包含層	古代	須恵	無台杯
217	包含層	古代	須恵	甕
218	包含層	古代	須恵	甕
219	包含層	古代	須恵	甕
220	包含層	古代	土師	甕
221	包含層	近世	陶磁	擂鉢
222	包含層	近世	陶磁	椀
223	包含層	近世	陶磁	椀
224	包含層	近世	陶磁	椀
225	包含層	近世	陶磁	椀
226	包含層	近世	陶磁	椀
227	包含層	近世	古銭	寛永通宝
228	包含層	近世	古銭	寛永通宝
229	包含層	縄文	石器	石鏃
230	住居4	縄文	石器	石鏃
231	住居4	縄文	石器	石鏃
232	包含層	縄文	石器	石鏃
233	住居9	縄文	石器	石鏃
234	遺382	縄文	石器	石鏃
235	包含層	縄文	石器	石鏃
236	住居9	縄文	石器	石鏃
237	包含層	縄文	石器	石鏃
238	包含層	縄文	石器	石鏃
239	住居2	縄文	石器	石鏃
240	包含層	縄文	石器	石鏃

No	遺構	時代	種類	器種
241	包含層	縄文	石器	石鏃
242	包含層	縄文	石器	尖頭器
243	住居2	縄文	石器	石鏃
244	倒木痕384	縄文	石器	石匙
245	包含層	縄文	石器	打製石斧
246	住居2	縄文	石器	打製石斧
247	包含層	縄文	石器	打製石斧
248	住居3	縄文	石器	打製石斧
249	住居1A	縄文	石器	打製石斧
250	住居5	縄文	石器	打製石斧
251	包含層	縄文	石器	打製石斧
252	道382	縄文	石器	打製石斧
253	住居6	縄文	石器	打製石斧
254	包含層	縄文	石器	打製石斧
255	包含層	縄文	石器	打製石斧
256	住居1A	縄文	石器	磨製石斧
257	住居1A	縄文	石器	磨製石斧
258	住居3	縄文	石器	磨製石斧
259	住居2	縄文	石器	磨製石斧
260	住居1A	縄文	石器	磨製石斧
261	住居1A	縄文	石器	磨製石斧
262	住居2	縄文	石器	磨製石斧
263	溝702	縄文	石器	磨製石斧
264	道382	縄文	石器	磨製石斧
265	包含層	縄文	石器	磨製石斧
266	住居4	縄文	石器	磨製石斧
267	住居1A	縄文	石器	石皿
268	住居1A	縄文	石器	石皿
269	住居1A	縄文	石器	敲石
270	住居9	縄文	石器	凹み石・叩石
271	住居7	縄文	石器	礫石器
272	住居9	縄文	石器	叩石
273	包含層	縄文	石器	三角刀形石器
274	住居1A	縄文	石器	不定形石器
275	住居5	縄文	石器	不定形石器
276	住居7	縄文	石器	不定形石器
277	包含層	縄文	石器	不定形石器
278	包含層	縄文	石器	不定形石器
279	包含層	縄文	石器	不定形石器
280	住居4	縄文	石器	不定形石器
281	住居9	縄文	石器	不定形石器
282	住居1A	縄文	石器	不定形石器
283	包含層	縄文	石器	不定形石器
284	住居1A	縄文	石器	不定形石器
285	住居1A	縄文	石器	不定形石器
286	住居2	縄文	石器	不定形石器
287	住居2	縄文	石器	不定形石器
288	住居7	縄文	石器	不定形石器
289	溝702	縄文	石器	不定形石器
290	包含層	縄文	石器	不定形石器
291	包含層	縄文	石器	不定形石器
292	溝702	縄文	石器	不定形石器
293	住居7	縄文	石器	不定形石器
294	住居1A	縄文	石器	不定形石器
295	住居9	縄文	石器	不定形石器
296	住居4	縄文	石器	不定形石器
297	立石729	縄文	石器	立石
298	立石792	縄文	石器	立石
299	包含層	縄文	石器	立石
300	道1501	弥生	弥生	甕
301	道1501	弥生	装飾品	勾玉
302	道1501	縄文	石器	不定形石器
303	住居10	縄文	縄文	深鉢
304	住居11	弥生	土器	甕
305	住居11	弥生	土器	壷
306	ﾌﾗｽｺ土坑1632	縄文	縄文	深鉢
307	土坑1002	縄文	縄文	深鉢
308	土坑1002	古墳	土師	高坏
309	土坑1002	古墳	土師	高坏
310	土坑1002	古墳	土師	甕
311	土坑1002	不明	土製品	土錘
312	土坑1534	縄文	縄文	深鉢
313	土坑1534	縄文	石器	打製石斧
314	土坑1515	縄文	石器	不定形石器
315	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
316	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
317	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
318	埋没沢	古墳	土師	高坏
319	埋没沢	古墳	土師	高坏
320	埋没沢	古墳	土師	高坏

No	遺構	時代	種類	器種
321	埋没沢	古墳	土師	高坏
322	埋没沢	古墳	土師	高坏
323	埋没沢	古墳	土師	高坏
324	埋没沢	古墳	土師	高坏
325	埋没沢	古墳	土師	高坏
326	埋没沢	古墳	土師	甕
327	埋没沢	古墳	土師	甕
328	埋没沢	古墳	土師	甕
329	埋没沢	古墳	土師	甕
330	埋没沢	古墳	土師	甕
331	埋没沢	古墳	土師	甕
332	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
333	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
334	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
335	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
336	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
337	埋没谷第3層	縄文	装身具	耳飾
338	埋没谷第3層	縄文	石器	磨製石斧
339	埋没谷第3層	縄文	石器	磨製石斧
340	埋没谷第3層	縄文	石器	磨製石斧
341	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
342	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
343	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
344	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
345	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
346	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
347	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
348	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
349	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
350	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
351	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
352	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
353	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
354	埋没沢	縄文	縄文	浅鉢
355	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
356	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
357	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
358	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
359	埋没谷第9層	縄文	石器	不定形石器
360	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
361	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
362	埋没谷	縄文	石器	剥片
363	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
364	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
365	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
366	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
367	埋没沢	縄文	縄文	深鉢
368	埋没沢	縄文	石器	磨製石斧
369	包含層	縄文	縄文	深鉢
370	包含層	縄文	縄文	深鉢
371	包含層	縄文	縄文	深鉢
372	包含層	縄文	縄文	深鉢
373	包含層	縄文	縄文	深鉢
374	包含層	縄文	縄文	深鉢
375	包含層	縄文	縄文	深鉢
376	包含層	縄文	縄文	深鉢
377	包含層	縄文	縄文	深鉢
378	包含層	縄文	縄文	深鉢
379	包含層	縄文	縄文	深鉢
380	包含層	縄文	縄文	深鉢
381	包含層	縄文	縄文	深鉢
382	包含層	古墳	土師	碗
383	包含層	古墳	土師	碗
384	包含層	弥生	弥生	器台
385	包含層	古墳	土師	高坏
386	包含層	古墳	土師	高坏
387	包含層	古墳	土師	高坏
388	包含層	古墳	土師	高坏
389	包含層	弥生	土器	高坏
390	包含層	古墳	土師	高坏
391	包含層	古墳	土師	高坏
392	包含層	古墳	土師	高坏
393	包含層	古墳	土師	高坏
394	包含層	古墳	土師	高坏
395	包含層	古墳	土師	高坏
396	包含層	古墳	土師	高坏
397	包含層	古墳	土師	高坏
398	包含層	古墳	土師	高坏
399	包含層	弥生	弥生	甕
400	包含層	古墳	土師	甕

No	遺構	時代	種類	器種
401	包含層	古墳	土師	甕
402	包含層	古墳	土師	甕
403	包含層	古墳	土師	甕
404	包含層	弥生	土器	壷
405	包含層	古墳	土師	甕
406	包含層	古墳	土師	甕
407	包含層	古墳	土師	甕
408	包含層	古墳	土師	甕
409	包含層	古墳	須恵	蓋
410	包含層	古代	須恵	無台杯
411	包含層	中世	土師	皿
412	包含層	中世	珠洲	甕
413	包含層	近世	陶磁	碗
414	包含層	近世	肥前	碗
415	包含層	近世	陶磁	碗
416	包含層	近世	肥前	碗
417	包含層	近世	瀬戸	碗
418	包含層	近世	瀬戸	碗
419	包含層	近世	肥前	碗
420	包含層	近世	陶磁	碗
421	包含層	近世	陶磁	碗
422	包含層	近世	陶磁	碗
423	包含層	近世	陶磁	碗
424	包含層	近世	陶磁	擂鉢
425	包含層	近世	陶磁	壷
426	包含層	縄文	石器	石鏃
427	包含層	縄文	石器	石鏃
428	包含層	縄文	石器	石鏃
429	包含層	縄文	石器	原石
430	包含層	縄文	石器	石鏃
431	包含層	縄文	石器	石鏃
432	包含層	縄文	石器	打製石斧
433	包含層	縄文	石器	打製石斧
434	包含層	縄文	石器	不定形石器
435	包含層	縄文	石器	磨製石斧
436	包含層	縄文	石器	磨製石斧
437	包含層	縄文	石器	磨製石斧
438	包含層	縄文	石器	磨製石斧
439	包含層	不明	石器	砥石
440	包含層	不明	鉄滓	鍛冶滓
441	包含層	近世	古銭	寛永通宝
442	溝2001	古代	須恵	無台杯
443	溝2001	古代	須恵	無台杯
444	溝2001	古代	須恵	壷
445	溝2001	古代	須恵	甕
446	溝2001	古代	須恵	甕
447	溝2001	古代	須恵	甕
448	溝2001	古代	須恵	甕
449	溝2001	古代	須恵	甕
450	溝2001	古代	土師	甕
451	溝2001	中世	土師	皿
452	溝2001	中世	土師	皿
453	溝2001	中世	土師	皿
454	溝2001	中世	土師	皿
455	溝2001	中世	土師	皿
456	溝2001	中世	土師	皿
457	溝2001	中世	土師	皿
458	溝2001	中世	土師	皿
459	溝2001	中世	珠洲	擂鉢
460	溝2001	中世	珠洲	擂鉢
461	溝2001	中世	珠洲	擂鉢
462	溝2001	中世	珠洲	擂鉢
463	溝2001	中世	珠洲	擂鉢
464	溝2001	中世	珠洲	擂鉢
465	溝2001	中世	青磁	碗
466	溝2001	不明	鉄製品	釘
467	溝2001	不明	鉄滓	鍛冶滓
468	溝2001	不明	鉄滓	鍛冶滓
469	溝2001	不明	鉄滓	鍛冶滓
470	溝2001	不明	鉄滓	鍛冶滓
471	溝2001	不明	土製品	輪羽口
472	ピット2005周辺	古代	須恵	有台杯
473	ピット2005周辺	古代	須恵	甕
474	ピット2005周辺	古代	須恵	甕
475	ピット2005周辺	古代	須恵	甕
476	ピット2005周辺	古代	須恵	甕
477	ピット2005周辺	古代	須恵	甕
478	ピット2005周辺	古代	須恵	甕
479	ピット2005周辺	古代	土師	甕
480	ピット2005周辺	古代	土師	甕

No	遺構	時代	種類	器種
481	ピット2005周辺	不明	鉄滓	鍛冶滓
482	ピット2006周辺	古代	須恵	杯蓋
483	ピット2006周辺	古代	須恵	無台杯
484	ピット2006周辺	古代	須恵	横瓶
485	ピット2006周辺	古代	須恵	甕
486	土坑2029	古代	須恵	無台杯
487	土坑2029	古代	土師	椀
488	土坑2029	古代	土師	椀
489	溝2034	古代	須恵	杯蓋
490	溝2034	古代	須恵	有台杯
491	溝2034	古代	須恵	無台杯
492	溝2034	古代	須恵	横瓶
493	溝2034	古代	須恵	甕
494	溝2034	古代	須恵	甕
495	溝2034	古代	須恵	甕
496	溝2034	不明	鉄滓	鍛冶滓
497	土坑2047	古代	須恵	無台杯
498	ピット2080	中世	土師	皿
499	土坑2064	古代	須恵	杯蓋
500	土坑2064	古代	須恵	無台杯
501	ピット2072	古代	土師	椀
502	ピット2305	不明	鉄滓	鍛冶滓
503	試掘1T	古代	須恵	無台杯
504	試掘1T	古代	須恵	無台杯
505	試掘1T	古代	須恵	壺
506	試掘1T	古代	須恵	壺
507	試掘1T	古代	須恵	鉢
508	試掘1T	古代	土師	椀
509	試掘1T	古代	土師	甕
510	試掘1T	古代	土師	甕
511	試掘1T	古代	土師	甕
512	試掘1T	古代	土師	甕
513	試掘1T	中世	瀬戸	甕
514	包含層	古墳	土師	椀
515	包含層	古墳	土師	椀
516	包含層	古墳	土師	椀
517	包含層	古墳	土師	椀
518	包含層	古墳	土師	高杯
519	包含層	古墳	土師	高杯
520	包含層	古墳	土師	甕
521	包含層	古墳	土師	高杯
522	包含層	古墳	土師	高杯
523	包含層	古墳	土師	高杯
524	包含層	古代	須恵	蓋
525	包含層	古代	須恵	蓋
526	包含層	古代	須恵	蓋
527	包含層	古代	須恵	蓋
528	包含層	古代	須恵	蓋
529	包含層	古代	須恵	有台杯
530	包含層	古代	須恵	有台杯
531	包含層	古代	須恵	有台杯
532	包含層	古代	須恵	有台杯
533	包含層	古代	須恵	有台杯
534	包含層	古代	須恵	有台杯
535	包含層	古代	須恵	有台杯
536	包含層	古代	須恵	無台杯
537	包含層	古代	須恵	無台杯
538	包含層	古代	須恵	無台杯
539	包含層	古代	須恵	無台杯
540	包含層	古代	須恵	無台杯
541	包含層	古代	須恵	無台杯
542	包含層	古代	須恵	無台杯
543	包含層	古代	須恵	無台杯
544	包含層	古代	須恵	無台杯
545	包含層	古代	須恵	無台杯
546	包含層	古代	須恵	無台杯
547	包含層	古代	須恵	無台杯
548	包含層	古代	須恵	無台杯
549	包含層	古代	須恵	無台杯
550	包含層	古代	須恵	無台杯
551	包含層	古代	須恵	無台杯
552	包含層	古代	須恵	無台杯
553	包含層	古代	須恵	無台杯
554	包含層	古代	須恵	無台杯
555	包含層	古代	土師	椀
556	包含層	古代	土師	椀
557	包含層	古代	土師	椀
558	包含層	古代	土師	椀
559	包含層	古代	土師	椀
560	包含層	古代	土師	椀

No	遺構	時代	種類	器種
561	包含層	古代	土師	椀
562	包含層	古代	土師	椀
563	包含層	古代	土師	椀
564	包含層	古代	土師	椀
565	包含層	古代	土師	椀
566	包含層	古代	土師	椀
567	包含層	古代	土師	椀
568	包含層	古代	土師	椀
569	包含層	古代	土師	椀
570	包含層	古代	土師	椀
571	包含層	古代	土師	椀
572	包含層	古代	緑釉	有段皿
573	包含層	古代	須恵	横瓶
574	包含層	古代	須恵	壺
575	包含層	古代	須恵	壺
576	包含層	古代	須恵	甕
577	包含層	古代	須恵	甕
578	包含層	古代	須恵	甕
579	包含層	古代	須恵	甕
580	包含層	古代	土師	甕
581	包含層	古代	土師	甕
582	包含層	古代	土師	甕
583	包含層	古代	土師	甕
584	包含層	古墳	土師	甕
585	包含層	古代	土師	甕
586	包含層	古墳	土師	甕
587	包含層	古墳	土師	甕
588	包含層	古代	土師	甕
589	包含層	古代	土師	甕
590	包含層	古代	土師	甕
591	包含層	古代	土師	甕
592	包含層	古代	土師	甕
593	包含層	古代	土師	甕
594	包含層	古代	土師	鍋
595	包含層	中世	土師	皿
596	包含層	中世	土師	皿
597	包含層	中世	土師	皿
598	包含層	中世	青磁	碗
599	包含層	中世	珠洲	擂鉢
600	包含層	中世	珠洲	擂鉢
601	包含層	中世	珠洲	擂鉢
602	包含層	中世	珠洲	擂鉢
603	包含層	中世	珠洲	擂鉢
604	包含層	中世	珠洲	甕
605	包含層	中世	珠洲	甕
606	包含層	中世	瀬戸	甕
607	包含層	中世	珠洲	甕
608	包含層	中世	珠洲	壺
609	包含層	不明	土製品	土錘
610	包含層	不明	鉄滓	鍛冶滓
611	包含層	不明	鉄滓	鍛冶滓
612	包含層	不明	鉄滓	鍛冶滓
613	包含層	不明	鉄滓	鍛冶滓
614	包含層	不明	鉄滓	鍛冶滓
615	包含層	不明	鉄滓	鍛冶滓
616	包含層	不明	鉄滓	鍛冶滓
617	包含層	不明	鉄滓	鍛冶滓

別表5　土器陶磁器計測表

No	遺構	層位	時代	種別	器種	細分	口径	底径	器高	胎土	色調	焼成	調整・その他
1	1号竪		古代	須恵	甕						黄灰	還硬	外:擬格子叩,内:同心円当具
5	2号竪		縄文	縄文	深鉢	8b	19.0				にぶい橙		調巻文
11	4号竪		古代	須恵	甕						にぶい褐	還硬	外:平行叩
12	4号竪		縄文	縄文	深鉢	8b	17.0				にぶい橙		調巻文
13	4号竪		縄文	縄文	深鉢	8b	13.0				にぶい黄褐		調巻文
20	6号竪		近世	陶磁	擂鉢	口縁	25.6				暗赤褐		
23	8号竪		近世	陶磁	碗	染付	13.2						
24	8号竪		近世	陶磁	碗						暗褐		
25	8号竪		古代	須恵	甕	甕	52.8				灰白	還硬	外:波状文2条、沈線1条
26	8号竪		古代	須恵	甕	甕					黄灰	還硬	外:波状文2条、沈線1条
27	8号竪		古代	須恵	甕	甕					黄灰	還硬	外:波状文2条、沈線1条
28	8号竪		古代	須恵	甕						灰白	還硬	外:擬格子叩,内:同心円当具
29	8号竪		古代	須恵	甕						黄灰	還硬	外:擬格子叩,内:同心円当具
35	9号竪		弥生	土師	壺						明褐		細口有段壺,2～6期
36	9号竪	下層	弥生	土器	甕						にぶい黄橙		内:横ハケメ,外:煤付着,2～6期
37	9号竪	下層	古墳	土師	甕						浅黄橙		
38	9号竪	中層	古代	須恵	無台杯			7.8			灰白	還硬	ヘラ切り後ナデ
39	10号竪		中世	珠洲	擂鉢						灰白	還硬	内:8目
40	11号竪		弥生	土器	杯		9.8	5.6	12.3		にぶい黄橙		底部輪台法,2～6期か
41	11号竪	下層	古墳	土師	杯		13.0				にぶい黄橙		平底,2～6期
42	11号竪		古代	須恵	甕						灰白	還硬	外:波状文
43	11号竪		近世	肥前	皿								
44	住居1A		縄文	縄文	深鉢	8b							大型把手・調巻文・斜位細沈線
45	住居1A		縄文	縄文	深鉢	8b							調巻文
46	住居1A		縄文	縄文	深鉢	8b							LR・調巻文
47	住居1A		縄文	縄文	深鉢	8b							LR・太沈線調巻文・縦横沈線
48	住居1A		縄文	縄文	深鉢	8b							調巻文
49	住居1A		縄文	縄文	深鉢	8b							調巻文
50	住居1A		縄文	縄文	深鉢	8b							
51	住居1A	上中層	縄文	縄文	深鉢								LR・種製・波状口縁
52	住居1A	上層	縄文	縄文	深鉢			9.0			橙		粗製・波状口縁
53	住居1A	上層	縄文	縄文	深鉢								RL・種製・波状口縁
54	住居1A		縄文	縄文	深鉢	8b							
55	住居1A		縄文	縄文	深鉢	8b							
56	住居1A		縄文	縄文	深鉢								沈線
57	住居1A	中層	縄文	縄文	深鉢								LR
58	住居1A	上層	縄文	縄文	深鉢								沈線
59	住居1A		縄文	縄文	深鉢								LR・沈線
60	住居1A	上層	縄文	縄文	深鉢								LR・沈線
61	住居1A		縄文	縄文	深鉢								LR
62	住居1A		縄文	縄文	深鉢								RL
63	住居1A	中層	縄文	縄文	深鉢								LR
64	住居1A		縄文	縄文	深鉢	8b							縦横沈線
65	住居1A		縄文	縄文	深鉢						にぶい黄橙		RL・石組炉理設土器
66	住居1A		縄文	縄文	深鉢								LR
67	住居1A		縄文	縄文	深鉢								LR
68	住居1A		縄文	縄文	深鉢								RL
69	住居1A		縄文	縄文	深鉢								
70	住居1A	中層	縄文	縄文	深鉢								LR
71	住居1A		縄文	縄文	深鉢								
72	住居1A		縄文	縄文	浅鉢								無紋
73	住居2		縄文	縄文	深鉢								太沈線
74	住居2		縄文	縄文	深鉢	8b							調巻文・斜行沈線
75	住居2		縄文	縄文	深鉢	8b							調巻文・斜行沈線
76	住居2		縄文	縄文	深鉢	8b							太沈線
77	住居2		縄文	縄文	深鉢	8b							太沈線
78	住居2		縄文	縄文	深鉢	8b							
79	住居2		縄文	縄文	深鉢								太沈線
80	住居2		縄文	縄文	深鉢								沈線
81	住居2		縄文	縄文	深鉢	8b							LR・太沈線調巻文
82	住居2		縄文	縄文	深鉢	8b							LR・沈線
83	住居2		縄文	縄文	深鉢								
84	住居2		縄文	縄文	深鉢								
85	住居2		縄文	縄文	深鉢								
86	住居3		縄文	縄文	深鉢								RL・波状口縁
87	住居3		縄文	縄文	深鉢	8b新							太沈線調巻文・矢羽根状細沈線
88	住居4		縄文	縄文	深鉢								LR・波状口縁
89	住居4		縄文	縄文	深鉢								LR・波状口縁
90	住居4		縄文	縄文	深鉢								LR・太沈線
91	住居4		縄文	縄文	深鉢	8b古							LR・隆帯調巻文
92	住居4		縄文	縄文	深鉢								RL・縦位平行沈線
93	住居4		縄文	縄文	深鉢	8b古							RL・沈線
94	住居4		縄文	縄文	深鉢								LR
95	住居4		縄文	縄文	深鉢	8b古							縦位隆線
96	住居5		縄文	縄文	深鉢								RL・粗製
97	住居6		縄文	縄文	深鉢								隆線調巻文・矢羽根状細沈線
98	住居6		縄文	縄文	深鉢	8a新							大塚型土器

No	遺構	層位	時代	特類	器種	細分	口径	底径	器高	胎土	色調	焼成	調整・その他
99	住居 6		縄文	縄文	深鉢								RL・縦位沈線
100	住居 7		縄文	縄文	深鉢	8a							LR・隆帯・円形貼付け文
101	住居 7		縄文	縄文	深鉢								LR・沈線
102	住居 7		縄文	縄文	深鉢								隆線渦巻文・斜行沈線
103	住居 7		縄文	縄文	深鉢								沈線
104	住居 7		縄文	縄文	深鉢								LR・沈線
105	住居 7		縄文	縄文	深鉢								LR
106	住居 7		縄文	縄文	深鉢								LR・沈線
107	住居 7		縄文	縄文	深鉢								沈線
108	住居 7		縄文	縄文	深鉢								沈線
109	住居 7		縄文	縄文	深鉢								沈線渦巻文
110	住居 7		縄文	縄文	深鉢	8a							眼鏡状突起
111	住居 7		縄文	縄文	深鉢								LR・沈線
112	住居 7		縄文	縄文	浅鉢								無紋
113	住居 7		縄文	縄文	深鉢								
114	住居 7		縄文	縄文	深鉢								RL
115	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							RL・沈線・波状文
116	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							LR・太沈線渦巻文
117	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							猫状把手・斜位細沈線・渦巻文
118	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文・矢羽根状細沈線
119	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文・斜行沈線
120	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文・斜行沈線
121	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							RL・沈線
122	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							RL・沈線
123	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文・斜行沈線
124	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							渦巻状把手
125	住居 9		縄文	縄文	深鉢								RL
126	住居 9		縄文	縄文	深鉢								LR
127	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							太沈線渦巻文
128	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							LR・太沈線渦巻文
129	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文・斜行沈線
130	住居 9		縄文	縄文	深鉢								LR・太沈線渦巻文
131	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							LR・円形貼付け文
132	住居 9		縄文	縄文	深鉢								太沈線渦巻文
133	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							LR・沈線
134	住居 9		縄文	縄文	深鉢								LR
135	住居 9		縄文	縄文	深鉢								LR
136	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							LR・太沈線渦巻文
137	住居 9		縄文	縄文	深鉢								LR
138	住居 9		縄文	縄文	深鉢								LR
139	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							
140	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文・斜行沈線
141	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文・斜行沈線
142	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文・斜行沈線
143	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							沈線区画・矢羽根状沈線
144	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文
145	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文・斜行沈線
146	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文・斜行沈線
147	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							
148	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							
149	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							
150	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							
151	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文・斜行沈線
152	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文・斜行沈線
153	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文・斜行沈線
154	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文
155	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							
156	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文・矢羽根状細沈線
157	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							細沈線
158	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							沈線
159	住居 9		縄文	縄文	深鉢								
160	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							RL
161	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							沈線区画内斜位細沈線
162	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							沈線・矢羽根状沈線
163	住居 9		縄文	縄文	深鉢	8b							沈線・矢羽根状沈線
164	住居 9		縄文	縄文	台形土器								
165	住居 9		縄文	縄文	深鉢								
166	住居 9		縄文	縄文	深鉢								LR
167	住居 9		縄文	縄文	深鉢								
168	住居 9		縄文	縄文	深鉢								RL・沈線
169	住居 9		縄文	縄文	深鉢								
170	住居 9		縄文	縄文	深鉢								
171	住居 9		縄文	縄文	深鉢								
172	住居 9		縄文	縄文	深鉢								
173	住居 9		縄文	縄文	深鉢								
174	住居 9		縄文	縄文	深鉢								
175	遺物 1		弥生	土器	甕								内：横ハケメ、2～6間
176	柵 2		古墳	土師	甕								内：ハケメ

No	遺構	層位	時代	種類	器種	細分	口径	底径	器高	胎土	色調	焼成	調整・その他
177	土坑254		縄文	縄文	深鉢								底外:縄文
178	土坑653		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線細沈線
179	土坑768		縄文	縄文	深鉢								
180	土坑768		縄文	縄文	深鉢		11.4	9.4			橙		
181	土坑901		古代	須恵	無台杯								
182	土坑796		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻状突起・縦位,斜行沈線
183	土坑796		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻状突起・縦位沈線・矢羽根状沈線
184	道382		中世	珠洲	甕								外:平行叩,内:当具痕
185	倒木痕384		縄文	縄文	深鉢	8b古							LR・横位隆線・円形貼付け文
186	倒木痕384		縄文	縄文	深鉢	8b							RL・太沈線渦巻文
187	倒木痕384		縄文	縄文	深鉢	8a新							火焔型土器鶏冠状突起
188	倒木痕384		縄文	縄文	深鉢								外底:縄文
189	溝974		縄文	縄文	深鉢	8b							沈線・斜位細沈線
190	包含層		縄文	縄文	深鉢	8b古							LR・隆線渦巻文
191	包含層		縄文	縄文	深鉢								LR・隆線渦巻文
192	包含層		縄文	縄文	深鉢								
193	包含層		縄文	縄文	深鉢	8a新							火炎型土器袋状突起
194	包含層		縄文	縄文	深鉢	8b							円形貼付け文
195	包含層		縄文	縄文	深鉢								
196	包含層		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文
197	包含層		縄文	縄文	深鉢	8b							
198	包含層		縄文	縄文	深鉢	8b							
199	包含層		縄文	縄文	深鉢	8b							LR
200	包含層		縄文	縄文	深鉢	8b							隆線渦巻文
201	包含層		縄文	縄文	深鉢	8b							
202	包含層		縄文	縄文	深鉢	8b							
203	包含層		縄文	縄文	深鉢								
204	包含層		縄文	縄文	深鉢	8a新							RL
205	包含層		縄文	縄文	深鉢	8b							火炎型土器
206	包含層		縄文	縄文	深鉢								沈線
207	包含層		縄文	縄文	深鉢								
208	包含層		縄文	縄文	深鉢								LR
209	包含層		縄文	縄文	深鉢								沈線
210	包含層		縄文	縄文	深鉢								隆線渦巻文
211	包含層		縄文	縄文	深鉢	8b							沈線
212	包含層		縄文	縄文	深鉢	8b							沈線
213	包含層		縄文	縄文	深鉢	8b							RL・沈線
214	包含層		中世	珠洲	擂鉢	Ⅳ期							卸目密
215	包含層		古代	須恵	無台杯	小泊							
216	包含層		古代	須恵	無台杯								体部下端ケズリ
217	包含層		古代	須恵	甕								外:擬格子叩、内:平行当具
218	包含層		古代	須恵	甕								外:擬格子叩、内:平行当具
219	包含層		古代	須恵	甕								外:擬格子叩、カキメ、内:平行当具
220	包含層		古代	土師	甕								外底:回転糸切り
221	包含層		近世	陶磁	擂鉢								
222	包含層		近世	陶磁	碗								
223	包含層		近世	陶磁	碗								
224	包含層		近世	陶磁	碗								
225	包含層		近世	陶磁	碗								
226	包含層		近世	陶磁	碗								
300	道1501		弥生	弥生	甕						浅黄橙		2~6期
303	住居10		縄文	縄文	深鉢		17.8				浅黄橙		底外:網代痕、外面煤付着
304	住居11		弥生	土器	甕								2~6期
305	住居11		弥生	土器	壺			2.0			にぶい橙		2~6期
306	フラスコ土坑1632		縄文	縄文	深鉢	8a新							RL・大振波状口縁・隆線
307	土坑1002		縄文	縄文	深鉢	8b							波状口縁
308	土坑1002	上面	古墳	土師	高坏						橙		
309	土坑1002	上面	古墳	土師	高坏						にぶい橙		11~12期
310	土坑1002		古墳	土師	甕						橙		
312	土坑1534		縄文	縄文	深鉢	7b							RL・木目状撚糸文
315	埋没沢	第1層	縄文	縄文	深鉢								
316	埋没沢	第1層	縄文	縄文	深鉢	7b							RL・撚糸側面圧痕
317	埋没沢	第1層	縄文	縄文	深鉢	8a							沈線・細沈線
318	埋没沢	第1層	古墳	土師	高坏						にぶい橙		
319	埋没沢	第1層	古墳	土師	高坏								古墳前期後半(9期)
320	埋没沢	第1層	古墳	土師	高坏								古墳前期後半(9期)
321	埋没沢	第1層	古墳	土師	高坏						橙		11~12期
322	埋没沢	第1層	古墳	土師	高坏						浅黄橙		11~12期
323	埋没沢	第1層	古墳	土師	高坏						淡赤橙		11~12期
324	埋没沢	第1層	古墳	土師	高坏								古墳前期後半
325	埋没沢	第1層	古墳	土師	高坏								弥生後半~古墳初頭
326	埋没沢	第1層	古墳	土師	甕								古墳前期後半
327	埋没沢	第1層	古墳	土師	甕						明黄褐		
328	埋没沢	第1層	古墳	土師	甕								
329	埋没沢	第1層	古墳	土師	甕								
330	埋没沢	第1層	古墳	土師	甕								
331	埋没沢	第1層	古墳	土師	甕								

No	遺構	層位	時代	種別	器種	細分	口径	底径	器高	胎土	色調	焼成	調整・その他
332	埋設沢	第3層	縄文	縄文	深鉢	7b							LI縄複位沈線・頭部爪形文・新崎式新
333	埋設沢	第3層	縄文	縄文	深鉢	8a							沈線
334	埋設沢	第3層	縄文	縄文	深鉢								横位隆帯
335	埋設沢	第3層	縄文	縄文	深鉢								円形貼付け文
336	埋設沢	第3層	縄文	縄文	深鉢								底外:網代痕
341	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢	8a							隆線渦巻文・眼鏡状突起
342	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢	7b		4.0			橙		隆線に爪形文・新崎式影響
343	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢	8a							王冠型・隆線渦巻文・袋状突起
344	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢						黒褐		円形貼付け文
345	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢	7b~8a							隆線
346	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢	8a~b							LR・沈線渦巻文・新崎式
347	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢								RL
348	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢	7b							横位隆線に爪形文・新崎式
349	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢								隆線に矢羽根状沈線
350	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢								LR
351	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢								RL・隆帯に刺突
352	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢	8b古							LR・縦位沈線
353	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢	8b							RL・隆帯・刺突
354	埋設沢	第9層	縄文	縄文	浅鉢	7b							LR
355	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢								爪形文・新崎式影響
356	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢								太沈線
357	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢	8b							縦位竹管沈線
358	埋設沢	第9層	縄文	縄文	深鉢								
360	埋設沢		縄文	縄文	深鉢	8a	22.6				褐		隆帯・矢羽根状細沈線・刺突文・上山田天神式影響
361	埋設沢		縄文	縄文	深鉢								LR・沈線
363	埋設沢		縄文	縄文	深鉢	7b							RL・側面圧痕
364	埋設沢		縄文	縄文	深鉢	7b~8a							隆帯
365	埋設沢		縄文	縄文	深鉢								RL
366	埋設沢		縄文	縄文	深鉢								RL
367	埋設沢		縄文	縄文	深鉢	7b	28.0				橙		LR・側面圧痕・竹管爪形文
369	弧含層		縄文	縄文	深鉢	8a					にぶい褐		隆帯渦巻文・直線文・曲線文
370	弧含層		縄文	縄文	深鉢	8a							交互刺突
371	弧含層		縄文	縄文	深鉢	8a							縦位細沈線
372	弧含層		縄文	縄文	深鉢	7b							隆帯爪形文・新崎式
373	弧含層		縄文	縄文	深鉢	8a							隆帯爪形文・沈線直曲線文
374	弧含層		縄文	縄文	深鉢	8a古					にぶい橙		王冠型・隆帯曲線文
375	弧含層		縄文	縄文	深鉢	8b							RL
376	弧含層		縄文	縄文	深鉢								RL
377	弧含層		縄文	縄文	深鉢	8a古	15.0				明黄褐		LR・隆線
378	弧含層		縄文	縄文	深鉢								円形貼付け文
379	弧含層		縄文	縄文	深鉢								RL
380	弧含層		縄文	縄文	深鉢								沈線曲線文
381	弧含層		縄文	縄文	深鉢	8a					にぶい黄褐		王冠型・鶏冠突起に刺突
382	弧含層		古墳	土師	碗								9~13期・横位ミガキ
383	弧含層		古墳	土師	碗								古墳後期
384	弧含層		弥生	弥生	器台								2期、弥生後期後半、近江東海系、在地化
385	弧含層		古墳	土師	高坏								
386	弧含層		古墳	土師	高坏						橙		
387	弧含層		古墳	土師	高坏								古墳前期後半(畿内系)
388	弧含層		古墳	土師	高坏						橙		
389	弧含層		弥生	土器	高坏						橙		赤彩
390	弧含層		古墳	土師	高坏						橙		
391	弧含層		古墳	土師	高坏						橙		11~12期
392	弧含層		古墳	土師	高坏						橙		11~12期
393	弧含層		古墳	土師	高坏								古墳前期後半
394	弧含層		古墳	土師	高坏								古墳前期
395	弧含層		古墳	土師	高坏						明黄褐		古墳前期
396	弧含層		古墳	土師	高坏								11~12期
397	弧含層		古墳	土師	高坏								古墳中期初頭(11~12期)
398	弧含層		古墳	土師	高坏								
399	弧含層		弥生	弥生	甕		22.0				にぶい褐		赤彩
400	弧含層		古墳	土師	甕								
401	弧含層		古墳	土師	甕								
402	弧含層		古墳	土師	甕								
403	弧含層	暗褐一括	古墳	土師	甕		18.2				にぶい橙		古墳中期
404	弧含層		弥生	土器	壺								2~6期
405	弧含層		古墳	土師	甕								
406	弧含層		古墳	土師	甕								
407	弧含層		古墳	土師	甕								
408	弧含層		古墳	土師	甕								
409	弧含層		古墳	須恵	蓋								TK23~TK47
410	弧含層		古代	須恵	無台杯						暗灰	還元	
411	弧含層		中世	土師	皿								三島焼須恵
412	弧含層		中世	珠洲	甕								外:平行叩,内:当具痕
413	弧含層		近世	陶磁	碗		12.0						
414	弧含層		近世	肥前	碗								
415	弧含層	暗褐	近世	陶磁	碗								

No	遺構	層位	時代	種類	器種	細分	口径	底径	器高	胎土	色調	焼成	調整・その他
416	包含層		近世	肥前	碗		12.0						
417	包含層		近世	瀬戸	皿								
418	包含層		近世	瀬戸	皿		12.6						
419	包含層		近世	肥前	皿								
420	包含層		近世	陶磁	碗								
421	包含層		近世	陶磁	碗								
422	包含層		近世	陶磁	碗						褐		
423	包含層		近世	陶磁	碗								
424	包含層		近世	陶磁	鉢								
425	包含層		近世	陶磁	壺								
442	溝2001		古代	須恵	無台杯		12.0	8.0	3.0		灰白	還元	外底:粗いナデ
443	溝2001		古代	須恵	無台杯		13.0	8.0	4.2		灰	還元	ヘラ切り後ナデ
444	溝2001		古代	須恵	蓋			4.4			灰	還元	体部下端ケズリ
445	溝2001		古代	須恵	甕		20.4				灰	還元	
446	溝2001		古代	須恵	甕						灰	還元	外:擬格子叩,内:同心円当具
447	溝2001		古代	須恵	甕						暗灰	還元	外:擬格子叩,内:同心円当具
448	溝2001		古代	須恵	甕						灰	還元	外:擬格子叩,内:同心円当具
449	溝2001		古代	須恵	甕						灰	還元	外:擬格子叩,内:平行当具
450	溝2001		古代	土師	甕		14.8				橙		
451	溝2001		中世	土師	皿		8.0	4.8	1.6		橙		三鳥羽羽型
452	溝2001		中世	土師	皿		8.0	5.0	1.7				三鳥羽羽型
453	溝2001		中世	土師	皿		10.0				浅黄橙		三鳥羽羽型
454	溝2001		中世	土師	皿		11.0				灰白		三鳥羽羽型
455	溝2001		中世	土師	皿		11.8	7.4	2.2		にぶい黄橙		系統不明
456	溝2001		中世	土師	皿		12.0	5.0	2.6		暗褐	還元	系統不明
457	溝2001		中世	土師	皿		11.8	7.4	2.5		黒褐	還元	系統不明
458	溝2001		中世	土師	皿			5.0			橙		
459	溝2001		中世	珠洲	擂鉢	Ⅱ期	29.4				灰	還元	
460	溝2001		中世	珠洲	擂鉢		39.0				暗灰	還元	
461	溝2001		中世	珠洲	擂鉢	Ⅲ期	34.2				灰	還元	
462	溝2001		中世	珠洲	擂鉢	Ⅱ～Ⅲ期	39.2				灰	還元	
463	溝2001		中世	珠洲	擂鉢	Ⅱ期		8.2			暗灰	還元	7目の3目複状,底部静止糸切り、外面黒化
464	溝2001		中世	珠洲	擂鉢	Ⅱ～Ⅲ期		11.0			暗灰	還元	5目8方押目,底部ケズリ,内外黒化
465	溝2001		中世	青磁	碗		13.2				黄褐		鎬蓮弁文
472	ピット2005周辺	上面	古代	須恵	有台杯		11.8				灰	軟質	
473	ピット2005周辺	上面	古代	須恵	甕		24.6				灰	還元	
474	ピット2005周辺	上面	古代	須恵	甕						暗灰	還元	外:平行叩
475	ピット2005周辺	上面	古代	須恵	甕						灰	還元	外:擬格子叩,内:同心円当具
476	ピット2005周辺	上面	古代	須恵	甕						暗灰	還元	外:擬格子叩,内:同心円当具
477	ピット2005周辺	上面	古代	須恵	甕						暗灰	還元	外:擬格子叩,内:同心円当具
478	ピット2005周辺	上面	古代	須恵	甕						暗灰	還元	外:擬格子叩,カキメ,内:同心円当具
479	ピット2005周辺	上面	古代	土師	甕			9.0			にぶい橙		
480	ピット2005周辺	上面	古代	土師	甕			8.0			浅黄橙		外部一部黒く変色
482	ピット2006周辺		古代	須恵	杯蓋		12.0				灰	還元	端部断面三角
483	ピット2006周辺		古代	須恵	無台杯			9.0			灰	還元	
484	ピット2006周辺		古代	須恵	横瓶						灰	還元	カキメ
485	ピット2006周辺		古代	須恵	甕						暗灰	還元	
486	土坑2029		古代	須恵	無台杯		12.0				灰	還元	
487	土坑2029		古代	土師	碗			5.0					海綿骨針多量に含む
488	土坑2029	上面	古代	土師	碗			4.6					
489	溝2034	上面	古代	須恵	杯蓋		12.1				灰	還元	端部断面三角
490	溝2034	上面	古代	須恵	有台杯		11.8				灰	還元	
491	溝2034	上面	古代	須恵	無台杯			8.0			灰	還元	
492	溝2034	上面	古代	須恵	横瓶						暗灰	還元	
493	溝2034	上面	古代	須恵	甕						灰	還元	外:格子叩
494	溝2034	上層	古代	須恵	甕						灰	還元	外:格子叩,内:平行当具
495	溝2034	上面	古代	須恵	甕						灰	還元	外:擬格子叩,内:同心円当具
497	土坑2047		古代	須恵	無台杯		11.4				灰	還元	
498	ピット2060		中世	土師	皿						灰		三鳥羽羽型
499	土坑2064		古代	須恵	杯蓋		12.5				灰	還元	端部断面三角
500	土坑2064	上面	古代	須恵	無台杯		12.0				灰白	還元	
501	ピット2072		古代	土師	碗		12.0	4.0	5.4		にぶい橙		糸切り痕ナデ消す
503	試掘1T		古代	須恵	無台杯	小形		7.6			灰	還元	
504	試掘1T		古代	須恵	無台杯			8.0			灰	還元	ヘラ切り後ナデ
505	試掘1T		古代	須恵	壺			10.0			灰	還元	内底面自然釉
506	試掘1T		古代	須恵	壺			10.0			灰	還元	
507	試掘1T		古代	須恵	鉢		18.0				灰	軟質	
508	試掘1T		古代	土師	碗		9.0				淡橙		
509	試掘1T		古代	土師	皿		14.0				浅黄橙		
510	試掘1T		古代	土師	甕						淡橙		
511	試掘1T		古代	土師	甕						浅黄橙		
512	試掘1T		古代	土師	甕			5.6			にぶい黄橙		底部回転糸きり
513	試掘1T		中世	瀬戸	甕		44.6				灰褐	還元硬質	[N]字状口縁
514	包含層		古墳	土師	碗						にぶい褐		
515	包含層		古墳	土師	碗		11.8	6.2	8.7		橙		
516	包含層		古墳	土師	碗		15.4	3.6	5.9		にぶい黄橙		内面:黒色処理,古墳後期
517	包含層		古墳	土師	碗		16.0	6.0	5.0		にぶい黄橙		内面:黒色処理,古墳後期
518	包含層		古墳	土師	高杯		14.8				にぶい橙		2～6期

No	遺構	層位	時代	種別	器種	細分	口径	底径	器高	胎土	色調	焼成	調整・その他
519	包含層		古墳	土師	高杯						にぶい褐		
520	包含層		古墳	土師	甕						にぶい褐		
521	包含層		古墳	土師	高杯						橙		
522	包含層		古墳	土師	高杯						にぶい橙		
523	包含層		古墳	土師	高杯			7.6			にぶい黄橙		
524	包含層		古代	須恵	蓋						灰白	還元	擬宝珠形つまみ
525	包含層		古代	須恵	蓋		14.0				暗灰	還元	端部折り曲げ
526	包含層		古代	須恵	蓋		13.8				灰	還元	外：肩部ロクロケズリ、内：ナデ、端部折り曲げ
527	包含層		古代	須恵	蓋		14.0				灰	還元	回転ヘラキリ後ナデ、肩部ケズリ、端部断面三角
528	包含層		古代	須恵	蓋		15.0				明灰	還元	外：肩部ケズリ、端部折り曲げ、端部重ね焼き痕
529	包含層		古代	須恵	有台杯		13.0				灰	還元	
530	包含層		古代	須恵	有台杯			6.2			灰	還元	
531	包含層		古代	須恵	有台杯			7.0			明灰	還元	底回転ヘラキリ後ﾛｸﾛﾅﾃﾞ高台外端接地
532	包含層		古代	須恵	有台杯			8.0			灰	還元	外底面墨痕
533	包含層		古代	須恵	有台杯			7.0			灰	還元	
534	包含層		古代	須恵	有台杯			9.0			灰	還元	
535	包含層		古代	須恵	有台杯			7.2			灰	還元	底回転ヘラキリ後ﾛｸﾛﾅﾃﾞ高台外端接地
536	包含層		古代	須恵	無台杯	小泊	12.0	7.0	2.4		灰	還元	
537	包含層		古代	須恵	無台杯	小泊	12.0	7.8	2.5		灰	還元	
538	包含層		古代	須恵	無台杯		12.0	8.0	3.5		灰	還元	
539	包含層		古代	須恵	無台杯	小泊	12.0				灰	還元	
540	包含層		古代	須恵	無台杯	小泊	12.0				灰	還元	
541	包含層		古代	須恵	無台杯		13.0				灰	還元	
542	包含層		古代	須恵	無台杯	小泊	12.0				灰	還元	
543	包含層		古代	須恵	無台杯	小泊	12.0				灰	還元	
544	包含層		古代	須恵	無台杯	小泊	12.0				灰	還元	
545	包含層		古代	須恵	無台杯	小泊	12.0				灰	還元	
546	包含層		古代	須恵	無台杯		12.0				灰	還元	
547	包含層		古代	須恵	無台杯	小泊	13.0				灰	還元	
548	包含層		古代	須恵	無台杯	小泊		5.0			灰	還元	
549	包含層		古代	須恵	無台杯	小泊		7.0			灰	還元	
550	包含層		古代	須恵	無台杯			7.4			灰	還元	
551	包含層		古代	須恵	無台杯			7.8			灰	還元	
552	包含層		古代	須恵	無台杯			8.0			灰	還元	
553	包含層		古代	須恵	無台杯			7.8			灰	還元	
554	包含層		古代	須恵	無台杯			8.0			暗灰	還元	
555	包含層		古代	土師	碗		12.4				にぶい橙		底部回転糸きり
556	包含層		古代	土師	碗		12.2				にぶい黄橙		底部回転糸きり
557	包含層		古代	土師	碗		13.8				橙		底部回転糸きり
558	包含層		古代	土師	碗		13.0				にぶい橙		底部回転糸きり
559	包含層		古代	土師	碗		13.2				にぶい橙		底部回転糸きり
560	包含層		古代	土師	碗			5.2			明黄褐		底部回転糸きり
561	包含層		古代	土師	碗			4.2			橙		底部回転糸きり・外部黒く変色
562	包含層		古代	土師	碗			5.4			橙		底部回転糸きり
563	包含層		古代	土師	碗			4.6			橙		底部回転糸きり・内外面スス付着
564	包含層		古代	土師	碗			5.6			にぶい黄橙		底部回転糸きり
565	包含層		古代	土師	碗			5.0			橙		底部回転糸切り
566	包含層		古代	土師	碗			6.6			橙		底部回転糸きり
567	包含層		古代	土師	碗			5.8			にぶい黄橙		底部回転糸きり
568	包含層		古代	土師	碗			5.8			橙		底部回転糸きり
569	包含層		古代	土師	碗			6.0			にぶい橙		底部回転糸きり
570	包含層		古代	土師	碗			6.0			橙		底部回転糸きり
571	包含層		古代	土師	碗			6.2			橙		底部回転糸きり
572	包含層		古代	緑釉	有段皿		12.4	6.2	2.0		灰	還硬	内外面に緑釉、外底ﾛｸﾛｽﾞﾘ、三角高台
573	包含層		古代	須恵	横瓶		11.2				暗灰	還硬	
574	包含層		古代	須恵	壺			12.6			灰	還硬	外底面自然釉
575	包含層		古代	須恵	壺								
576	包含層		古代	須恵	甕			11.0			灰	還硬	外：波状文
577	包含層		古代	須恵	甕		20.0				暗灰	還硬	
578	包含層		古代	須恵	甕		20.4				暗灰	還硬	
579	包含層		古代	須恵	甕		28.0				暗灰	還硬	
580	包含層		古代	土師	甕		12.0				にぶい褐		
581	包含層		古代	土師	甕		13.0				浅黄橙		
582	包含層		古代	土師	甕						にぶい褐		
583	包含層		古代	土師	甕		18.0				にぶい黄橙		
584	包含層		古墳	土師	甕		18.4				にぶい黄橙		外：タテハケメ、内：ヨコハケ、古墳前期～中期
585	包含層		古代	土師	甕		23.0				にぶい橙		
586	包含層		古墳	土師	甕			5.0			浅黄橙		
587	包含層		古墳	土師	甕			7.0			にぶい黄橙		
588	包含層		古代	土師	甕			6.0			橙		外底面ケズリ
589	包含層		古代	土師	甕			5.0			にぶい黄橙		外底面ケズリ・底部一部黒く変色
590	包含層		古代	土師	甕			6.0			橙		底部回転糸きり
591	包含層		古代	土師	甕			7.2			淡赤橙		底部回転糸切り

No	遺構	層位	時代	種類	器種	細分	口径	底径	器高	胎土	色調	焼成	調整・その他
592	包含層		古代	土師	甕						にぶい橙		底部回転糸切り
593	包含層		古代	土師	甕			6.6			にぶい橙		底部回転糸きり
594	包含層		古代	土師	鍋		33.0				橙		
595	包含層		中世	土師	皿		8.0	6.4	1.4		にぶい橙		三島刻羽痕・内部一部黒く変色
596	包含層		中世	土師	皿		8.0	6.0	1.4		浅黄橙		
597	包含層		中世	土師	皿		12.0	6.0	1.9		にぶい黄橙		三島刻羽痕
598	包含層		中世	青磁	碗			5.6			明緑灰		
599	包含層		中世	珠洲	擂鉢	II期					暗灰	還元	注口部・波状卸目
600	包含層		中世	珠洲	擂鉢	III期	22.0				灰	還元	
601	包含層		中世	珠洲	擂鉢	III期	26.0				灰	還元	
602	包含層		中世	珠洲	擂鉢	III期	30.0				灰	還元	
603	包含層		中世	珠洲	擂鉢	II期	40.4				灰	還元	回転糸切り・9目12方卸目
604	包含層		中世	珠洲	甕	II～III期					灰	還元	
605	包含層		中世	珠洲	甕						灰	還元	
606	包含層		中世	瀬戸	甕						灰	還元	
607	包含層		中世	珠洲	壺			12.2			灰	還元	
608	包含層		中世	珠洲	壺			13.2			暗灰	還元	底部静止糸きり→タタキ

別表6　打製石斧計測表

No	遺構	地点	細分	長	刃部幅	基部幅	厚	刃/基	重量	石材	備考
9	3号堀			16.9	6.9	5.2	2.7	1.3	389.0	安山岩	
16	5号堀			12.4	4.5	3.5	2.2	1.3	130.0	頁岩	
17	5号堀			10.2	5.9	－	2.8	－	262.0	安山岩	刃部欠損
245	包含層	X13Y16		9.1	4.5	－	1.6	－	87.0	頁岩	基部欠損
246	住居２			10.1	4.8	3.8	1.8	1.3	112.0	玄武岩	
247	包含層	X15Y9		5.8	－	－	2.5	－	83.0	頁岩	刃部基部欠損
248	住居３	上面		9.0	－	4.3	2.7	－	153.0	ハンレイ岩	刃部欠損
249	住居１Ａ			8.9	3.6	－	1.9	－	66.0	緑泥岩	基部欠損・磨製石斧未製品
250	住居５	第１層		8.1	－	3.7	3.2	－	199.0	ハンレイ岩	刃部欠損
251	包含層	X8Y11		6.6	4.4	－	2.0	－	62.0	玄武岩	基部欠損
252	道382			9.2	4.6	3.2	1.9	1.4	84.0	頁岩	
253	住居６			9.6	4.8	3.8	2.0	1.3	105.0	輝緑岩	
254	包含層	X14Y14		12.0	5.2	3.7	2.3	1.4	181.0	玄武岩	
255	包含層	X13Y15		10.1	6.5	－	3.2	－	217.0	頁岩	基部欠損
313	土坑1534			7.3	－	4.6	1.7	－	61.0	頁岩	刃部欠損
432	包含層	X26Y34		9.9	5.5	－	1.7	－	106.0	頁岩	基部欠損
433	包含層	X27Y42		8.4	5.2	－	1.6	－	87.0	凝灰岩	基部欠損

別表7　磨製石斧計測表

No	遺構	地点	細分	長	幅	厚	重量	石材	調整
8	3号堀			8.0	4.4	1.6	68.0	安山岩	基部欠損
10	3号堀			14.1	4.6	2.1	205.0	安山岩	黒色変質
14	4号堀			7.0	3.8	2.7	81.0	蛇紋	刃部欠損
33	8号堀			10.5	5.3	2.2	221.0	蛇紋	刃部欠損
256	住居１Ａ			4.9	3.7	2.0	36.0	蛇紋	
257	住居１Ａ	炉南		4.2	5.3	2.2	91.0	蛇紋	
258	住居３			6.4	3.9	1.7	76.0	輝緑岩	表面赤化・劣化あり
259	住居２			3.4	2.9	1.1	17.0	蛇紋	
260	住居１Ａ	炉西		11.8	6.1	2.8	301.0	蛇紋	
261	住居１Ａ			10.1	5.0	2.6	239.0	蛇紋	
262	住居２			10.2	4.8	2.4	202.0	輝緑岩	
263	溝702			9.8	5.3	2.1	179.0	輝緑岩	全体に磨滅著しい
264	道382			6.2	5.3	1.7	99.0	輝緑岩	
265	包含層			7.2	6.4	1.5	84.0	ハンレイ岩	
266	住居４			5.3	2.2	0.8	14.0		
338	堆没谷第3層			4.5	5.2	2.2	90.0	蛇紋	
339	堆没谷第3層			5.3	5.5	2.2	77.0	蛇紋	
340	堆没谷第3層			5.2	5.5	2.3	98.0	蛇紋	
368	堆没谷上面			5.2	6.4	1.2	121.0	輝緑岩	
435	包含層			2.4	2.4	1.0	9.0	蛇紋	
436	包含層			7.3	5.4	2.3	124.0	蛇紋	
437	包含層			4.9	5.2	1.7	64.0	蛇紋	
438	包含層			6.8	3.8	1.3	54.0		

別表8　石鏃計測表

No	遺構	地点	細分	長	幅	厚	重量	石材	調整
2	1号堀		凹基無茎	2.7	1.2	0.3	1.0	チャート	
6	2号堀		凹基無茎	2.4	1.5	0.3	1.0	チャート	基部一部欠損
22	7号堀		凹基有茎	3.0	2.0	0.4	3.0	石英	先端欠損
30	8号堀		凹基有茎	3.5	1.7	0.4	2.0		先端欠損
229	包含層		凹基無茎	1.8	1.3	0.3	1.0	チャート	
230	住居4		平基有茎	2.1	1.6	0.3	1.0	頁岩	半透明
231	住居4		凹基無茎	2.1	1.6	0.5	1.0	チャート	ガラス質安山岩
232	包含層		凹基無茎	2.4	1.5	0.4	1.0	チャート	
233	住居9		凹基無茎	2.4	1.1	0.4	1.0	メノウ	
234	道382		凹基無茎	2.4	1.6	0.5	2.0	チャート	
235	包含層		凹基無茎	2.5	1.3	0.4	1.0	チャート	
236	住居9		凹基無茎	3.2	1.7	0.6	2.0	頁岩	半透明
237	包含層		凹基無茎	3.7	1.8	0.6	3.0	メノウ	
238	包含層		凹基無茎	3.3	1.6	0.5	2.0	安山岩	ガラス質安山
239	住居2		凹基無茎	3.1	1.6	0.6	3.0	頁岩	
240	包含層		凹基無茎	2.9	2.2	0.7	4.0	頁岩	
241	包含層		突基無茎	4.1	3.1	0.8	10.0	チャート	
243	住居2		凹基無茎	4.0	1.5	0.3	2.0	安山岩	ガラス質
426	包含層		凹基無茎	1.9	1.3	0.4	1.0	チャート	
427	包含層		凹基無茎	2.2	1.6	0.4	1.0	頁岩	
428	包含層		凹基無茎	3.2	2.5	0.9	8.0	チャート	未製品
430	包含層		完基	2.5	0.7	0.7	2.0	チャート	完頂部
431	包含層		凹基	5.2	3.0	0.8	13.0	安山岩	不定形

別表9　その他石器・石製品計測表

No	遺構	地点	時代	器種	長	幅	厚	重量	石材	調整
3	1号堀		縄文	不定形石器	4.0	1.5	0.5	4	チャート	A・B類
4	1号堀		縄文	不定形石器	2.4	2.3	0.7	6	チャート	
7	2号堀		縄文	不定形石器	2.2	2.1	0.4	3	チャート	A・B類、石鏃未製品
15	4号堀		縄文	西み石	16.0	6.5	2.5	322		
18	5号堀		縄文	剥片	4.8	1.6	0.5	3	頁岩	
32	8号堀		縄文	不定形石器	6.5	6.0	1.8	65		
242	包含層		縄文	楔形石器	6.3	2.1	1.2	12	鉄石英	
244	倒木痕384		縄文	石鏃	2.4	1.8	0.6	2	チャート	刃部欠損
267	住居1A	炉石	縄文	石皿	27.4	29.5	9.5	8950		
268	住居1A	炉石	縄文	石皿	16.5	23.3	7.9	3800		
269	住居1A		縄文	敲石	11.5	10.3	3.2	713		
270	住居9		縄文	西み石・凹石	8.5	6.8	3.0	175	風化不明	黒色付着物あり
271	住居7		縄文	敲石器	13.0	7.8	5.3	478	砂岩	黒色付着物あり
272	住居9		縄文	凹石	5.0	3.8	2.5	68	翡翠	
273	包含層		縄文	三角刀形石器	8.2	6.1	4.6	287	輝緑岩	
274	住居1A		縄文	不定形石器	3.9	1.8	0.5	5	安山岩	
275	住居5		縄文	不定形石器	3.9	2.4	0.8	7	安山岩	
276	住居7		縄文	不定形石器	2.5	5.2	0.7	11	ハンレイ岩	
277	包含層		縄文	不定形石器	3.7	2.0	1.0	10	チャート	
278	包含層		縄文	不定形石器	2.8	2.3	0.5	4	安山岩	
279	包含層		縄文	不定形石器	3.5	2.8	1.1	10	鉄石英	
280	住居4		縄文	不定形石器	2.2	1.7	0.5	1	チャート	
281	住居9		縄文	不定形石器	2.6	2.9	0.8	6	頁岩	
282	住居1A		縄文	不定形石器	3.0	3.7	1.0	11	安山岩	
283	包含層		縄文	不定形石器	2.5	2.0	0.5	2	チャート	
284	住居1A		縄文	不定形石器	4.4	6.5	1.0	25	頁岩	
285	住居1A		縄文	不定形石器	2.8	3.8	0.9	8	緑色凝灰岩	
286	住居2		縄文	不定形石器	8.0	5.9	1.8	77	頁岩	
287	住居2		縄文	不定形石器	5.3	5.0	2.6	51	流紋岩	
288	住居7		縄文	不定形石器	7.7	4.5	1.5	54	頁岩	
289	溝702		縄文	不定形石器	7.4	6.7	2.3	133	安山岩	
290	包含層		縄文	不定形石器	4.2	3.0	0.9	14	チャート	
291	包含層		縄文	不定形石器	3.2	5.8	1.7	25	安山岩	
292	溝702		縄文	不定形石器	4.5	4.0	1.6	27	安山岩	
293	住居7		縄文	不定形石器	4.4	5.9	1.2	28	玄武岩	
294	住居1A		縄文	不定形石器	8.3	4.5	1.9	80	流紋岩	
295	住居9	店東上面	縄文	不定形石器	13.5	10.7	9.5	1580		
296	住居4		縄文	不定形石器	18.7	24.7	16.0	6970		
297	立石729		縄文	立石	23.0	25.7	8.5	7900		
298	立石792		縄文	立石	32.0	17.9	13.2	10660		
299	包含層		縄文	立石	25.6	11.5	10.0	7000		
302	道1810		縄文	不定形石器	7.6	3.3	1.2	22	凝灰岩	
314	土坑1515		縄文	不定形石器	2.0	1.5	0.5	2	メノウ	
359	埋設谷第9層		縄文	不定形石器	4.0	1.4	0.6	3	安山岩	D類
362	埋設谷		縄文	剥片	2.3	1.7	1.5	3	黒曜石	
429	包含層		縄文	原石	3.8	2.3	2.2	20	翡翠	
434	包含層		縄文	不定形石器	7.2	5.6	1.2	46	頁岩	
438	包含層		不明	敲石	5.9	2.4	2.4	40	凝灰岩	

別表10　古銭計測表

No	遺構	地点	時代	種類	器種	径	重量	その他
19	5号堀		近世	古銭	寛永通宝	2.2		
21	6号堀		近世	古銭	寛永通宝	2.3		
34	8号堀		近世	古銭	寛永通宝	2.2		
227	包含層		近世	古銭	寛永通宝	2.3		
228	包含層		近世	古銭	寛永通宝	2.2		
441	包含層		近世	古銭	寛永通宝	2.2		

別表11　鉄滓計測表

No	遺構	地点	時代	種類	器種	長	短	厚	重量	その他
440	包含層		不明	鉄滓	鍛冶滓	5.2	8.7	4.3	127	
467	溝2001		不明	鉄滓	鍛冶滓	2.2	7.0	1.9	12	
468	溝2001		不明	鉄滓	鍛冶滓	2.0	2.8	2.0	17	
469	溝2001		不明	鉄滓	鍛冶滓	6.7	4.4	3.9	106	
479	溝2001		不明	鉄滓	鍛冶滓	5.0	6.2	2.7	83	
481	ピット2005		不明	鉄滓	鍛冶滓	5.3	6.0	4.9	174	
496	溝2034		不明	鉄滓	鍛冶滓	2.6	2.1	1.6	10	
502	ピット2205		不明	鉄滓	鍛冶滓	4.9	7.1	4.7	152	
610	包含層		不明	鉄滓	鍛冶滓	2.8	2.0	1.8	25	
611	包含層		不明	鉄滓	鍛冶滓	4.8	7.4	3.2	82	
612	包含層		不明	鉄滓	鍛冶滓	5.0	7.2	2.8	115	
613	包含層		不明	鉄滓	鍛冶滓	4.2	7.7	3.2	164	
614	包含層		不明	鉄滓	鍛冶滓	5.0	7.5	4.1	202	
615	包含層		不明	鉄滓	鍛冶滓	5.9	7.0	3.4	149	
616	包含層		不明	鉄滓	鍛冶滓	6.9	8.4	3.6	255	
617	包含層		不明	鉄滓	鍛冶滓	6.9	9.5	4.0	283	

別表12　その他遺物計測表

No	遺構	地点	時代	種類	器種	長	短	厚	重量	その他
301	道1501		弥生	装飾品	勾玉	4.7	-	1.9	49	
31	8号堀		縄文	装身具	大珠	5.5	-	3.0		側面欠損
357	埋没谷第3層		縄文	装身具	耳飾	3.0	3.0	2.0	12	
311	土坑1002		不明	土製品	土錘	2.2	2.8	2.6	38	
471	溝2001		不明	土製品	輪羽口	3.6	2.4	2.0	30	
609	包含層		不明	土製品	土錘	3.8	-	1.4	15	孔径0.4cm
465	溝2001		不明	鉄製品	釘	11.0	0.8	0.8	15	

図　　版

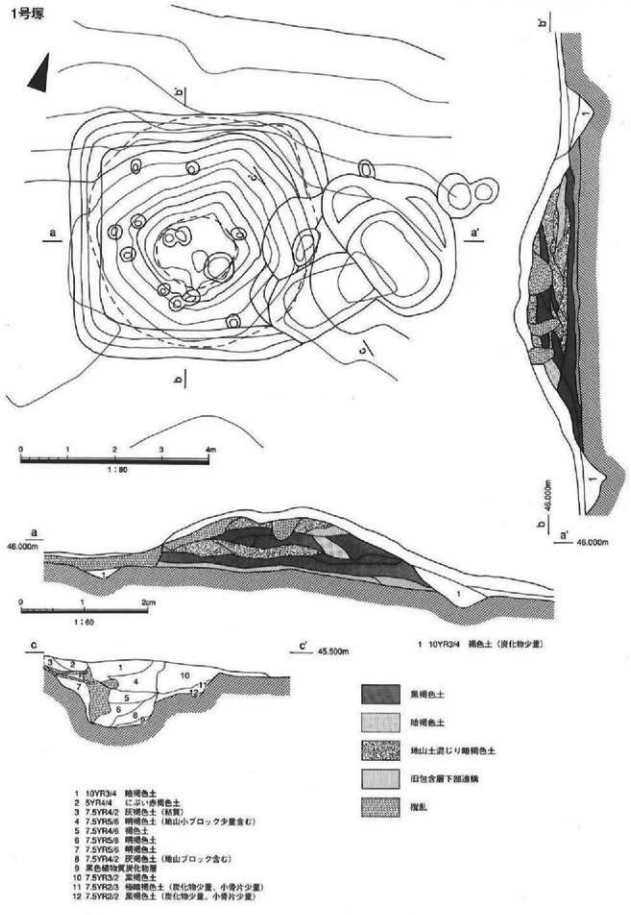
坪之内塚群全体実測図

X10
X11
X12
X13
X14
X15
X16
X17
X18
X9
X8
X7
X6
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
Y9
Y10
Y11
Y12
Y13
Y14
Y15
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
Y9
Y10
Y11
Y12
Y13
Y14
Y15
Y16
Y17
Y18
X10
X9
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
11号塚
10号塚
9号塚
3号塚
4号塚
2号塚
1号塚
5号塚
6号塚
7号塚
8号塚
0
10
20m
1:400

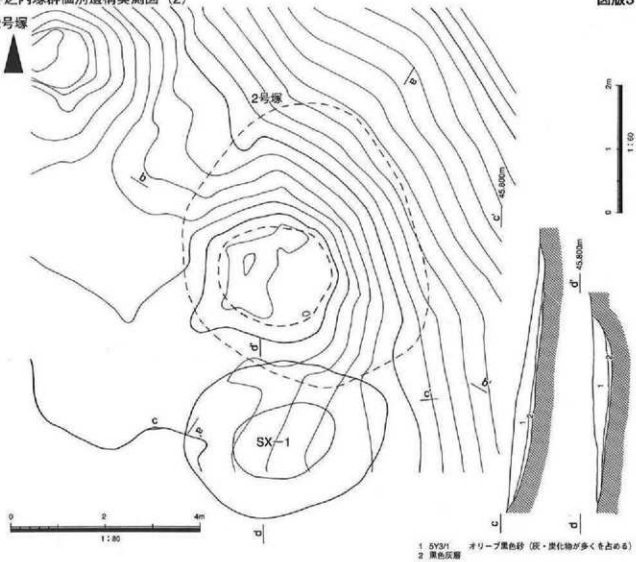
図版2

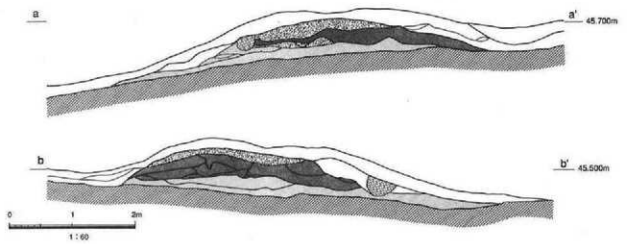
坪之内塚群個別遺構実測図（1）

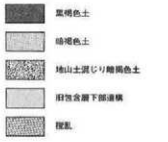
1号塚



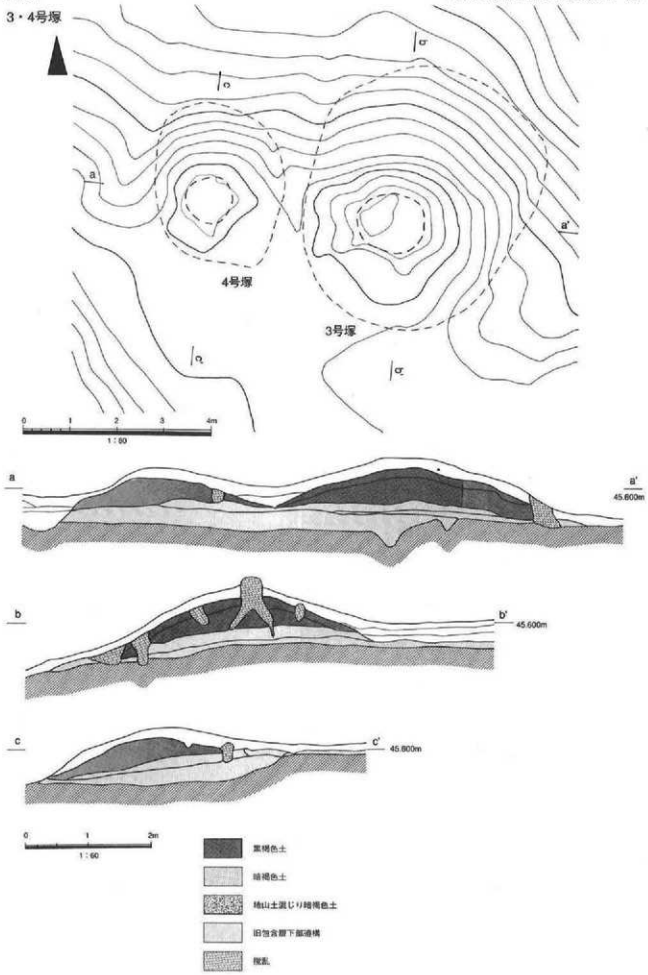
坪之内塚群個別遺構実測図（2）





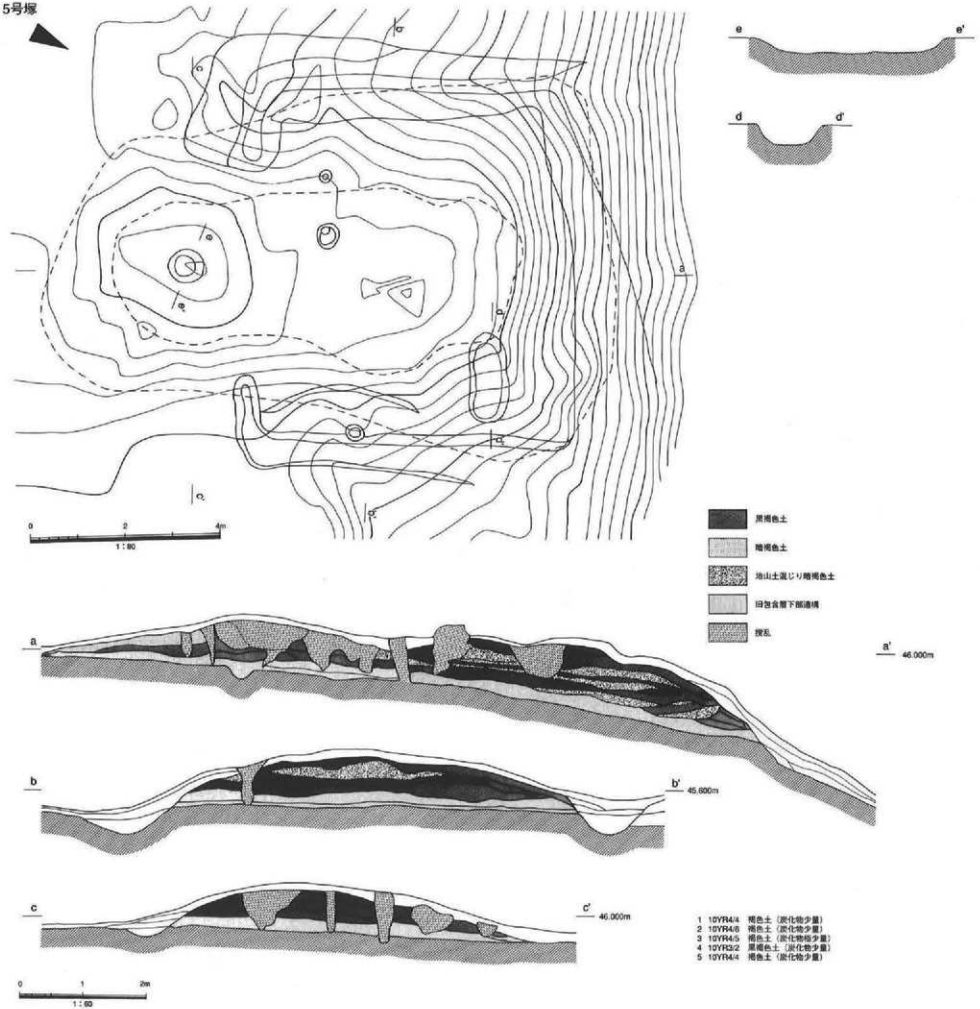


坪之内塚群個別遺構実測図（3）



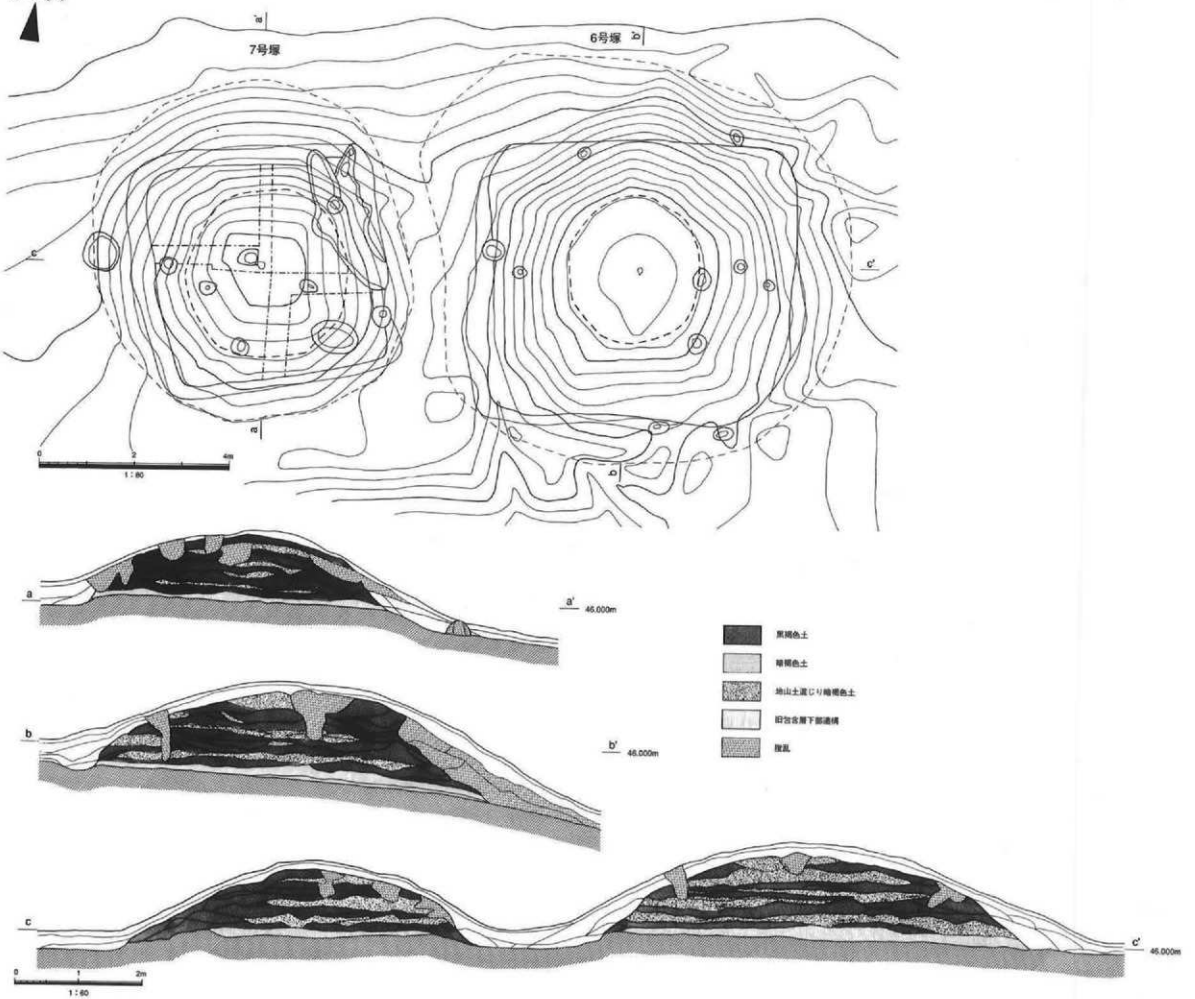
坪之内塚群個別遺構実測図(4)

5号塚



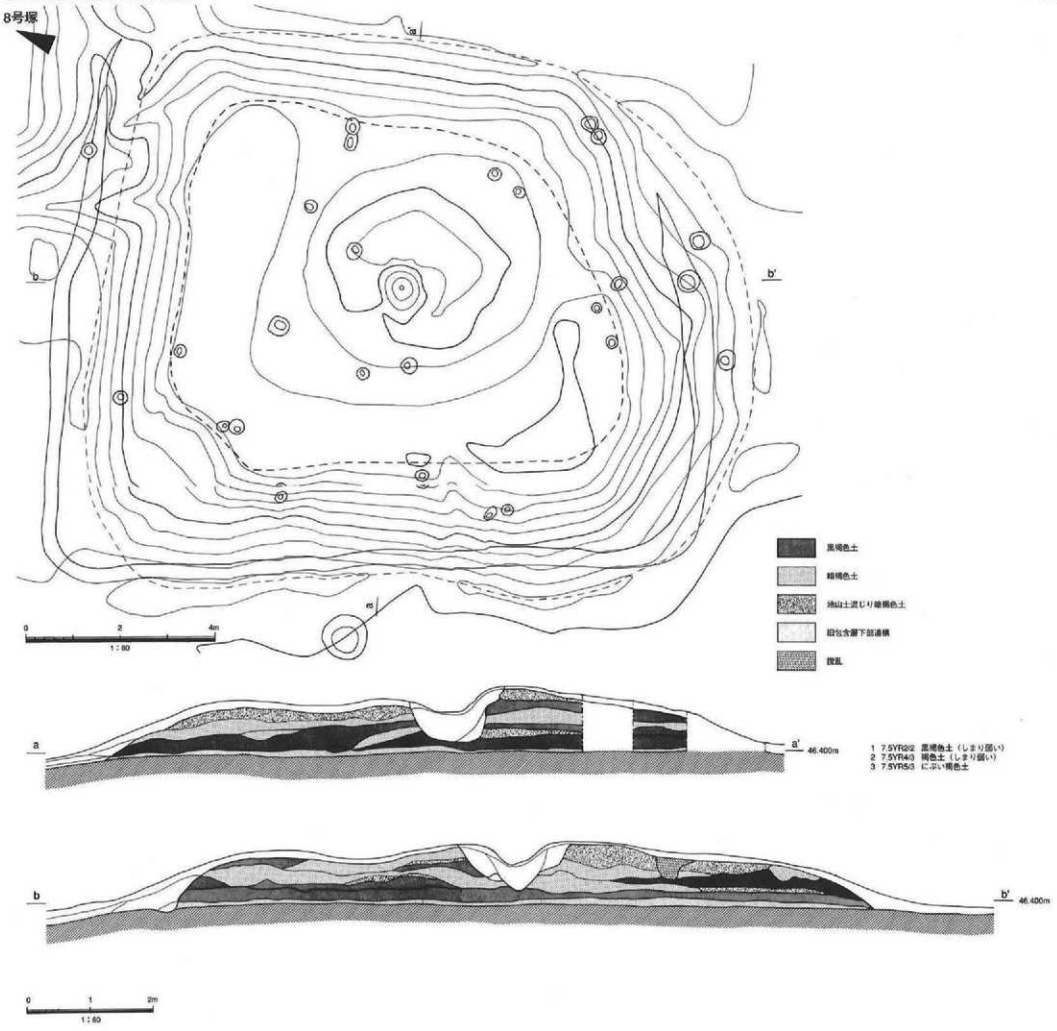
坪之内塚群個別遺構実測図(5)

6・7号塚



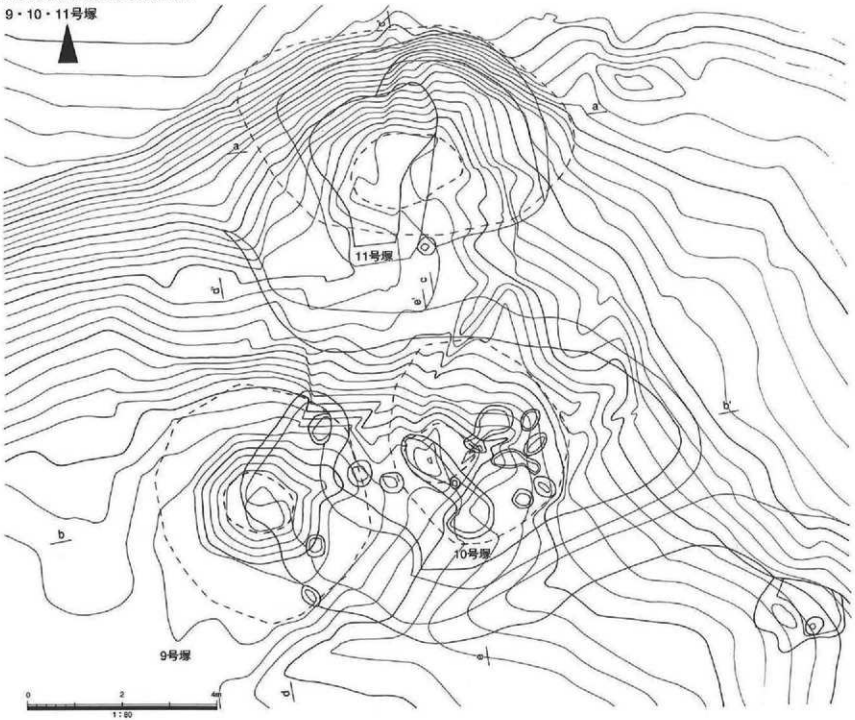
坪之内塚群個別遺構実測図(6)

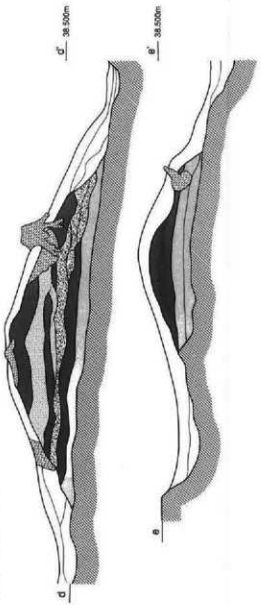
8号塚

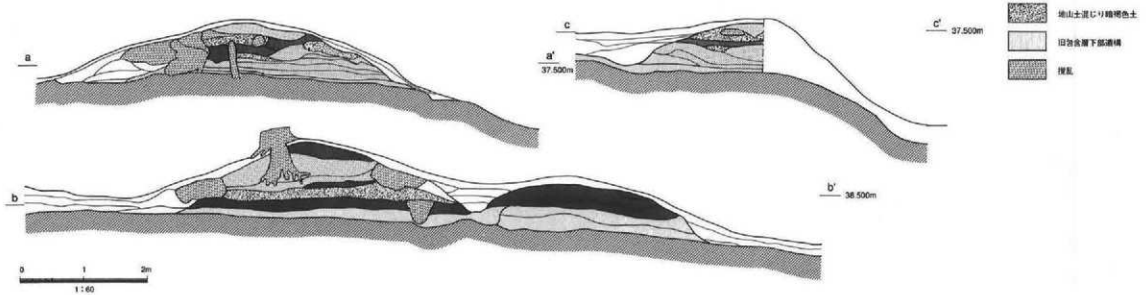


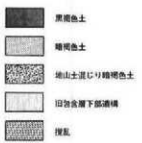
坪之内塚群個別遺構実測図 (7)

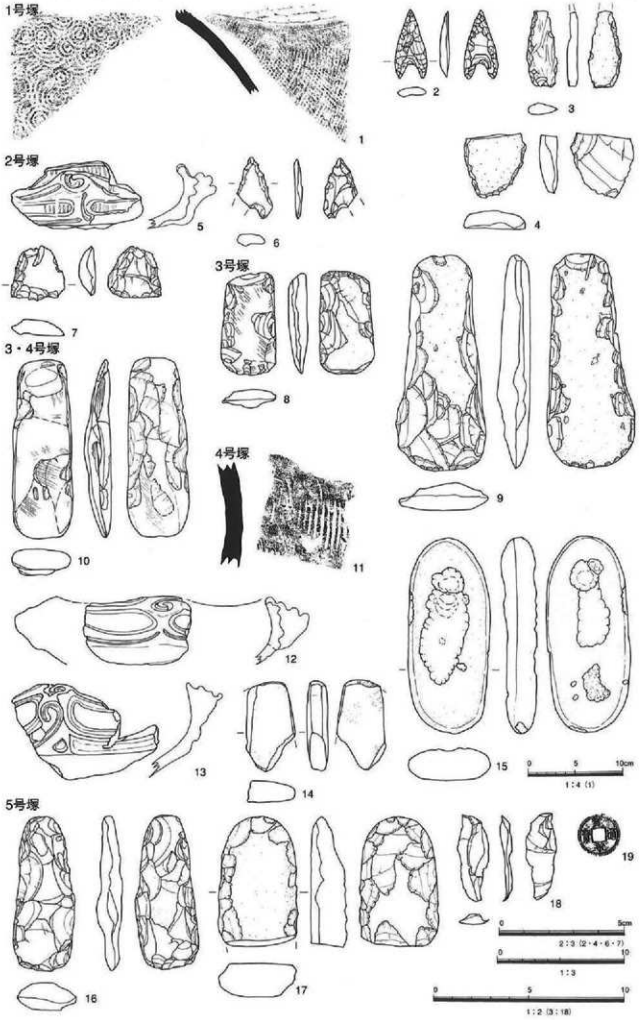
9・10・11号塚



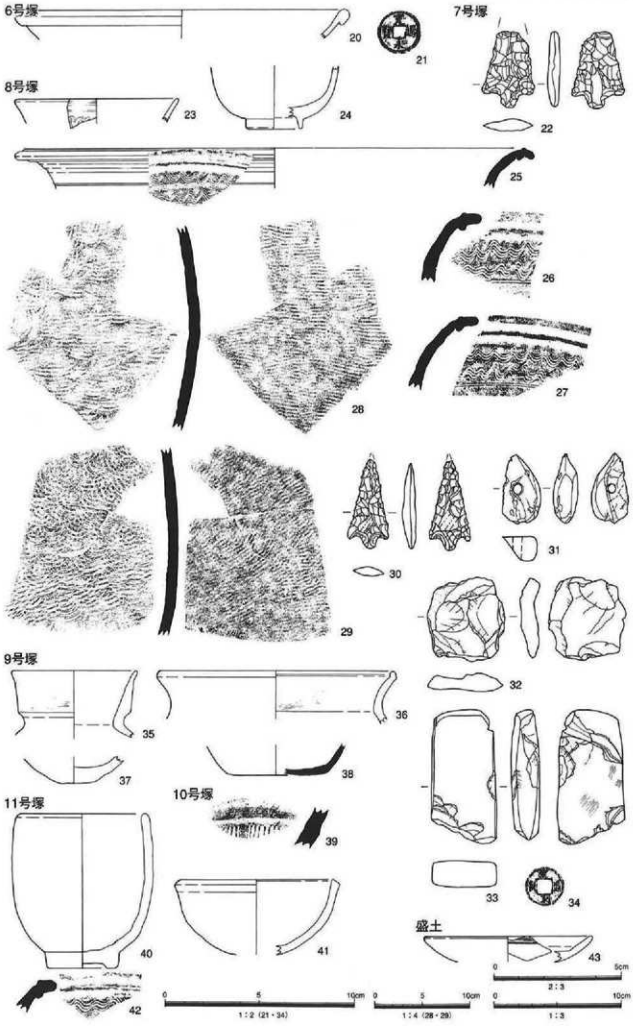


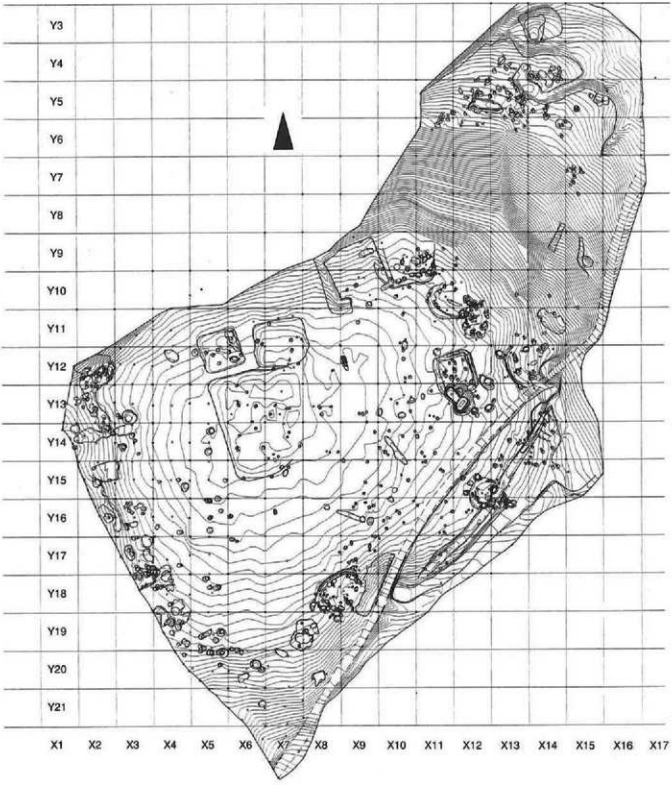





1号塚
1
2
3
2号塚
4
5
6
7
3号塚
8
3・4号塚
9
10
4号塚
11
12
13
14
15
0 5 10cm
1:4 (1)
5号塚
16
17
18
19
0 5cm
2:3 (2・4・6・7)
0 10
1:3
0 5 10
1:2 (8:18)

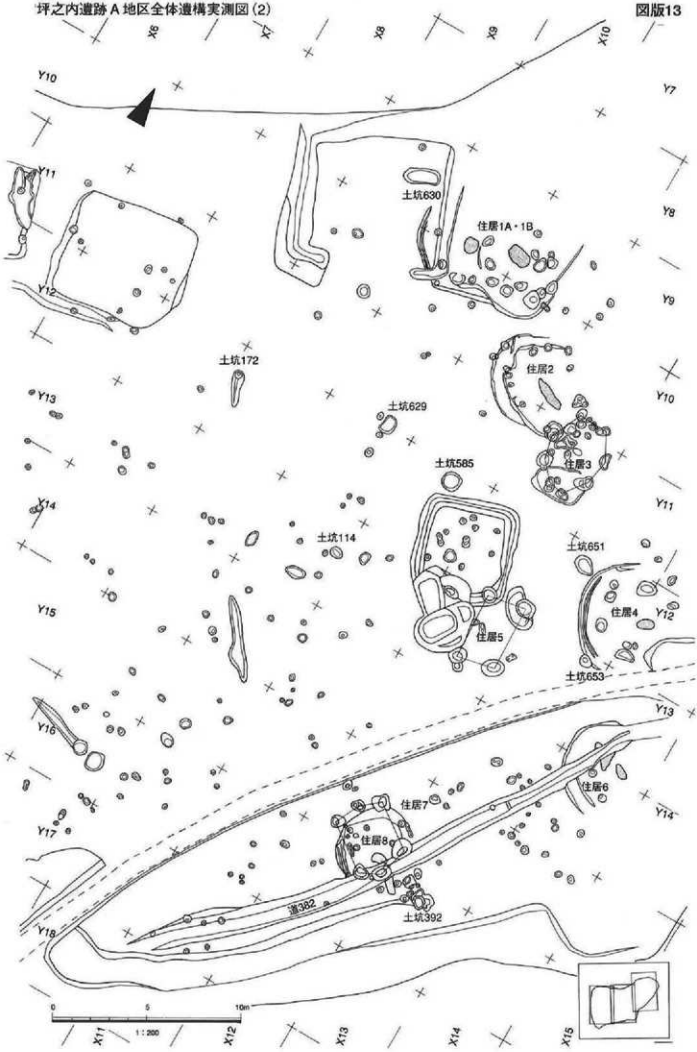
坪之内塚群個別遺物実測図（2）



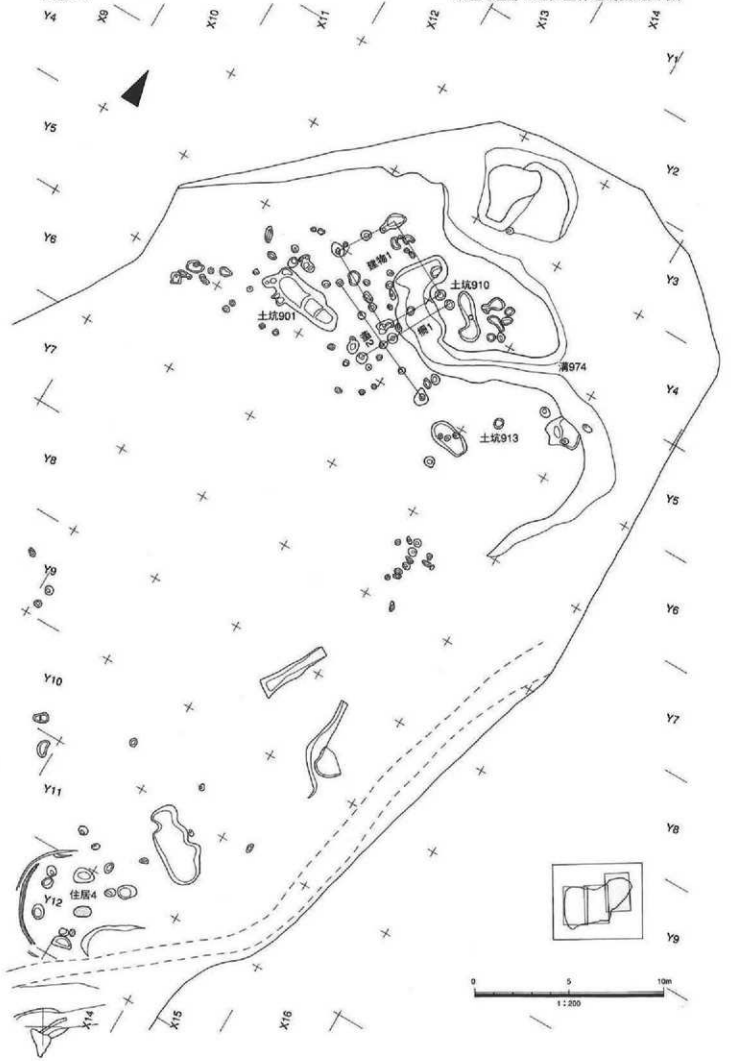

Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
Y9
Y10
Y11
Y12
Y13
Y14
Y15
Y16
Y17
Y18
Y19
Y20
Y21
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X11
X12
X13
X14
X15
X16
X17
0
10
20cm
1：500

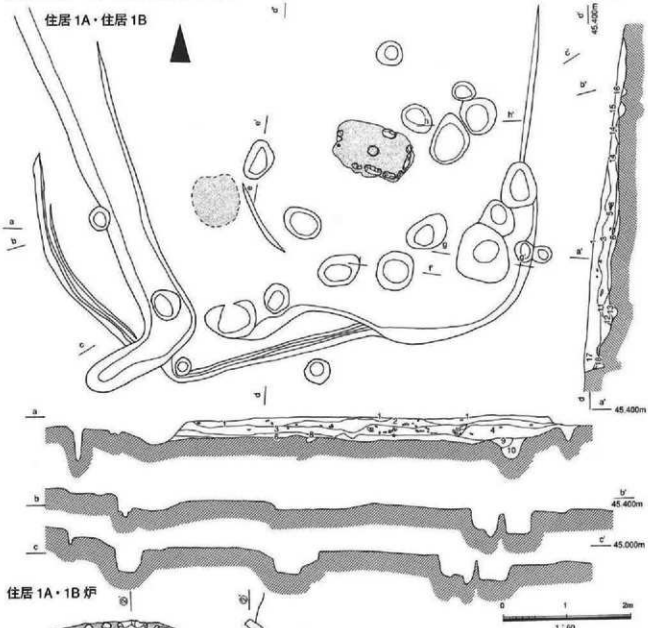
図版12

坪之内遺跡A地区全体遺構実測図(1)

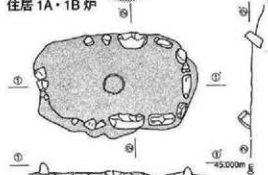

X9
X10
Y10
Y7
Y11
土坑630
住居1A・1B
Y8
Y12
Y9
土坑172
住居2
Y13
土坑629
Y10
土坑585
住居3
Y14
Y11
土坑114
土坑651
Y15
住居4
Y12
住居5
土坑653
Y16
Y13
住居6
住居7
Y17
Y14
住居8
道382
土坑392
Y18
0
5
10m
1:200
X11
X12
X13
X14
X15

坪之内遺跡A地区全体遺構実測図(3)



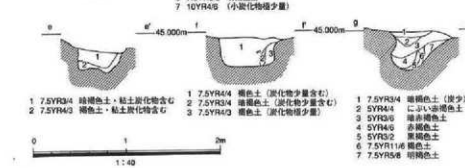


住居1A・1B炉



1 7.5YR2/3 極暗褐色土
2 7.5YR3/4 暗褐色土
3 2.5YR6/4 赤褐色土
4 5YR4/6 赤褐色土
5 10YR3/3 暗褐色土（炭化物・焼土少量）
6 7.5YR5/6 明褐色土
7 10YR4/6 （小炭化物極少量）

1 10YR3/4 暗褐色土（土器片少量含む）
2 7.5YR4/3 褐色土（炭化物少量）
3 7.5YR4/4 褐色土（炭化物少量）
4 10YR4/4 褐色土（炭極少量）
5 7.5YR3/3 暗褐色土（しまり強い）
6 5YR3/2 暗赤褐色土（炭・焼粘土粒多く含む）
7 7.5YR4/3 褐色土（しまり弱い）
8 7.5YR3/4 暗褐色土
9 7.5YR4/3 褐色土（地山土やや多い）
10 7.5YR4/6 褐色土（地山ブロック＋暗褐色の混合）炭少量含む
11 7.5YR4/3 褐色土（地山土少量、炭少量）
12 7.5YR4/3 褐色土（地山土やや多い）
13 7.5YR4/4 暗褐色土（やや粘質、しまり強い、炭少量）
14 7.5YR3/3 暗褐色土（しまり強い）
15 7.5YR3/3 暗褐色土
16 7.5YR3/3 暗褐色土
17 7.5YR4/4 褐色土（地山極少ブロック少量）
18 7.5YR4/6 褐色粘質土



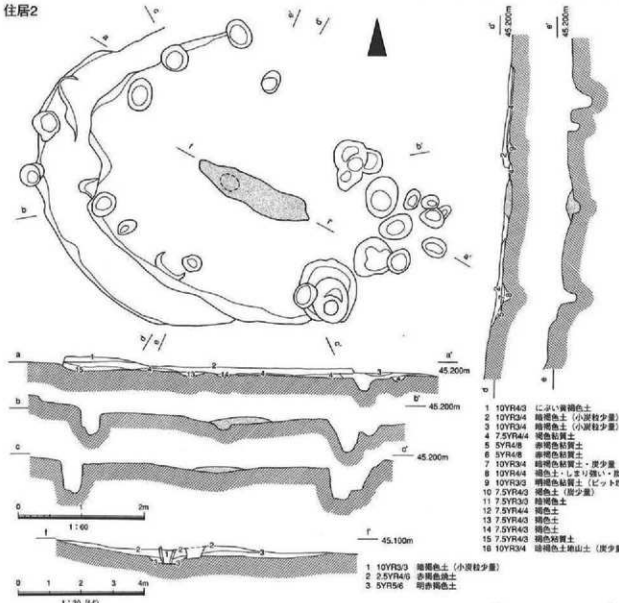
1 7.5YR3/4 暗褐色土・粘土炭化物含む
2 7.5YR4/3 褐色土・粘土炭化物含む

1 7.5YR4/4 褐色土（炭化物少量含む）
2 7.5YR3/4 暗褐色土（炭化物少量含む）
3 7.5YR4/3 褐色土（炭化物少量）

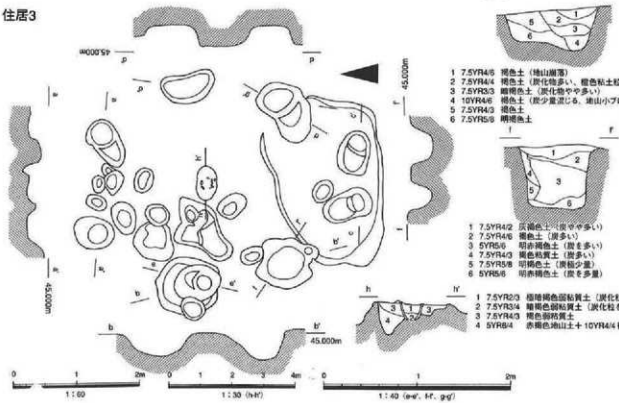
1 7.5YR3/4 暗褐色土（炭少）
2 5YR4/4 にぶい赤褐色土
3 5YR3/6 暗赤褐色土
4 5YR4/6 赤褐色土
5 5YR3/2 黒褐色土
6 7.5YR11/6 褐色土
7 7.5YR5/6 明褐色土

坪之内遺跡A地区個別遺構実測図(2)

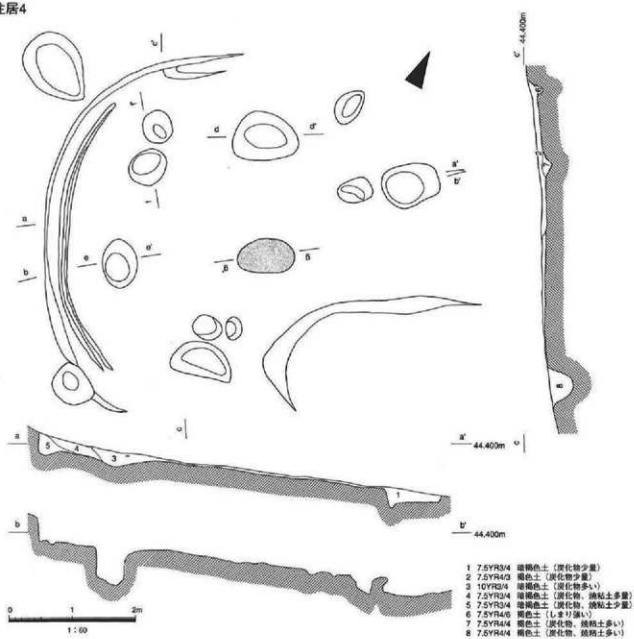
住居2



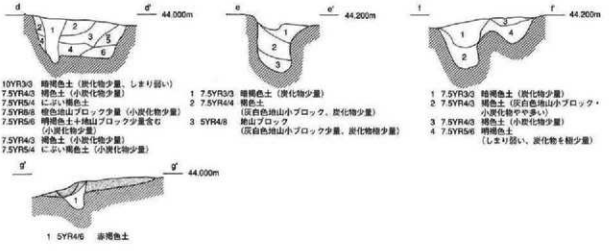
住居3



住居4



1 7.5YR3/4 暗褐色土（炭化物少量）
2 7.5YR4/3 褐色土（炭化物少量）
3 10YR3/4 暗褐色土（炭化物多い）
4 7.5YR3/4 暗褐色土（炭化物、焼粘土多量）
5 7.5YR3/4 暗褐色土（炭化物、焼粘土少量）
6 7.5YR4/6 褐色土（しまり強い）
7 7.5YR4/4 褐色土（炭化物、焼粘土多い）
8 7.5YR4/4 褐色土（炭化物、焼粘土多い）



1 10YR3/3 暗褐色土（炭化物少量、しまり弱い）
2 7.5YR4/3 褐色土（小炭化物少量）
3 7.5YR5/4 にぶい褐色土
7.5YR6/8 橙色地山ブロック少量（小炭化物少量）
4 7.5YR5/6 明褐色土＋地山ブロック少量含む（小炭化物少量）
5 7.5YR4/3 褐色土（小炭化物少量）
6 7.5YR5/4 にぶい褐色土（小炭化物少量）

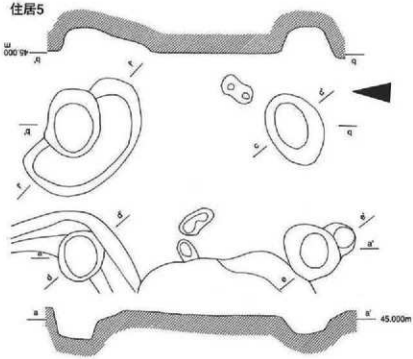
1 7.5YR3/3 暗褐色土（炭化物少量）
2 7.5YR4/4 褐色土
（灰白色地山小ブロック、炭化物少量）
3 5YR4/8 地山ブロック
（灰白色地山小ブロック少量、炭化物極少量）

1 7.5YR3/3 暗褐色土（炭化物少量）
2 7.5YR4/3 褐色土（灰白色地山小ブロック・小炭化物やや多い）
3 7.5YR4/3 褐色土（小炭化物少量）
4 7.5YR5/6 明褐色土
（しまり弱い、炭化物を極少量）

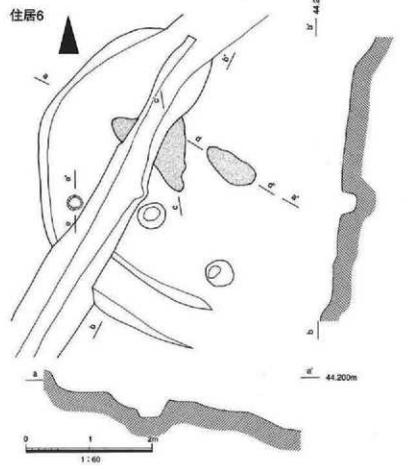
1 5YR4/6 赤褐色土

坪之内遺跡A地区個別遺構実測図(4)

住居5

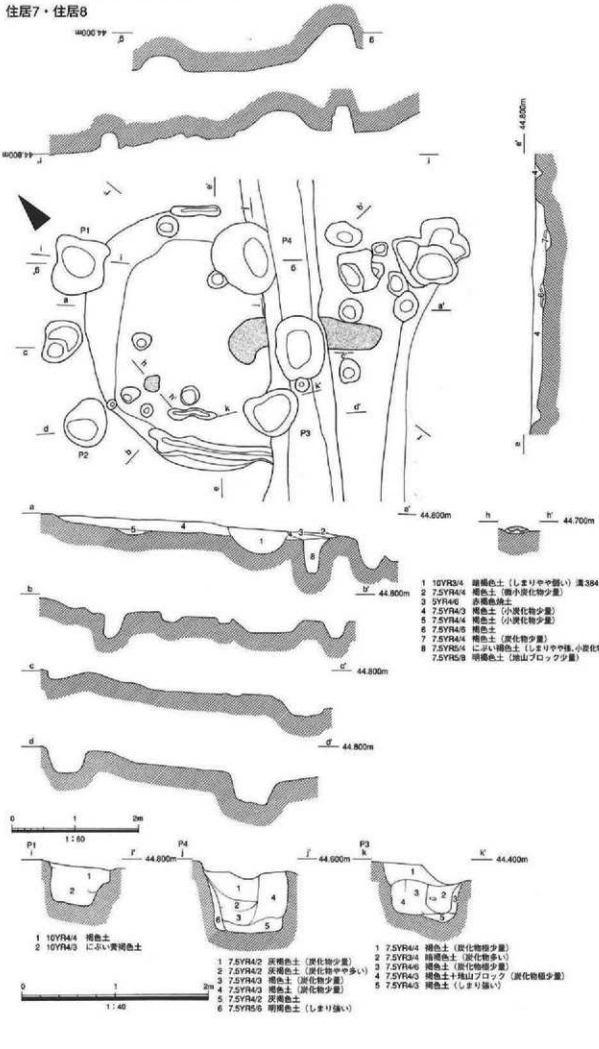


住居6



坪之内遺跡 A 地区個別遺構実測図 (5)

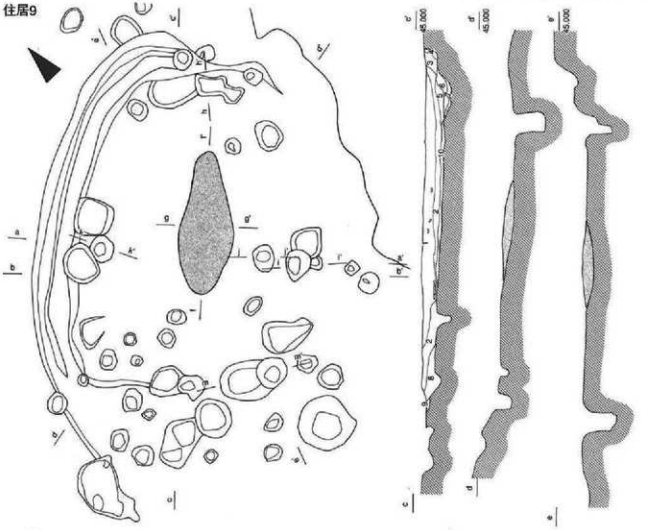
住居7・住居8



図版20

坪之内遺跡A地区個別遺構実測図(6)

住居9



a-a' 44.800m
1 10YR4/4 褐色土（炭やや多い）
2 10YR3/4 暗褐色土（炭多量）
3 10YR3/4 暗褐色土＋地山ブロック
4 10YR3/4 暗褐色土（小炭少量）
5 7.5YR5/6 明褐色土＋7.5YR5/3 にぶい褐色土
6 10YR5/4 にぶい黄褐色土（炭多い）
7 10YR4/3 にぶい黄褐色土（炭粒少量）
8 7.5YR4/4 褐色土（炭少量）
9 10YR4/4 褐色土
10 10YR4/3 褐色土（炭多い、貼床）
11 7.5YR4/3 褐色土（炭多い）
12 10YR4/6 褐色土（炭粒少量、地山小ブロック少量）
13 7.5YR5/4 にぶい褐色土

0 1 2m
1:60

i-i' 44.600m
g-g' 44.600m
1 7.5YR4/3 褐色土
2 2.5YR4/8 赤褐色強土（小炭化粒少量）
3 7.5YR4/6 褐色土（炭化粒少量）
4 7.5YR5/6 明褐色土

m-m' 44.700m
1 7.5YR4/3 褐色土（炭少量）
2 7.5YR4/4 褐色土（炭少量）

h-h' 44.700m
i-i' 44.500m
j-j' 44.800m
k-k' 44.800m

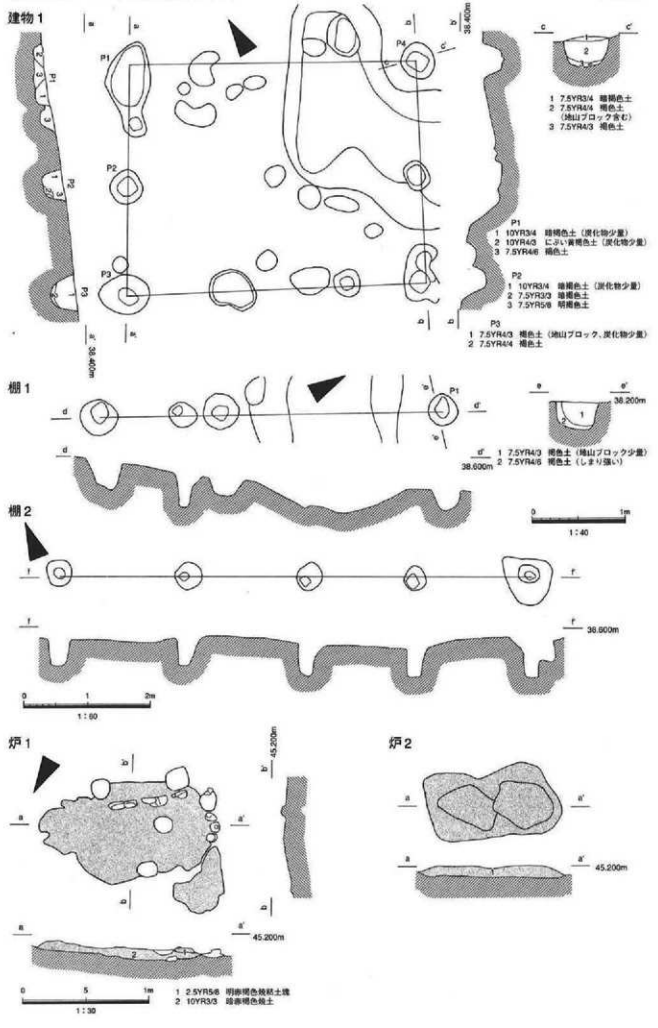
1 10YR3/3 暗褐色土
2 7.5YR4/3 褐色土（炭少量）

1 7.5YR4/3 暗褐色土（炭粒少量）
2 10YR6/8 明黄褐色粘質土

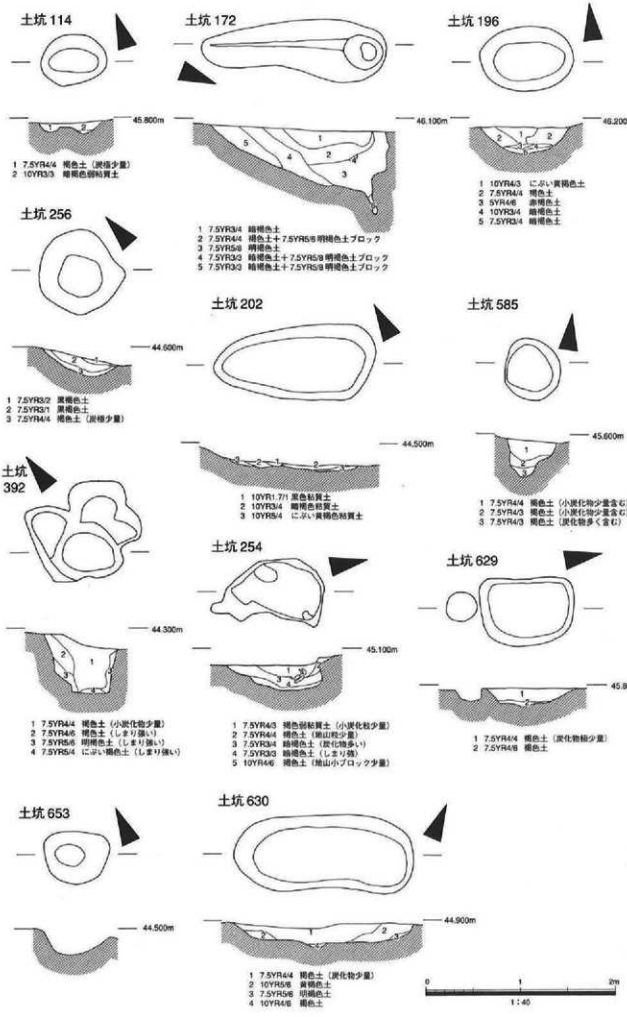
1 7.5YR3/3 暗褐色土（炭多い）
2 7.5YR5/8 灰褐色土（地山ブロック）
3 10YR4/4 褐色土（炭多い）
4 7.5YR4/4 褐色土（炭多い）

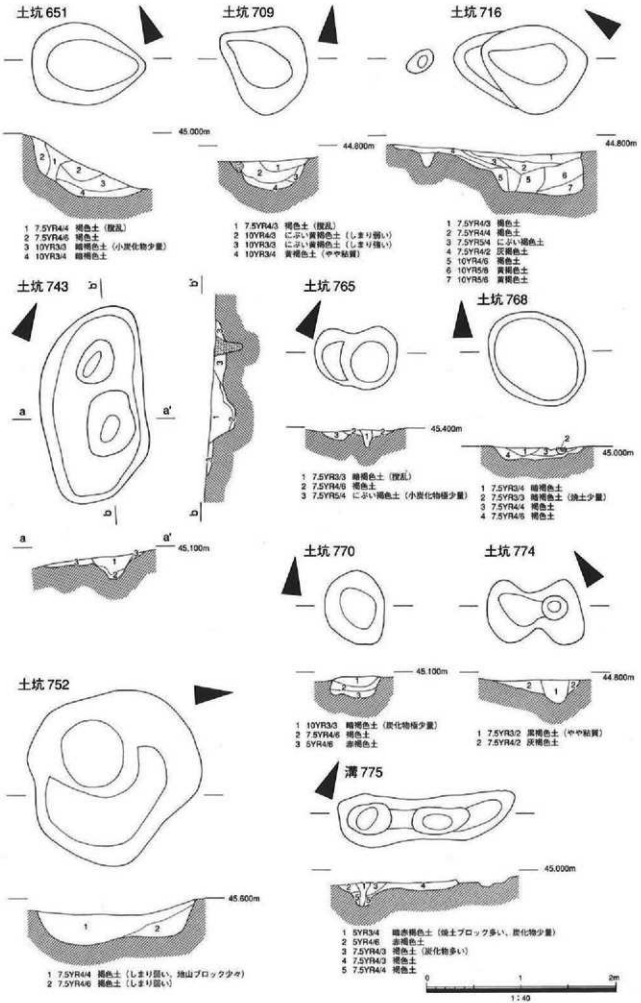
1 7.5YR4/4 褐色土（炭多い）
2 7.5YR4/4 褐色土
7.5YR5/8 明褐色地山ブロック（炭少量）
3 7.5YR4/6 褐色土＋地山ブロック（炭少量）

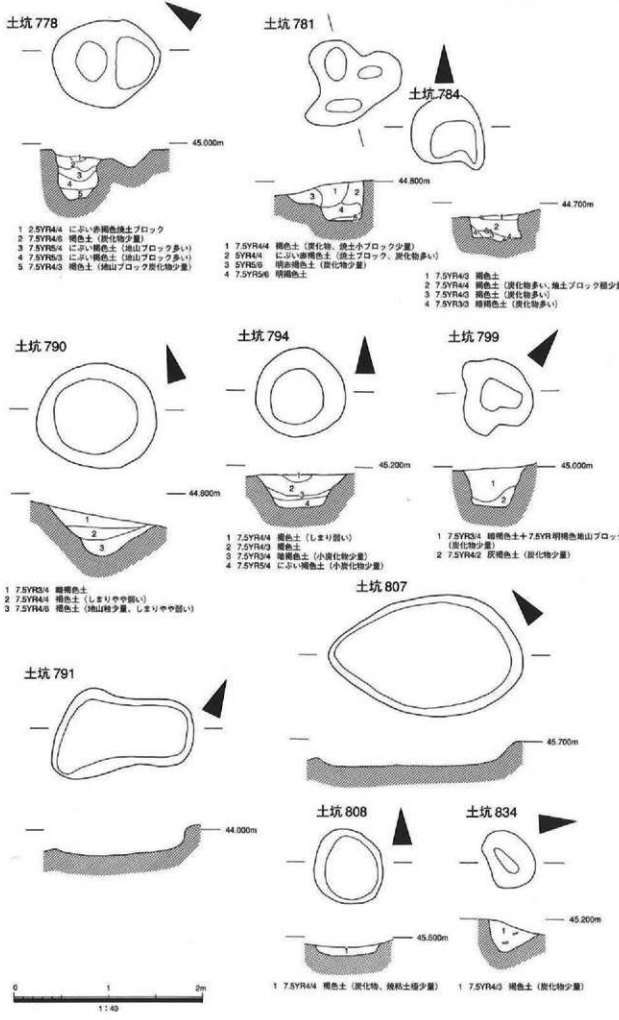
0 1 2m
1:40

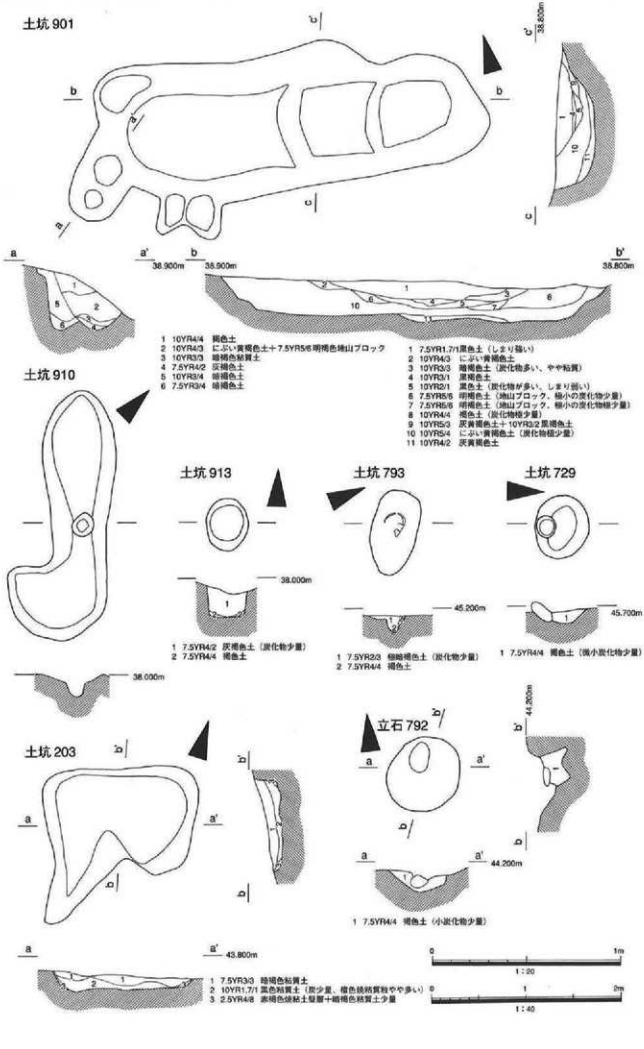

建物1
P1
P2
P3
P4
38.400m
1 7.5YR3/4 暗褐色土
2 7.5YR4/4 褐色土 (地山ブロック含む)
3 7.5YR4/3 褐色土
P1
1 10YR3/4 暗褐色土 (炭化物少量)
2 10YR4/3 にぶい黄褐色土 (炭化物少量)
3 7.5YR4/6 褐色土
P2
1 10YR3/4 暗褐色土 (炭化物少量)
2 7.5YR3/3 暗褐色土
3 7.5YR5/6 明褐色土
P3
1 7.5YR4/3 褐色土 (地山ブロック、炭化物少量)
2 7.5YR4/4 褐色土
棚1
38.200m
1 7.5YR4/3 褐色土 (地山ブロック少量)
2 7.5YR4/6 褐色土 (しまり強い)
1:40
棚2
38.600m
1:60
炉1
45.200m
1 2.5YR5/8 明赤褐色焼粒土塊
2 10YR3/3 暗赤褐色焼土
1:30
炉2
45.200m

坪之内遺跡 A 地区個別遺構実測図 (8)

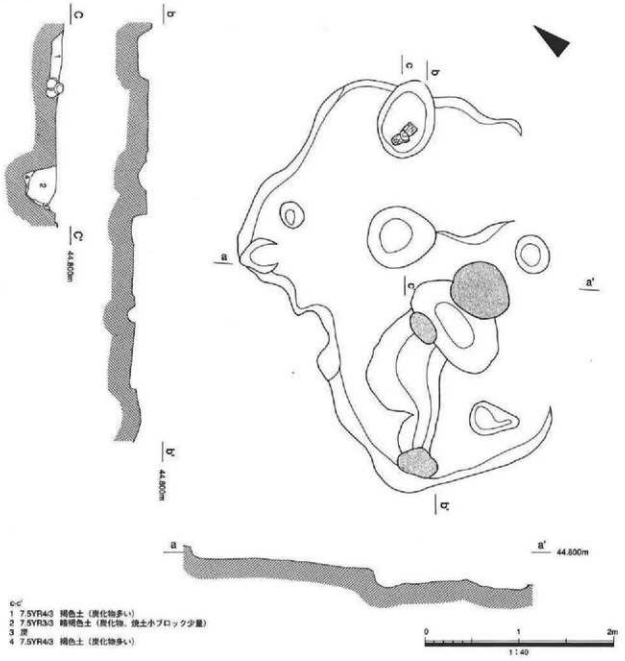


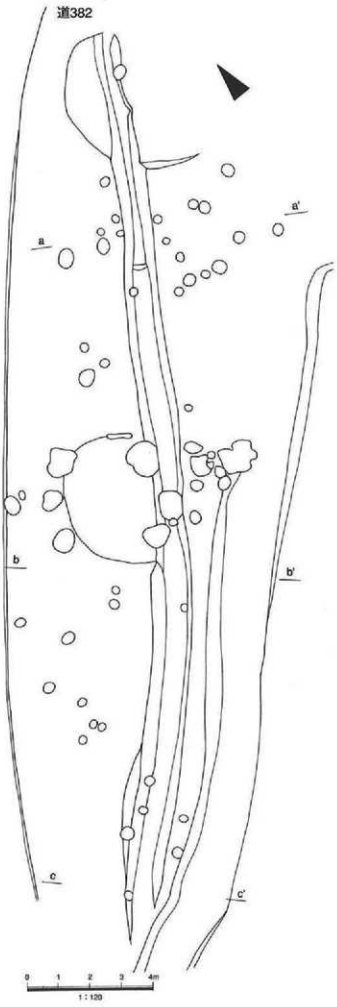

土坑 651
45.000m
1 7.5YR4/4 褐色土（撹乱）
2 7.5YR4/6 褐色土
3 10YR3/3 暗褐色土（小炭化物少量）
4 10YR3/4 暗褐色土
土坑 709
44.800m
1 7.5YR4/3 褐色土（撹乱）
2 10YR4/3 にぶい黄褐色土（しまり弱い）
3 10YR3/3 にぶい黄褐色土（しまり強い）
4 10YR3/4 黄褐色土（やや粘質）
土坑 716
44.800m
1 7.5YR4/3 褐色土
2 7.5YR4/4 褐色土
3 7.5YR5/4 にぶい褐色土
4 7.5YR4/2 灰褐色土
5 10YR4/6 褐色土
6 10YR5/8 黄褐色土
7 10YR5/6 黄褐色土
土坑 743
a
a'
b
b'
45.100m
土坑 765
45.400m
1 7.5YR3/3 暗褐色土（撹乱）
2 7.5YR4/6 褐色土
3 7.5YR5/4 にぶい褐色土（小炭化物極少量）
土坑 768
45.000m
1 7.5YR3/4 暗褐色土
2 7.5YR3/3 暗褐色土（焼土少量）
3 7.5YR4/4 褐色土
4 7.5YR4/6 褐色土
土坑 770
45.100m
1 10YR3/3 暗褐色土（炭化物極少量）
2 7.5YR4/6 褐色土
3 5YR4/6 赤褐色土
土坑 774
44.800m
1 7.5YR3/2 黒褐色土（やや粘質）
2 7.5YR4/2 灰褐色土
土坑 752
45.600m
1 7.5YR4/4 褐色土（しまり弱い、地山ブロック少々）
2 7.5YR4/6 褐色土（しまり弱い）
溝 775
45.000m
1 5YR3/4 暗赤褐色土（焼土ブロック多い、炭化物少量）
2 5YR4/6 赤褐色土
3 7.5YR4/3 褐色土（炭化物多い）
4 7.5YR4/3 褐色土
5 7.5YR4/4 褐色土
0 1 2m
1:40

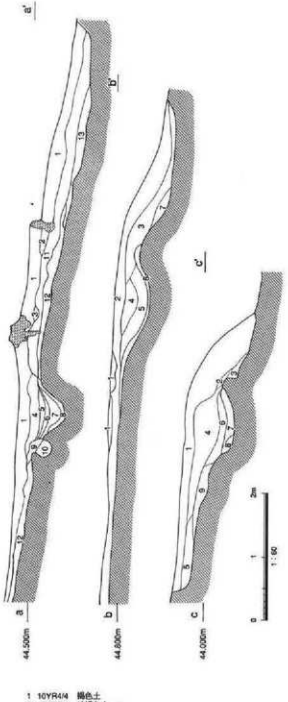

土坑 778
45.000m
1 2.5YR4/4 にぶい赤褐色焼土ブロック
2 7.5YR4/6 褐色土（炭化物少量）
3 7.5YR5/4 にぶい褐色土（地山ブロック多い）
4 7.5YR5/3 にぶい褐色土（地山ブロック多い）
5 7.5YR4/3 褐色土（地山ブロック炭化物少量）
土坑 781
44.800m
1 7.5YR4/4 褐色土（炭化物、焼土小ブロック少量）
2 5YR4/4 にぶい赤褐色土（焼土ブロック、炭化物多い）
3 5YR5/6 明赤褐色土（炭化物少量）
4 7.5YR5/6 明褐色土
土坑 784
44.700m
1 7.5YR4/3 褐色土
2 7.5YR4/4 褐色土（炭化物多い、地土ブロック細少量）
3 7.5YR4/3 褐色土（炭化物多い）
4 7.5YR3/3 暗褐色土（炭化物多い）
土坑 790
44.800m
1 7.5YR3/4 暗褐色土
2 7.5YR4/4 褐色土（しまりやや弱い）
3 7.5YR4/6 褐色土（地山粒少量、しまりやや弱い）
土坑 794
45.200m
1 7.5YR4/4 褐色土（しまり弱い）
2 7.5YR4/3 褐色土
3 7.5YR3/4 暗褐色土（小炭化物少量）
4 7.5YR5/4 にぶい褐色土（小炭化物少量）
土坑 799
45.000m
1 7.5YR3/4 暗褐色土＋7.5YR明褐色地山ブロック（炭化物少量）
2 7.5YR4/2 灰褐色土（炭化物少量）
土坑 807
45.700m
土坑 791
44.000m
土坑 808
45.500m
1 7.5YR4/4 褐色土（炭化物、焼粒土極少量）
土坑 834
45.200m
1 7.5YR4/3 褐色土（炭化物少量）
0　1　2m
1:40


土坑 901
38.800m
38.900m
38.800m
1 10YR4/4 褐色土
2 10YR4/3 にぶい黄褐色土＋7.5YR5/6 明褐色地山ブロック
3 10YR3/3 暗褐色粘質土
4 7.5YR4/2 灰褐色土
5 10YR3/4 暗褐色土
6 7.5YR3/4 暗褐色土
1 7.5YR1.7/1 黒色土（しまり強い）
2 10YR4/3 にぶい黄褐色土
3 10YR3/3 暗褐色土（炭化物多い、やや粘質）
4 10YR3/1 黒褐色土
5 10YR2/1 黒色土（炭化物が多い、しまり弱い）
6 7.5YR5/6 明褐色土（地山ブロック、極小の炭化物少量）
7 7.5YR5/6 明褐色土（地山ブロック、極小の炭化物極少量）
8 10YR4/4 褐色土（炭化物粒子量）
9 10YR5/3 灰黄褐色土＋10YR3/2 黒褐色土
10 10YR5/4 にぶい黄褐色土（炭化物極少量）
11 10YR4/2 灰黄褐色土
土坑 910
38.000m
1 7.5YR4/2 灰褐色土（炭化物少量）
2 7.5YR4/4 褐色土
土坑 913
38.000m
土坑 793
45.200m
1 7.5YR2/3 極暗褐色土（炭化物少量）
2 7.5YR4/4 褐色土
土坑 729
45.700m
1 7.5YR4/4 褐色土（微小炭化物少量）
土坑 203
立石 792
44.800m
44.200m
1 7.5YR4/4 褐色土（小炭化物少量）
43.800m
1 7.5YR3/3 暗褐色粘質土
2 10YR1.7/1 黒色粘質土（炭少量、褐色焼土粒やや多い）
3 2.5YR4/8 赤褐色焼土層＋暗褐色粘質土少量
0 1m
1:20
0 1 2m
1:40

土坑796


c
c'
1
2
44.800m
a
a'
b
b'
44.800m
a
a'
44.800m
c-c'
1 7.5YR4/3 褐色土（炭化物多い）
2 7.5YR3/3 暗褐色土（炭化物、焼土小ブロック少量）
3 灰
4 7.5YR4/3 褐色土（炭化物多い）
0
1
2m
1:140





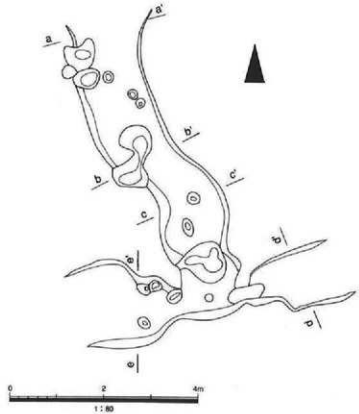
1 10YR4/4 褐色土
2 10YR3/4 暗褐色土
3 10YR4/2 灰黄褐色粘質土
4 10YR3/4 暗褐色土
5 10YR3/4 暗褐色土
6 7.5YR3/4 暗褐色土（しまり弱い）
7 10YR3/4 暗褐色土（しまり弱い）
8 7.5YR3/3 暗褐色土（しまり弱い）
9 7.5YR4/3 褐色土（しまり強い、縄文土器含む）

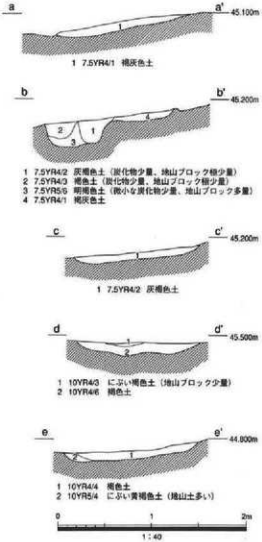
1 10YR3/3 暗褐色粘質土
2 10YR4/4 褐色細粘質土
3 10YR4/3 にぶい黄褐色土
4 10YR2/3 黒褐色細粘質土
5 10YR2/2 黒褐色細粘質土
6 10YR4/2 灰黄褐色細粘質土
7 7.5YR3/3 暗褐色土（しまりやや強い）

1 10YR4/4 褐色土
2 10YR4/4 褐色土
3 10YR4/4 褐色土
4 10YR3/3 暗褐色土
5 10YR3/2 黒褐色土（しまり弱い）
6 10YR3/4 にぶい黄褐色土（地山ブロック少量）
7 10YR3/3 暗褐色土
8 10YR4/4 褐色土（地山小ブロック少量）
9 10YR4/3 にぶい黄褐色土
10 10YR4/4 褐色土（しまり強い、小炭化粒少量）
11 10YR3/3 暗褐色土
12 10YR5/6 黄褐色土
13 10YR5/6 黄褐色土

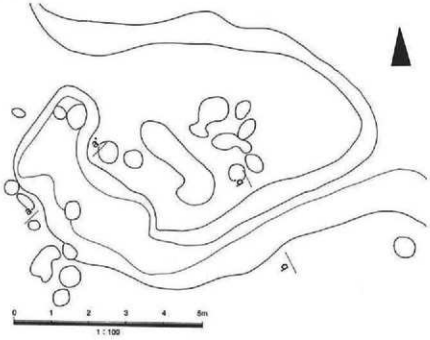
坪之内遺跡A地区個別遺構実測図(14)

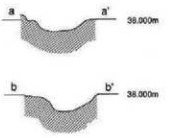
溝702・703・704



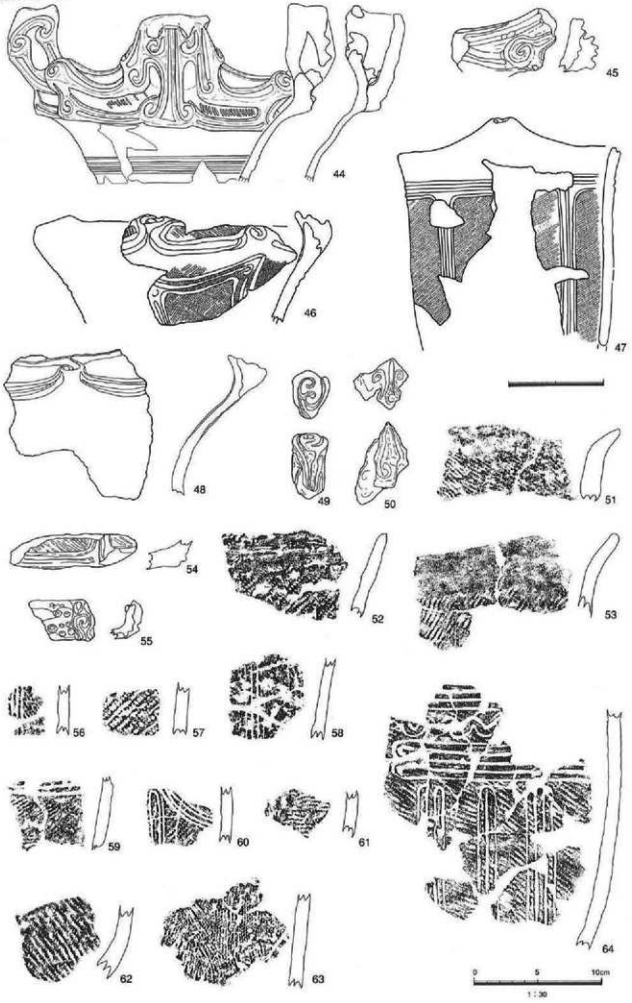


溝974

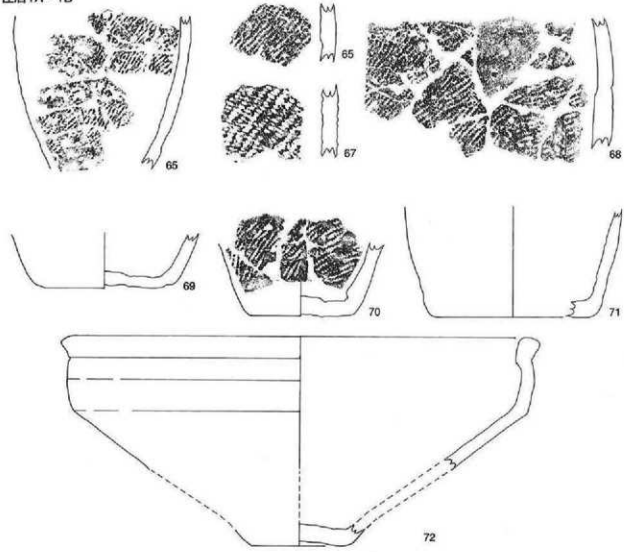




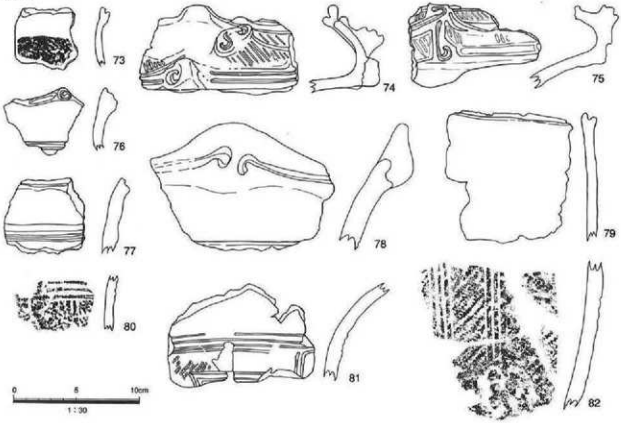
住居1A・1B


44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
0
5
10cm
1:3

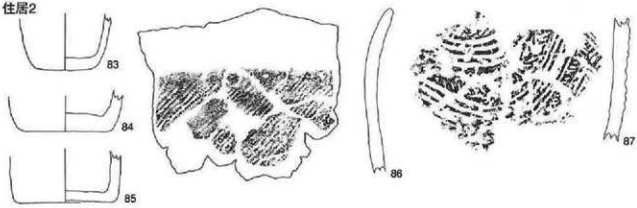
住居1A・1B



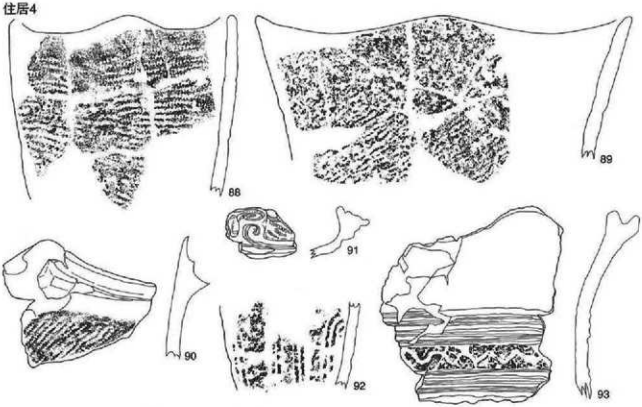
住居2



住居2

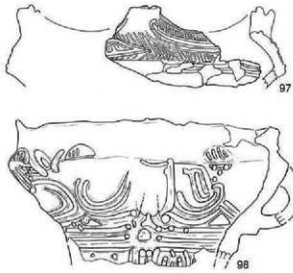


住居4

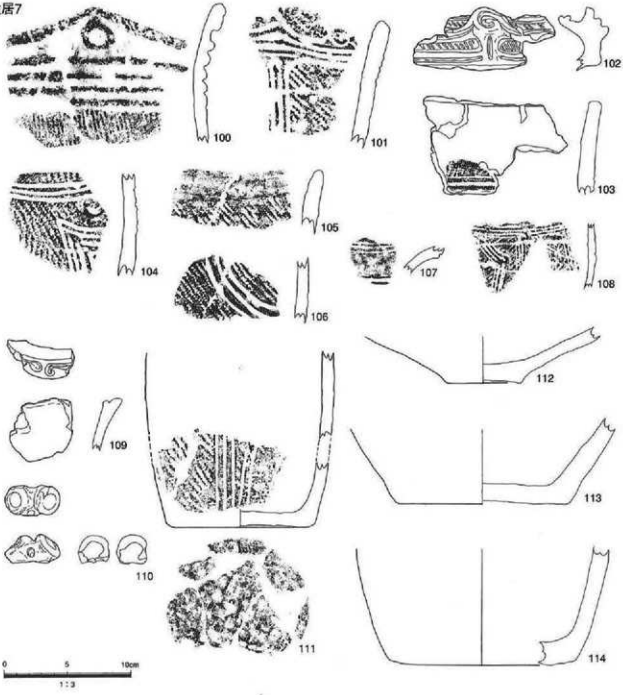


住居5

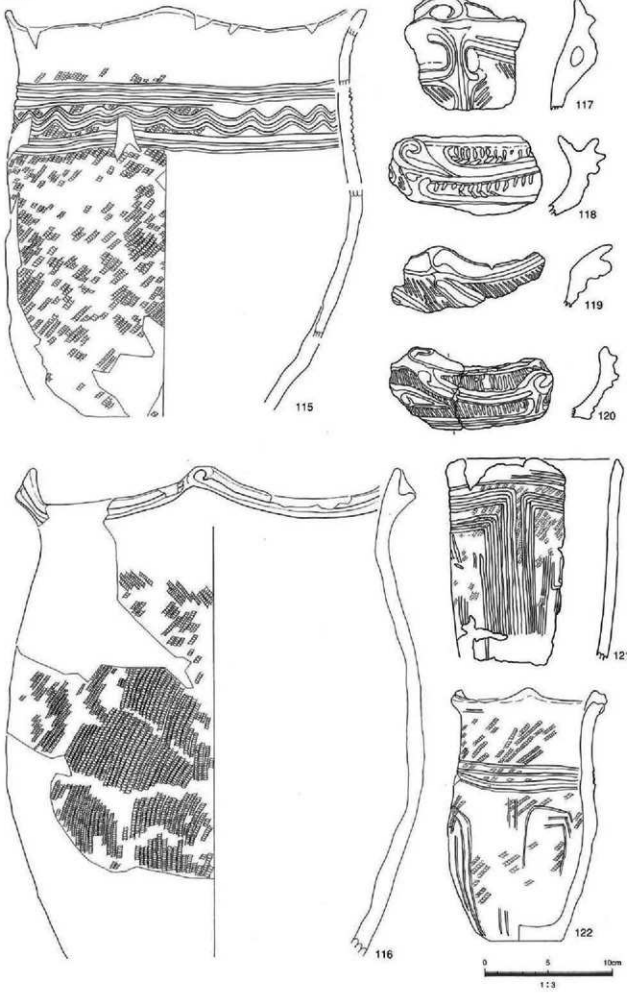
住居6

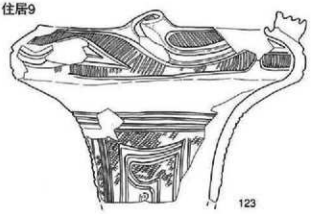

97
98
99

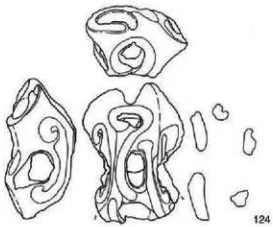
住居7

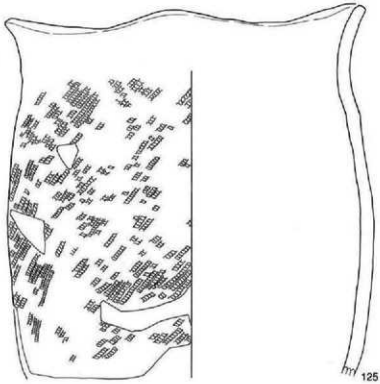

100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
0
5
10cm

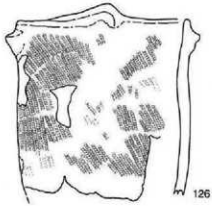
住居9

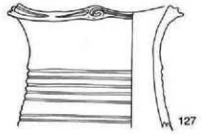


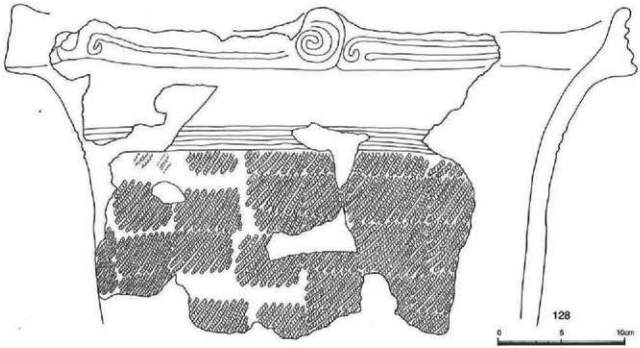

123


124

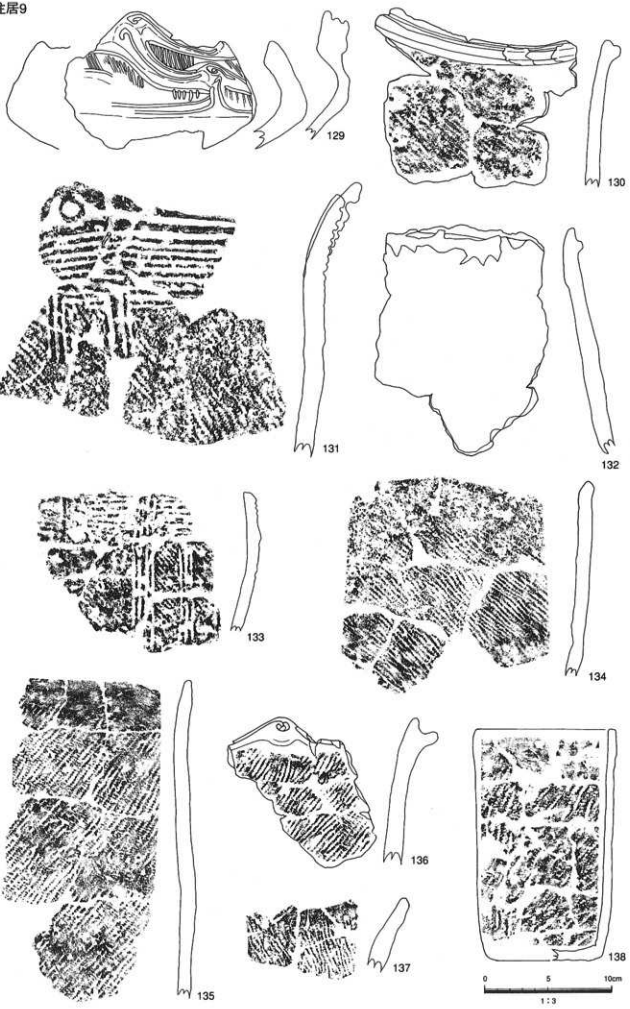

125

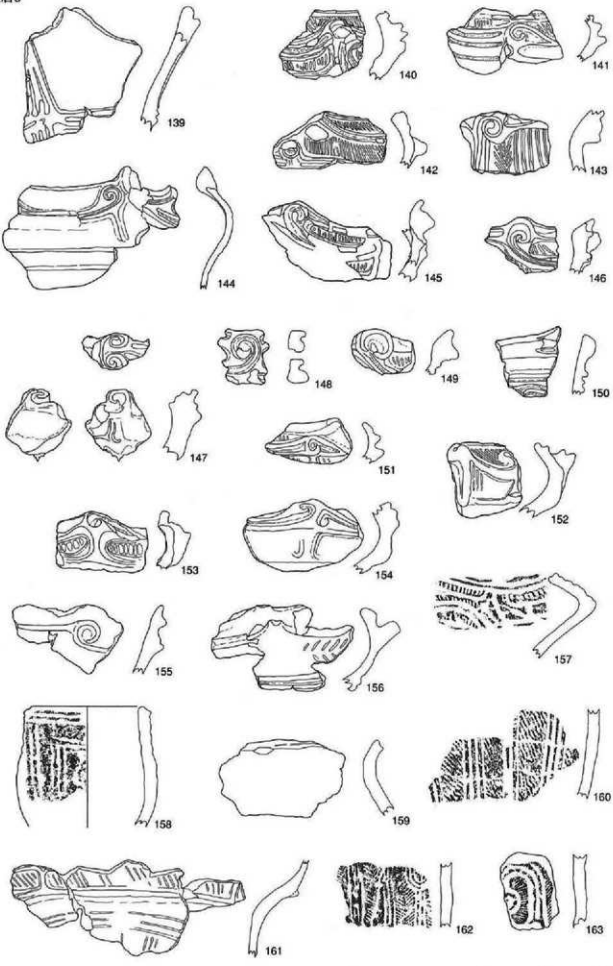

126


127

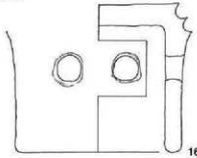

128

0 5 10cm
1:3

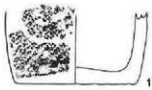

129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
0
5
10cm
1 : 3

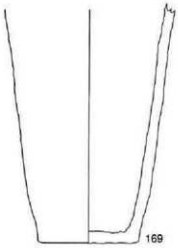

139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
0 5 10cm
1:3

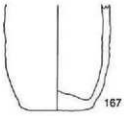
住居9

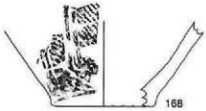

164

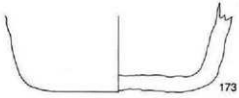
165

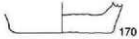

166


169

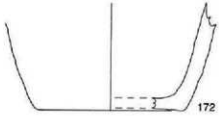

167


168


173


170

171


172

174

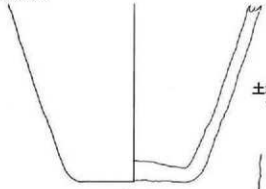
建物1

175

柵2

176

土坑254



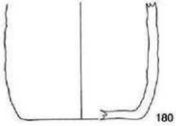
177

土坑653

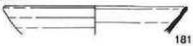
178

土坑768

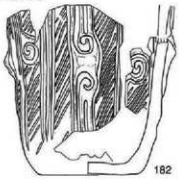
179

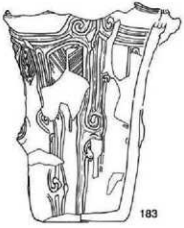

180

土坑901


181

土坑796


182

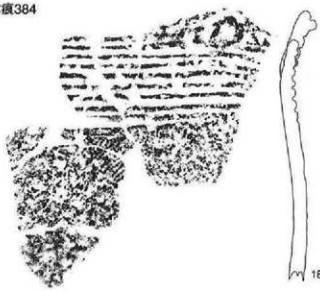

183

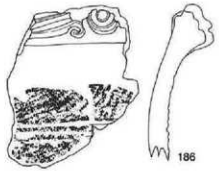
0　5　10cm
1:3

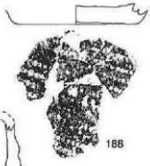
道382

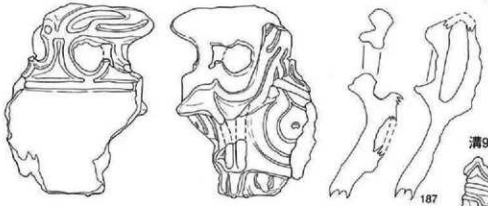
184

倒木痕384



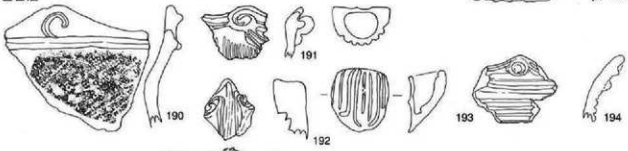


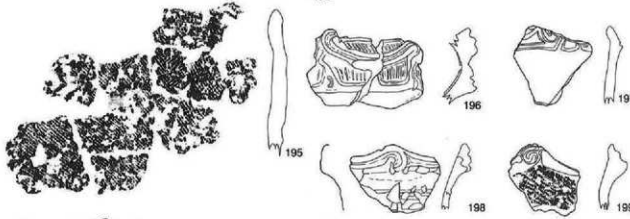


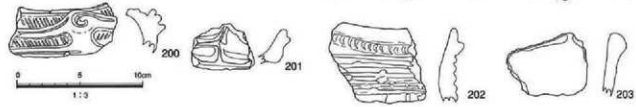


溝974

包含層

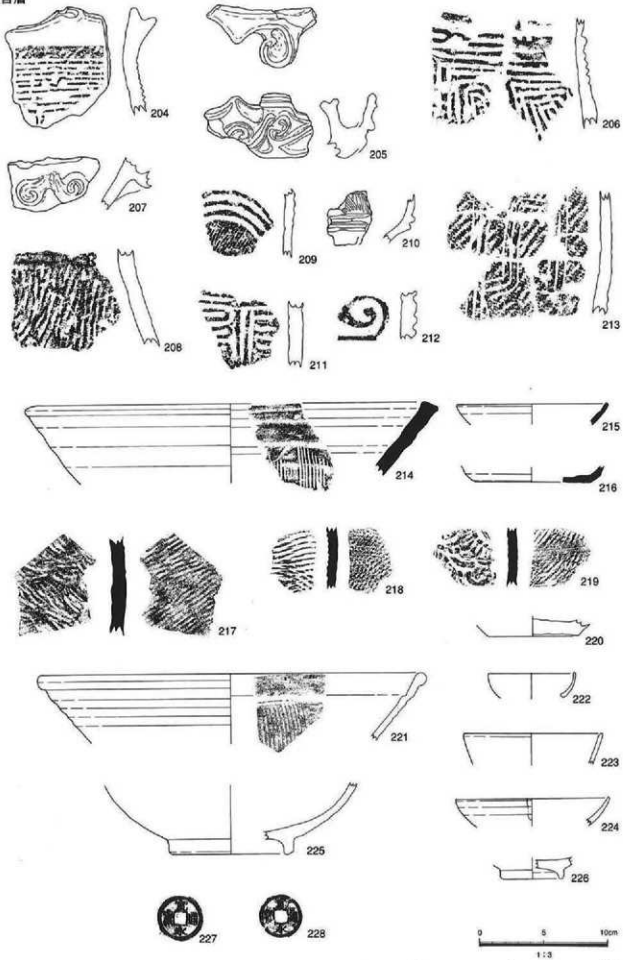




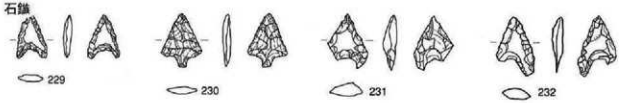


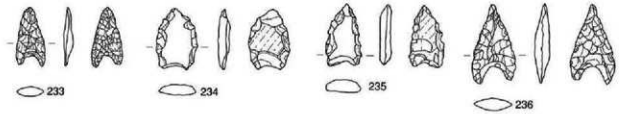
0 5 10cm
1:3

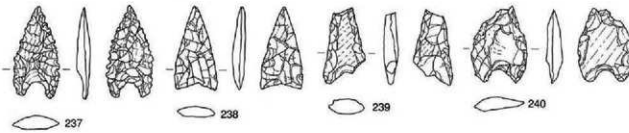
包含層


204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
0 5 10cm
1:3
0 5 10cm
1:2 (227・228)

石鏃



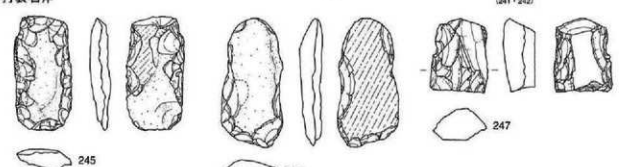


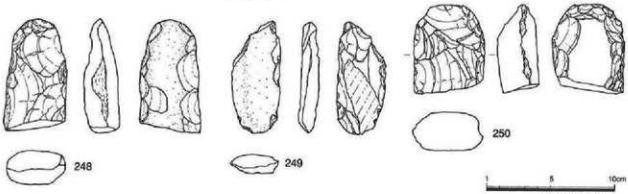


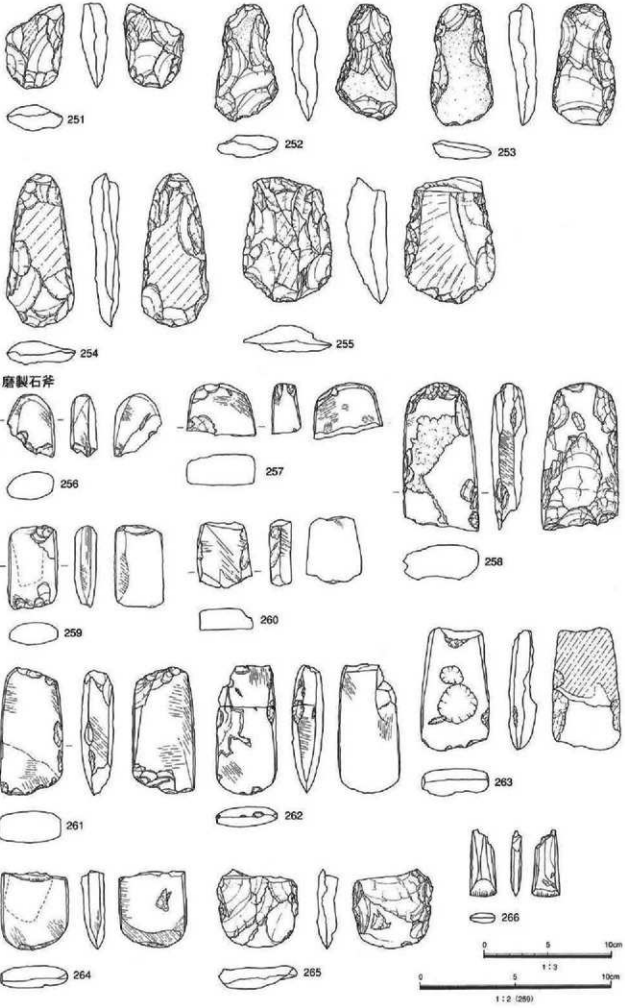
尖頭器

石錐

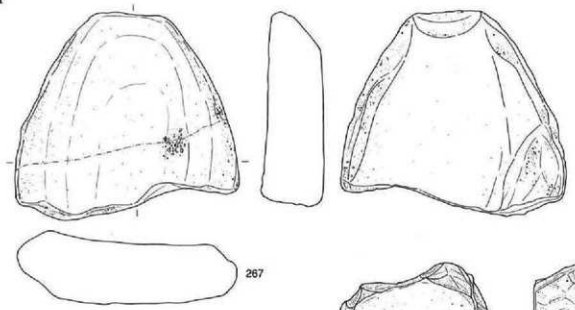
打製石斧



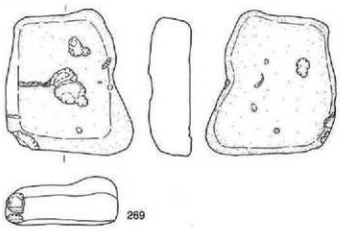


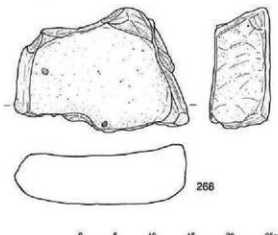

251
252
253
254
255
磨製石斧
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
0 5 10cm
1:3
0 5 10cm
1:2 (250)

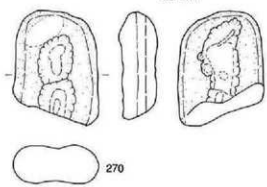
石皿

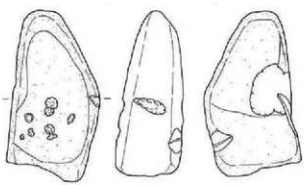


砥石

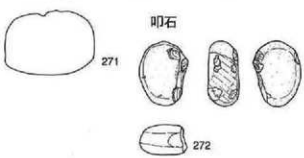




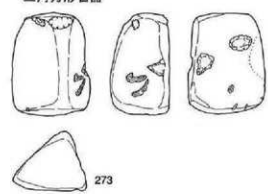




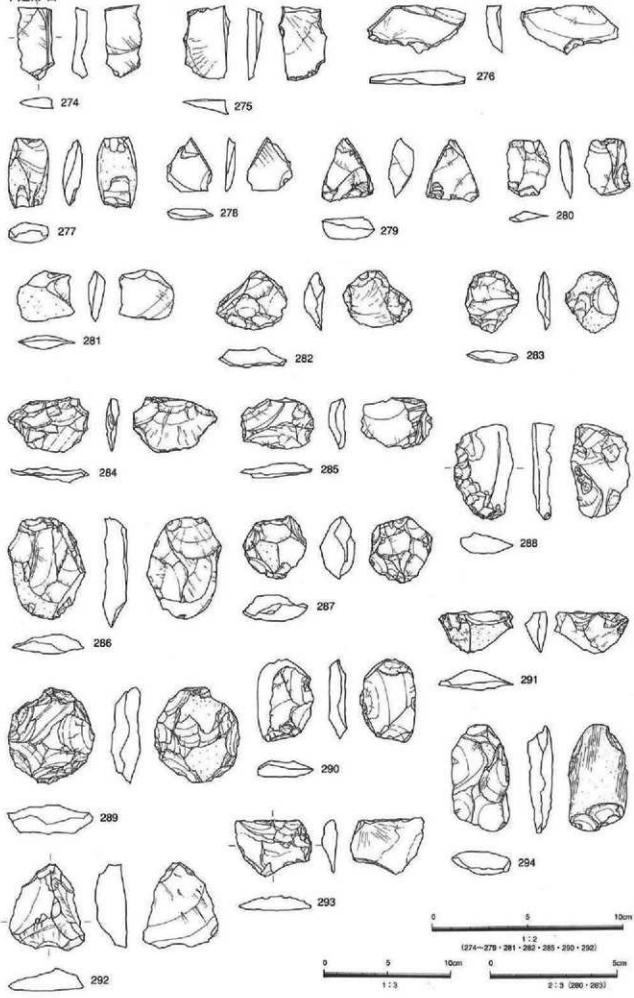
叩石

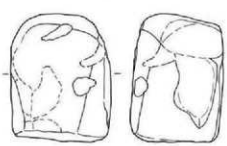


三角刀形石器

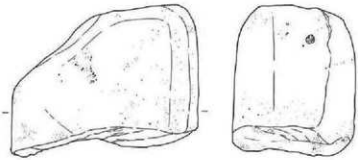


不定形石


274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
0 5 10cm
1:2
(274~279・281・282・285・290・292)
0 5 10cm
1:3
0 5cm
2:3 (280・283)

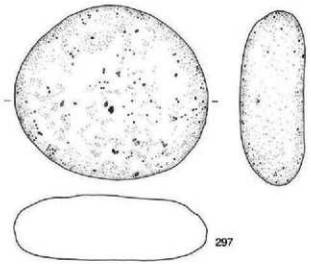


295

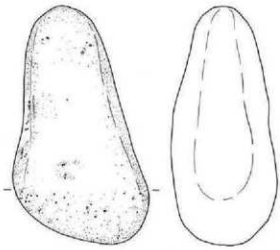


296

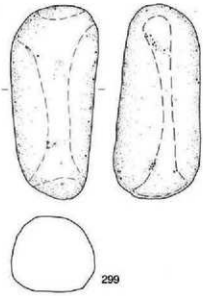
立石



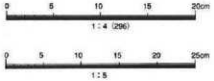
297

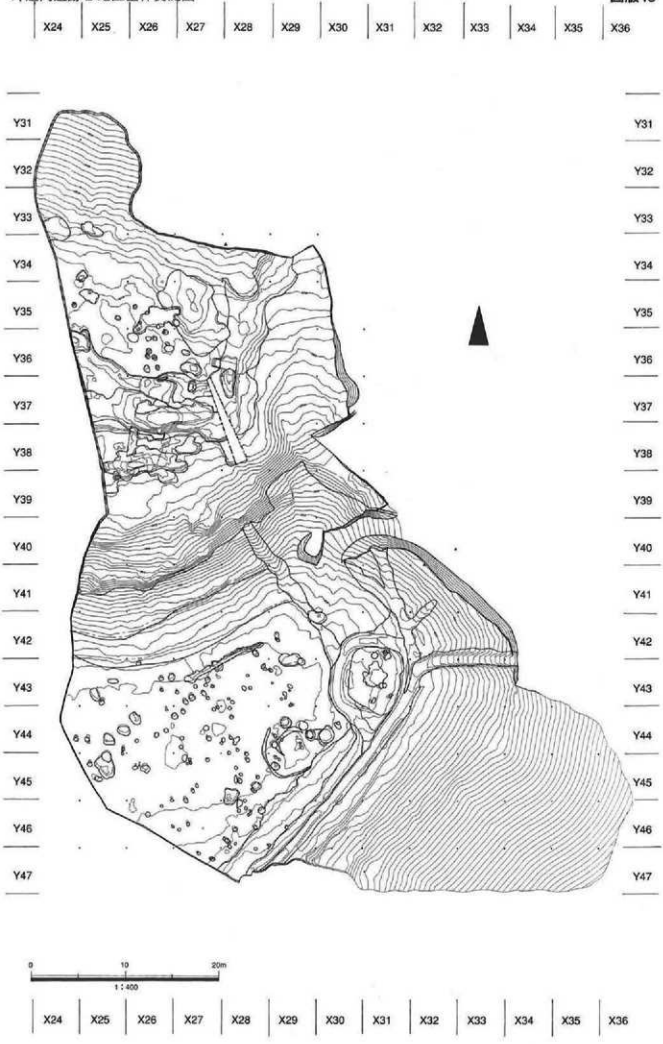


298



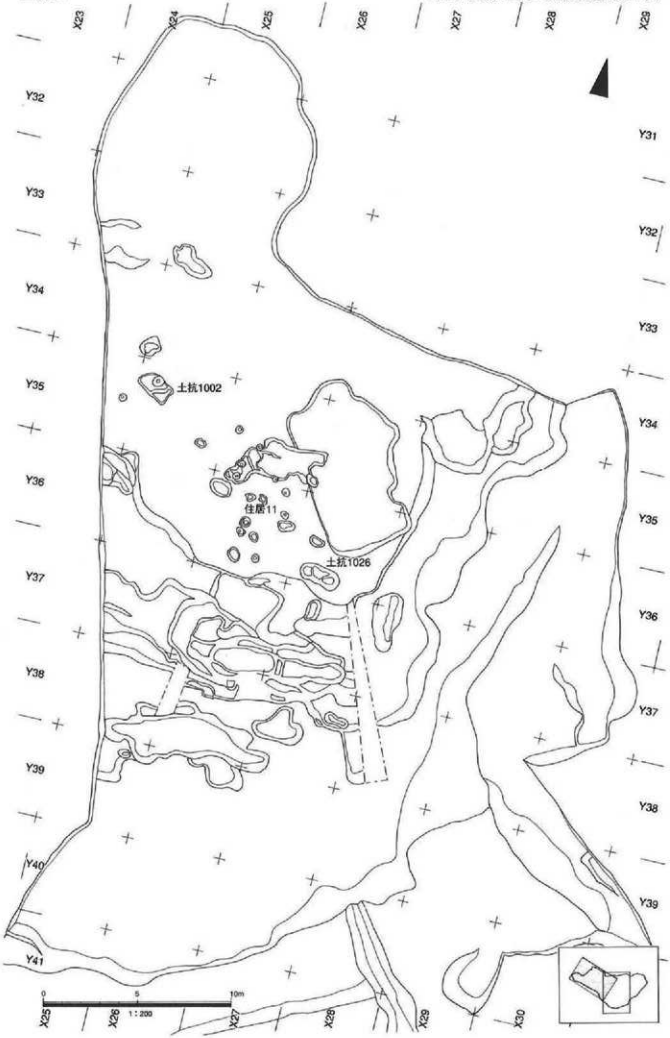
299

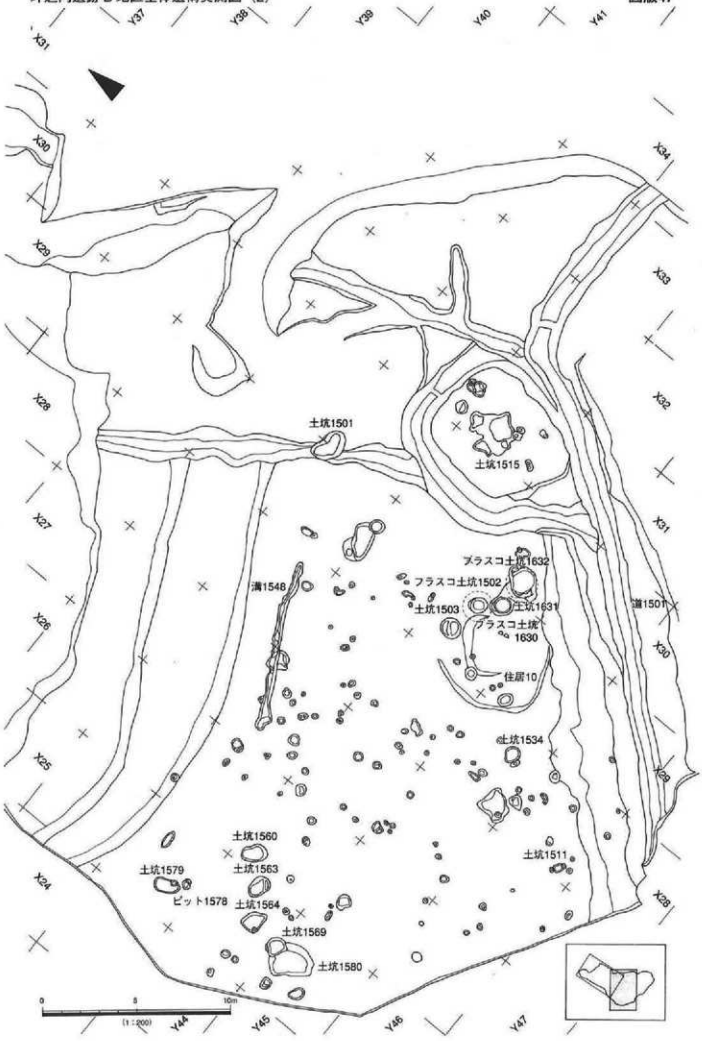



X24
X25
X26
X27
X28
X29
X30
X31
X32
X33
X34
X35
X36
Y31
Y32
Y33
Y34
Y35
Y36
Y37
Y38
Y39
Y40
Y41
Y42
Y43
Y44
Y45
Y46
Y47
0
10
20m
1：400

図版46

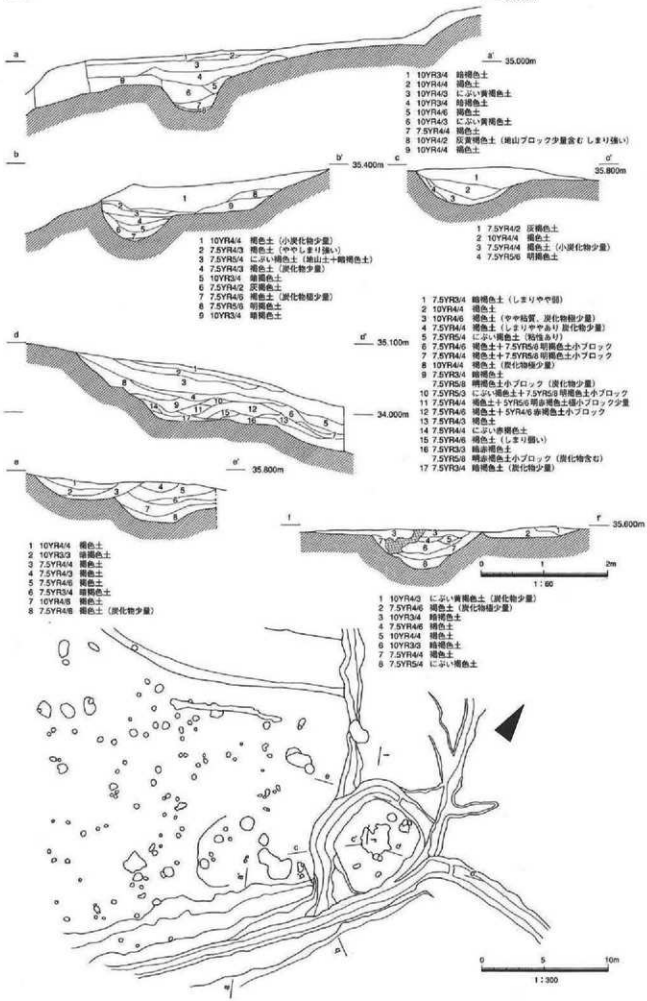
坪之内遺跡Ｂ地区全体遺構実測図（1）



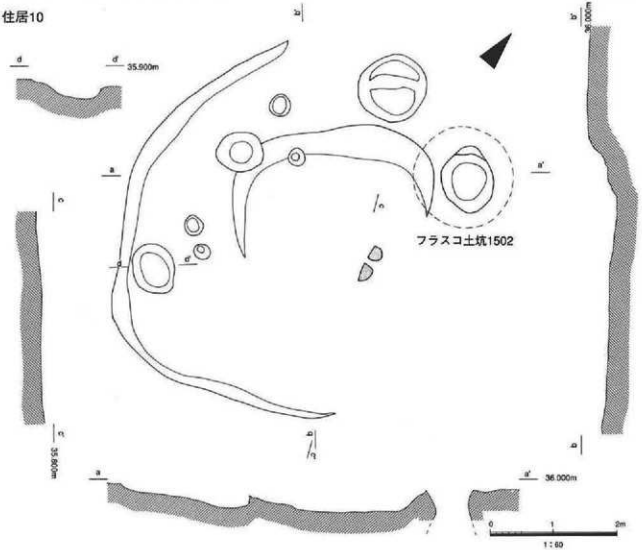

X31
X37
X38
X39
X40
X41
X30
X34
X29
X33
X28
X32
X27
X31
X26
X30
X25
X29
X24
X28
Y44
Y45
Y46
Y47
土坑1501
土坑1515
プラスコ土坑1632
フラスコ土坑1502
溝1548
土坑1503
土坑1631
溝1501
プラスコ土坑1630
住居10
土坑1534
土坑1560
土坑1511
土坑1579
土坑1563
ピット1578
土坑1564
土坑1569
土坑1580
0
5
10m
(1:200)

坪之内遺跡 B 地区個別遺構実測図 (1)

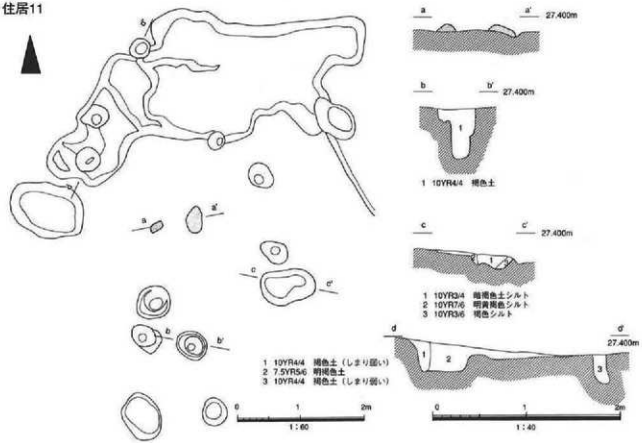
道1501

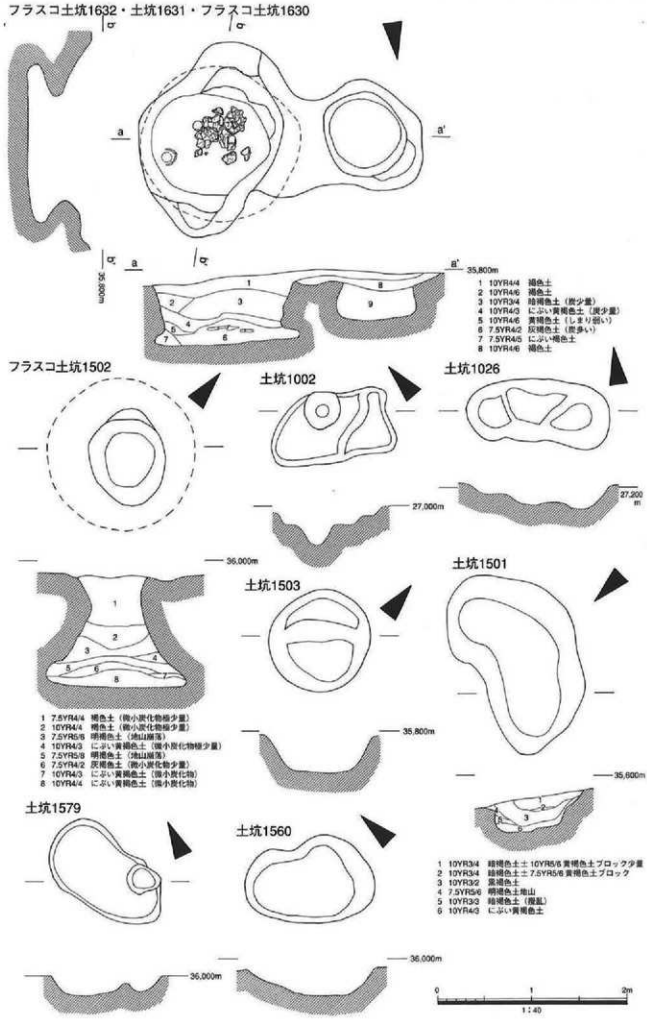


住居10

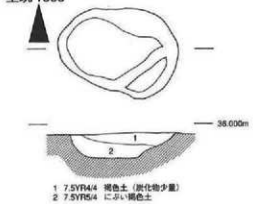

35.900m
フラスコ土坑1502
36.000m
0
1
2m
1:60

住居11


27.400m
1 10YR4/4 褐色土
1 10YR3/4 暗褐色土シルト
2 10YR7/6 明黄褐色シルト
3 10YR3/6 褐色シルト
1 10YR4/4 褐色土（しまり弱い）
2 7.5YR5/6 明褐色土
3 10YR4/4 褐色土（しまり弱い）
0
1
2m
1:60
1:40

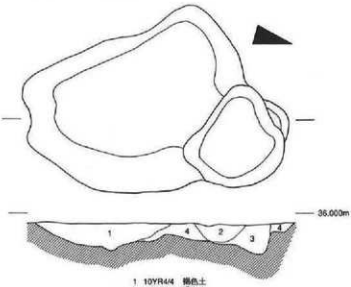

フラスコ土坑1632・土坑1631・フラスコ土坑1630
α
α'
a
a'
35,800m
1 10YR4/4 褐色土
2 10YR4/6 褐色土
3 10YR3/4 暗褐色土（炭少量）
4 10YR4/3 にぶい黄褐色土（炭少量）
5 10YR4/6 黄褐色土（しまり弱い）
6 7.5YR4/2 灰褐色土（炭多い）
7 7.5YR4/6 にぶい褐色土
8 10YR4/6 褐色土
フラスコ土坑1502
土坑1002
土坑1026
27,000m
27,200m
36,000m
土坑1503
土坑1501
1 7.5YR4/4 褐色土（微小炭化物極少量）
2 10YR4/4 褐色土（微小炭化物極少量）
3 7.5YR5/6 明褐色土（地山崩落）
4 10YR4/3 にぶい黄褐色土（微小炭化物極少量）
5 7.5YR5/8 明褐色土（地山崩落）
6 7.5YR4/2 灰褐色土（微小炭化物少量）
7 10YR4/3 にぶい黄褐色土（微小炭化物）
8 10YR4/4 にぶい黄褐色土（微小炭化物）
35,800m
35,600m
土坑1579
土坑1560
1 10YR3/4 暗褐色土＋10YR5/6 黄褐色土ブロック少量
2 10YR3/4 暗褐色土＋7.5YR5/6 黄褐色土ブロック
3 10YR3/2 黒褐色土
4 7.5YR5/6 明褐色土 地山
5 10YR3/3 暗褐色土（撹乱）
6 10YR4/3 にぶい黄褐色土
36,000m
36,000m
0　1　2m
1:40

土坑 1563



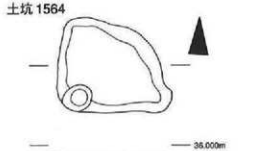
1 7.5YR4/4 褐色土（炭化物少量）
2 7.5YR5/4 にぶい褐色土

土坑 1580・土坑 1569



1 10YR4/4 褐色土
2 10YR4/6 褐色土
3 10YR4/4 褐色土
4 7.5YR5/4 にぶい褐色土

土坑 1564

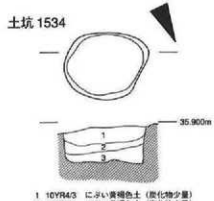


1 7.5YR5/4 にぶい褐色土（炭化物少量、しまり強）
2 7.5YR4/6 褐色土（しまり強）

土坑 1515

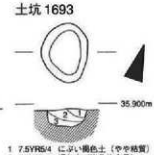
溝 1548

土坑 1534



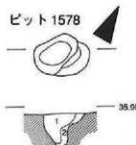
1 10YR4/3 にぶい黄褐色土（炭化物少量）
2 10YR5/4 にぶい黄褐色土（炭化物少量）
3 7.5YR4/3 褐色土（炭化物多量）

土坑 1693



1 7.5YR5/4 にぶい褐色土（やや粘質）
2 7.5YR4/3 褐色土（炭化物多量）
3 10YR4/6 褐色土

ピット 1578



1 10YR3/4 暗褐色土
2 10YR3/2 黒褐色土
3 10YR5/4 にぶい褐色土（しまり強い）

土坑 1511

1 10YR3/4 暗褐色土（炭化物少量）
2 10YR4/3 にぶい黄褐色土（中炭化物少量）
3 10YR3/3 暗褐色土（炭化物少量）
4 10YR3/2 黒褐色土（炭化物多い）
5 5YR3/4 明赤褐色土
6 7.5YR4/4 褐色土（小炭化物少量）

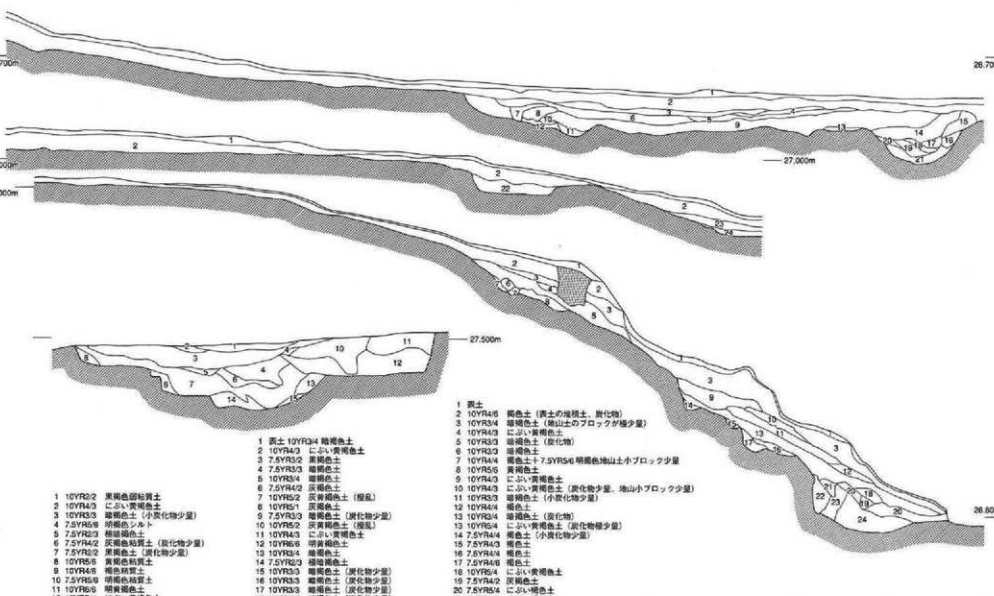
0　1m
1:20

0　1　2m
1:40

1 10YR3/3 暗褐色土（小炭化粒径少量）
2 10YR4/6 褐色土（小炭化粒径少量）

0　1　2　3　4m
1:80

坪之内遺跡 B 地区調査区層位図



1 10YR2/2 黒褐色砂粘質土
2 10YR4/3 にぶい黄褐色土
3 10YR3/3 暗褐色土（小炭化物少量）
4 7.5YR5/6 明褐色シルト
5 7.5YR2/3 極暗褐色土
6 7.5YR4/2 灰褐色粘質土（炭化物少量）
7 7.5YR2/2 黒褐色土（炭化物少量）
8 10YR5/6 黄褐色粘質土
9 10YR4/6 褐色粘質土
10 7.5YR5/6 明褐色粘質土
11 10YR5/6 明黄褐色土
12 10YR7/4 にぶい黄橙色土
13 10YR5/4 にぶい黄橙色粘質土
14 10YR6/3 にぶい黄橙色粘質土
15 10YR6/3 にぶい黄橙色粘質土

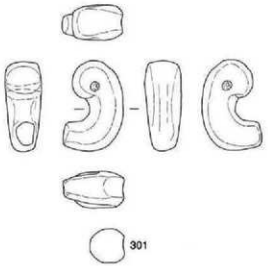
1 表土 10YR3/4 暗褐色土
2 10YR4/3 にぶい黄褐色土
3 7.5YR3/2 黒褐色土
4 7.5YR3/3 暗褐色土
5 10YR3/4 暗褐色土
6 7.5YR4/2 灰褐色土
7 10YR5/2 灰黄褐色土（撹乱）
8 10YR5/1 灰褐色土
9 7.5YR3/3 暗褐色土（炭化物少量）
10 10YR5/2 灰黄褐色土（撹乱）
11 10YR4/3 にぶい黄褐色土
12 10YR6/6 明黄褐色土
13 10YR3/4 暗褐色土
14 7.5YR2/3 極暗褐色土
15 10YR3/3 暗褐色土（炭化物少量）
16 10YR3/3 暗褐色土（炭化物少量）
17 10YR3/3 暗褐色土（炭化物少量）
18 10YR3/3 暗褐色土（炭化物少量）
19 10YR3/3 暗褐色土（炭化物少量）
20 10YR3/3 暗褐色土（炭化物少量）
21 7.5YR4/4 褐色土（炭化物少量）

1 表土
2 10YR4/6 褐色土（表土の堆積土、炭化物）
3 10YR3/4 暗褐色土（地山土のブロックが極少量）
4 10YR4/3 にぶい黄褐色土
5 10YR3/3 暗褐色土（炭化物）
6 10YR2/3 暗褐色土
7 10YR4/4 褐色土＋7.5YR5/6 明褐色地山土小ブロック少量
8 10YR5/6 黄褐色土
9 10YR4/3 にぶい黄褐色土
10 10YR4/3 にぶい黄褐色土（炭化物少量、地山小ブロック少量）
11 10YR3/3 暗褐色土（小炭化物少量）
12 10YR4/4 褐色土
13 10YR3/4 暗褐色土（炭化物）
13 10YR5/4 にぶい黄褐色土（炭化物極少量）
14 7.5YR4/4 褐色土（小炭化物少量）
15 7.5YR5/4 にぶい褐色土
16 7.5YR4/4 褐色土
17 7.5YR4/6 褐色土
18 10YR5/4 にぶい黄褐色土
19 7.5YR4/2 灰褐色土
20 7.5YR5/4 にぶい褐色土
21 7.5YR5/4 にぶい褐色土
22 7.5YR4/5 褐色土
23 7.5YR5/8 明褐色土～7.5YR6/6 橙色土
24 7.5YR4/6 褐色土（炭化物極少量）

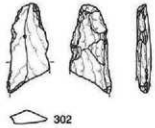
図版52

土坑 1501

300



301

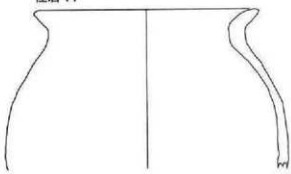


302

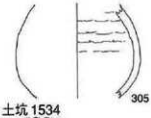
住居 10

303

住居 11

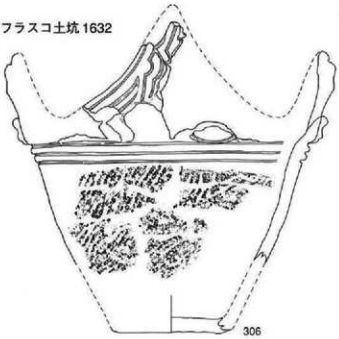


304



305

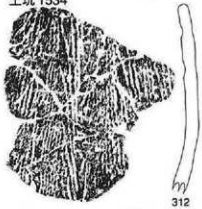
フラスコ土坑 1632



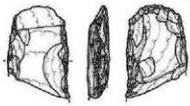
306

307

土坑 1534



312



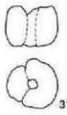
313

土坑 1002

308

310

309

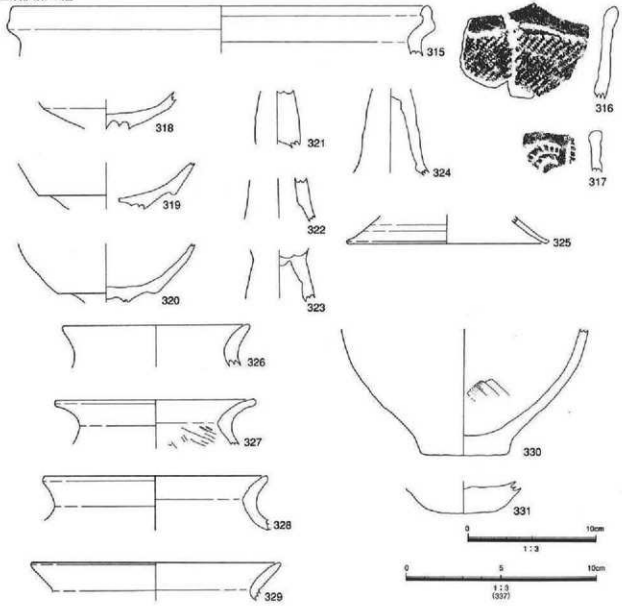


311

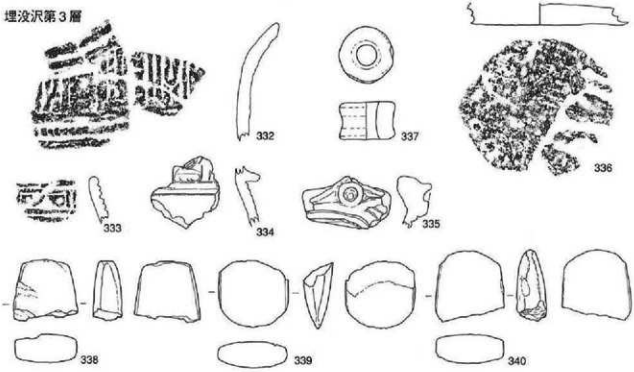
土坑 1515

314

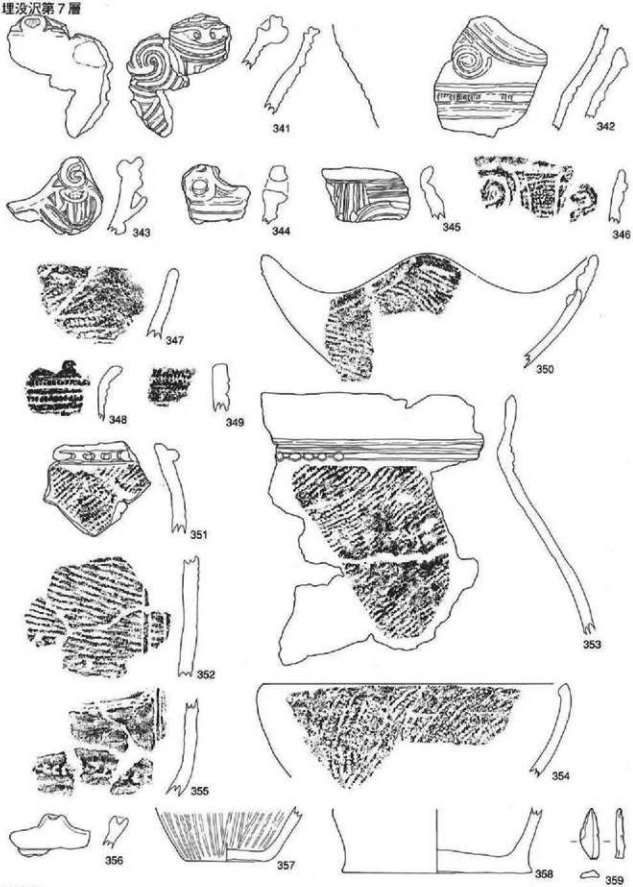
埋没沢第１層



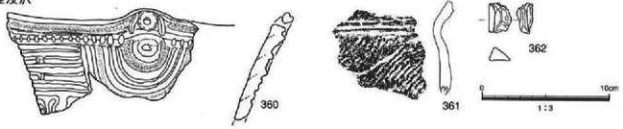
埋没沢第３層



埋没沢第７層


341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359

埋没沢


360
361
362
0
10cm
1:3

埋没沢

363

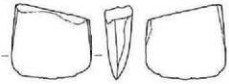
365

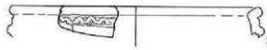
366

364

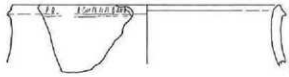
367

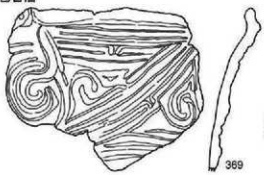
試堀


368


370

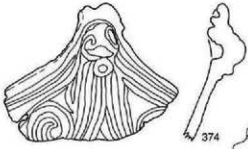
包含層

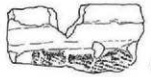

371


369

372

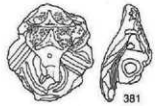
373


374


375

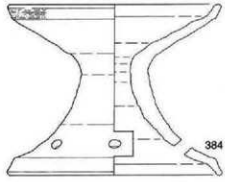
376

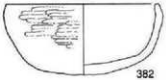
378

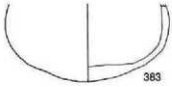

381

377

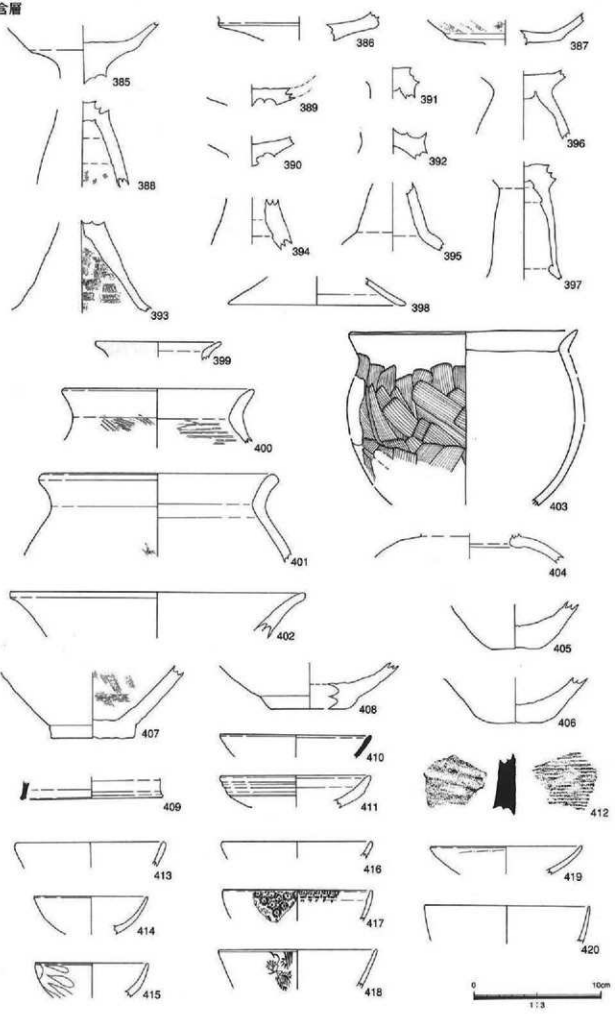
379
380

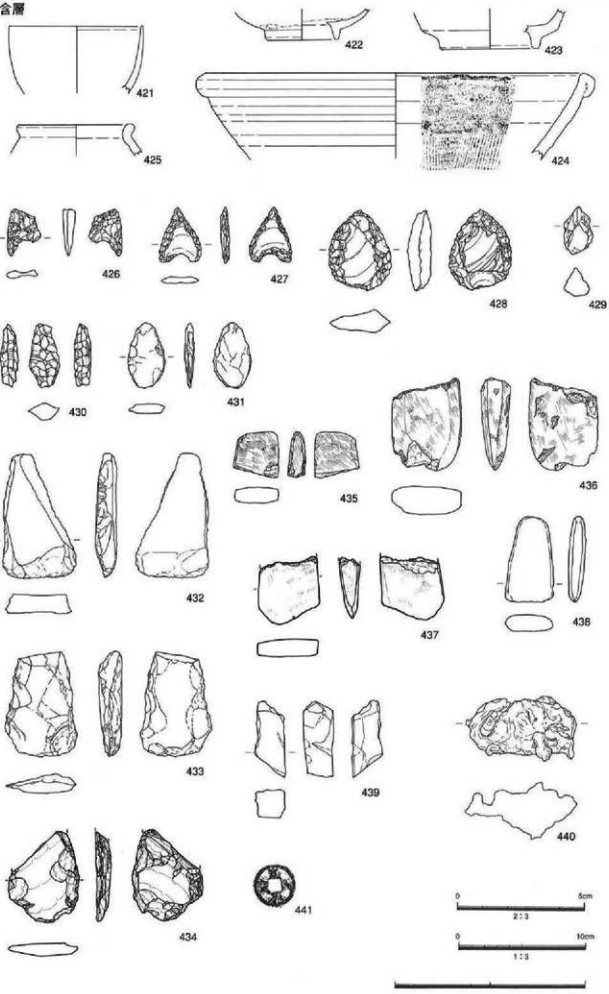

384


382


383

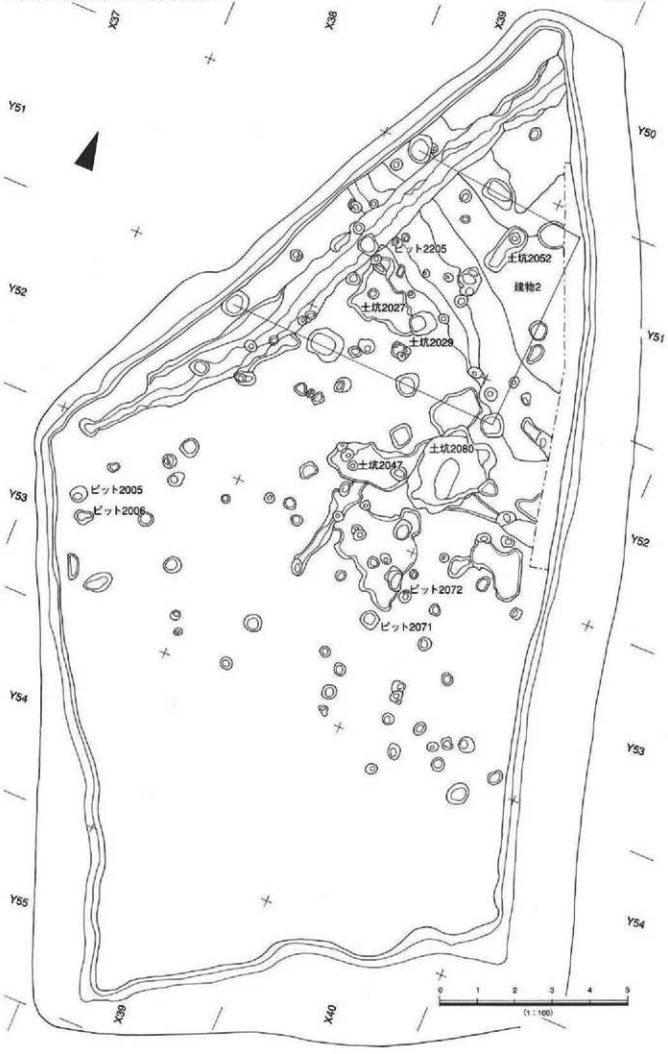
0　10cm
1:3


385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
0
10cm
1:3


421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
435
436
437
438
433
439
440
434
441
0
5cm
2:3
0
10cm
1:3

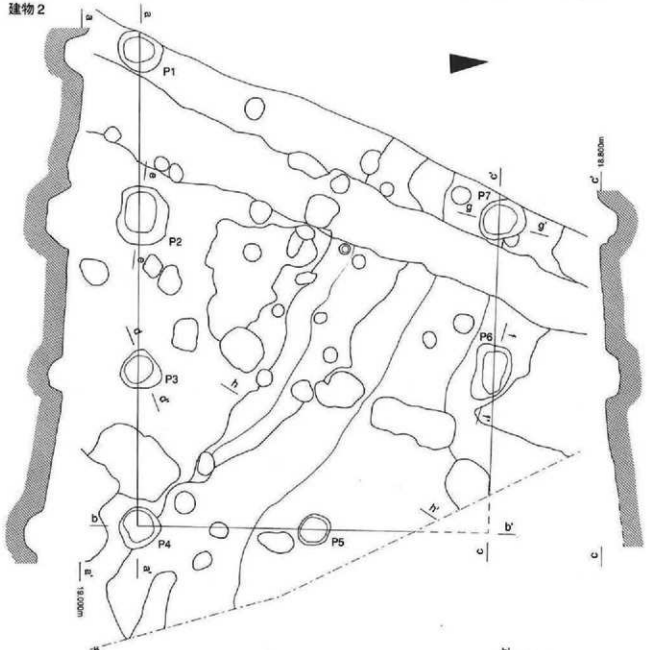
坪之内遺跡C地区全体遺構実測図

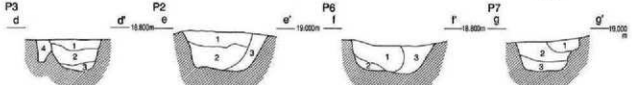
図版59



坪之内遺跡C地区個別遺構実測図(1)

建物2



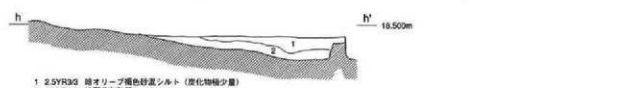


1 7.5YR3/2 黒褐色粘質土（黄橙色小ブロック少量）
2 7.5YR3/1 黒褐色粘質土（黄橙色小ブロック少量）
3 7.5YR4/1 褐灰色粘質土（黄橙色小ブロック少量）
4 5YR2/1 黒褐色粘質土

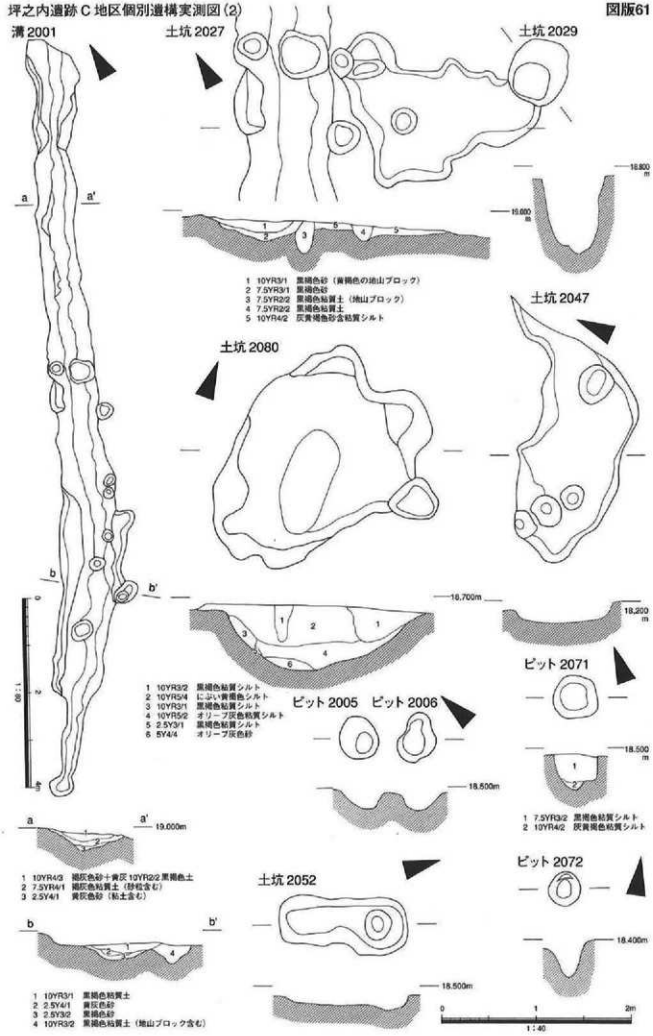
1 7.5YR4/2 灰褐色粘質土（10YR6/8明黄褐色シルトブロック少量）
2 7.5YR2/2 黒褐色弱粘質土
3 7.5YR4/4 褐色粘質土＋7.5YR5/6黄褐色シルトブロック

1 10YR2/2 黒褐色粘質土
10YR7/4 にぶい黄橙色シルトブロック
2 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト
3 10YR3/2 黒褐色粘質シルト

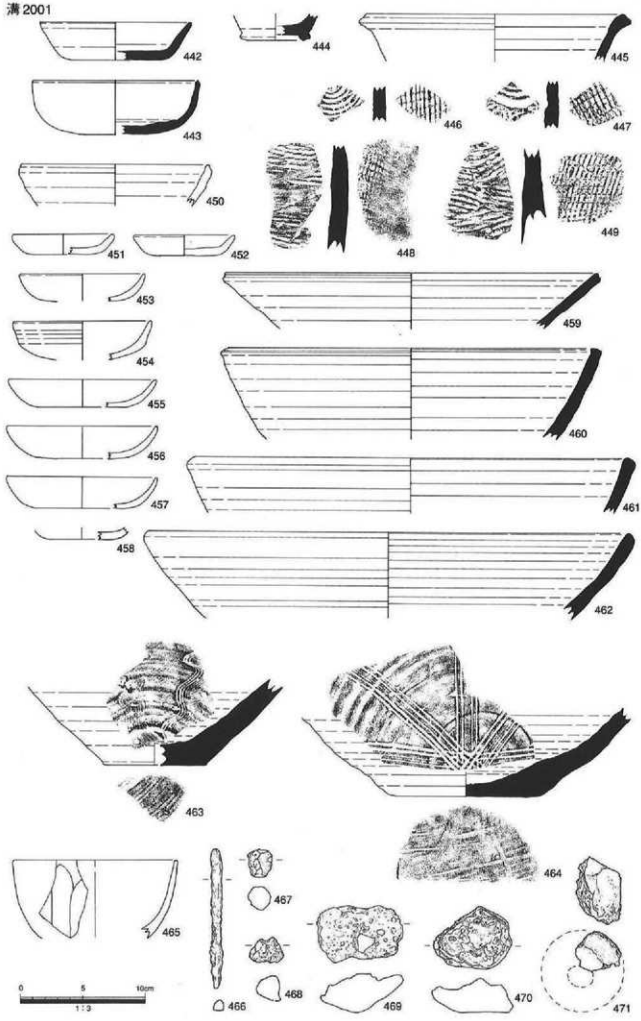
1 N0/3 褐灰色粘質シルト
2 2.5YR4/1 黄灰色粘質シルト
3 2.5YR3/3 暗オリーブ褐色粘質シルト

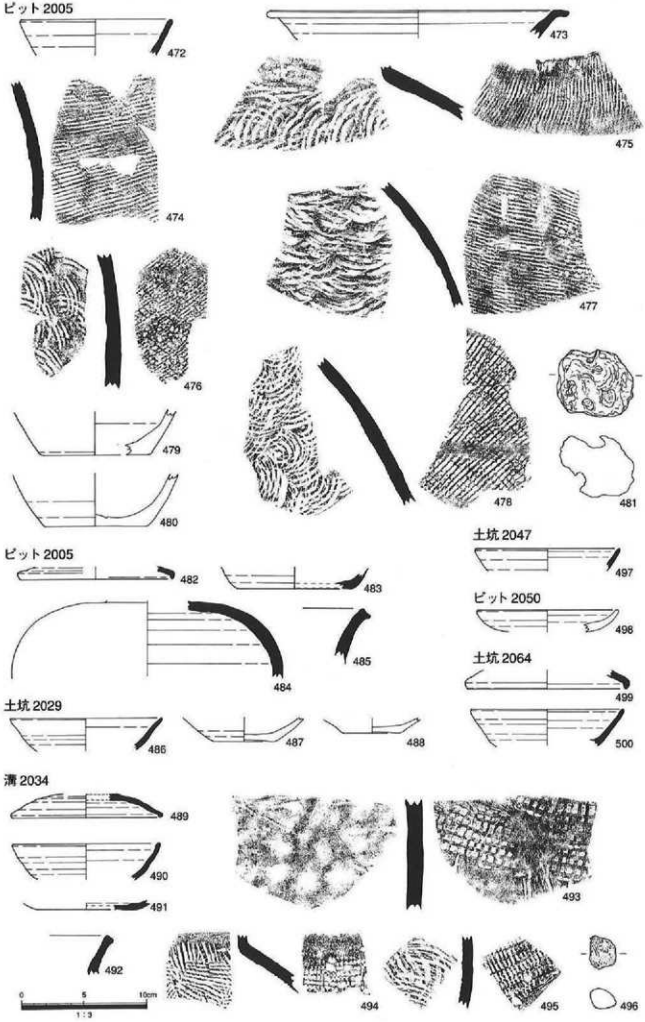


1 2.5YR3/3 暗オリーブ褐色砂質シルト（炭化物極少量）
2 2.5YR4/2 暗灰黄色砂質シルト


溝 2001
土坑 2027
土坑 2029
土坑 2047
土坑 2080
ピット 2005
ピット 2006
ピット 2071
ピット 2072
土坑 2052
a
a'
b
b'
18.800m
18.600m
18.700m
18.200m
18.500m
18.400m
19.000m
1 10YR3/1 黒褐色砂（黄褐色の地山ブロック）
2 7.5YR3/1 黒褐色砂
3 7.5YR2/2 黒褐色粘質土（地山ブロック）
4 7.5YR2/2 黒褐色粘質土
5 10YR4/2 灰黄褐色砂含粘質シルト
1 10YR3/2 黒褐色粘質シルト
2 10YR5/4 にぶい黄褐色シルト
3 10YR3/1 黒褐色粘質シルト
4 10YR5/2 オリーブ灰色粘質シルト
5 2.5Y3/1 黒褐色粘質シルト
6 5Y4/4 オリーブ灰色砂
1 7.5YR3/2 黒褐色粘質シルト
2 10YR4/2 灰黄褐色粘質シルト
1 10YR4/3 褐灰色砂＋黄灰 10YR2/2 黒褐色土
2 7.5YR4/1 褐灰色粘質土（砂粒含む）
3 2.5Y4/1 黄灰色砂（粘土含む）
1 10YR3/1 黒褐色粘質土
2 2.5Y4/1 黄灰色砂
3 2.5Y3/2 黒褐色砂
4 10YR3/2 黒褐色粘質土（地山ブロック含む）
1:80
0
1
2m
1:40

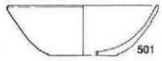
溝2001


442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
0
5
10cm


ピット 2005
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
ピット 2005
482
483
484
485
土坑 2029
486
487
488
土坑 2047
497
ピット 2050
498
土坑 2064
499
500
溝 2034
489
490
491
492
493
494
495
496
0 5 10cm
1:3

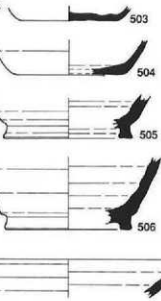
坪之内遺跡C地区遺物実測図(3)

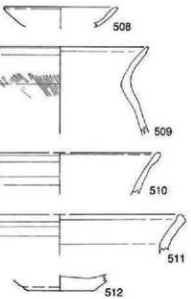
ピット2072



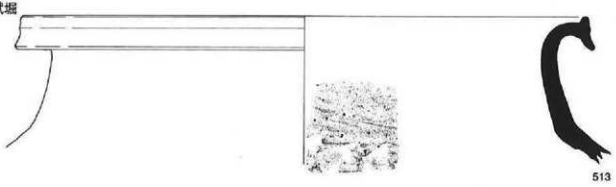
ピット2205

試堀

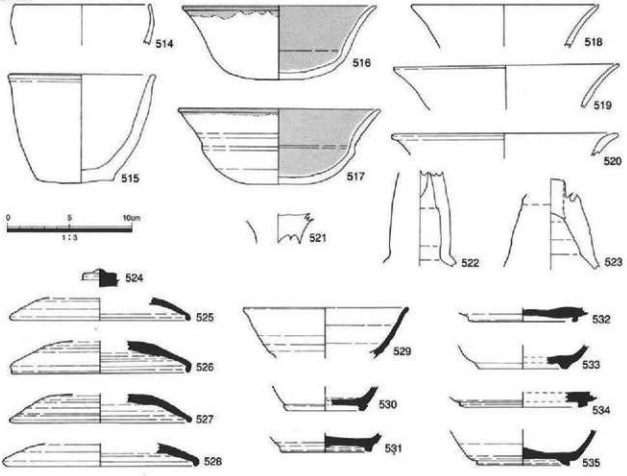


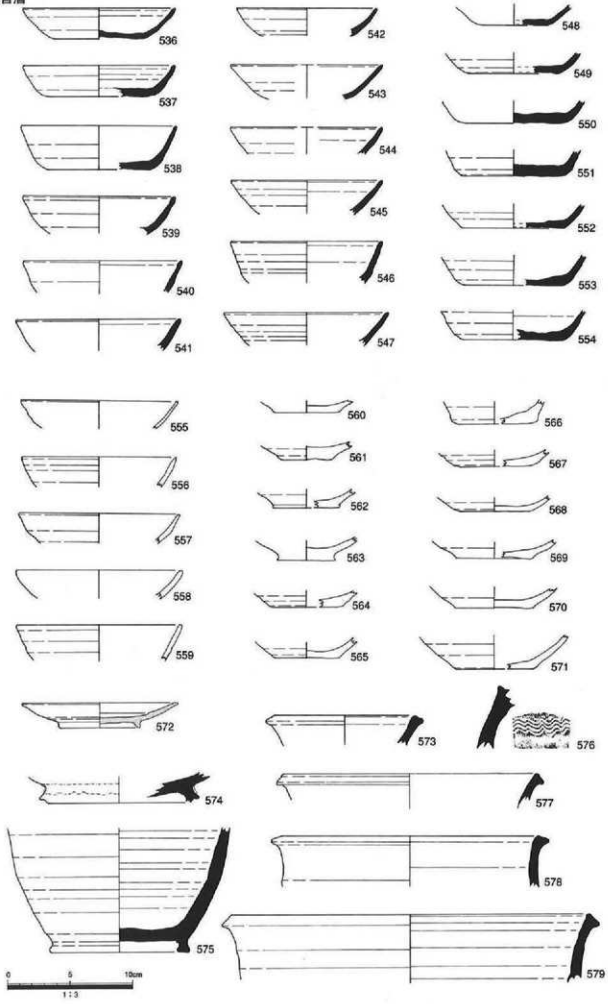


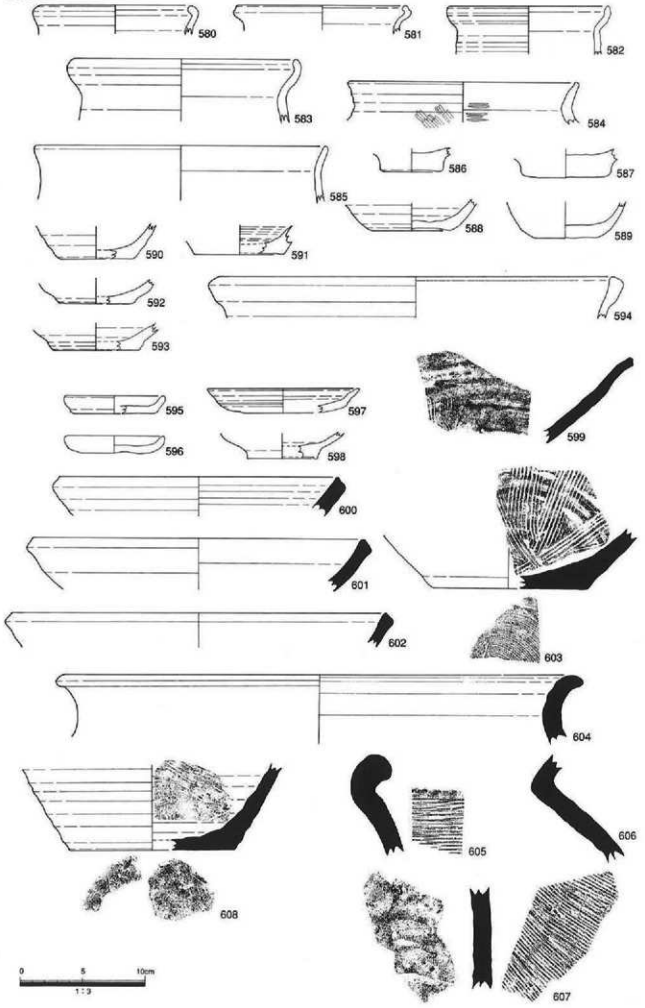
試堀



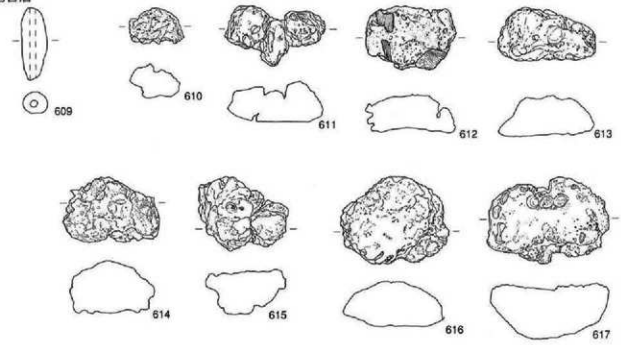
包含層




536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
0
5
10cm
1:3


580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
0
5
10cm
1:3

包含層



0　5　10cm
1:3

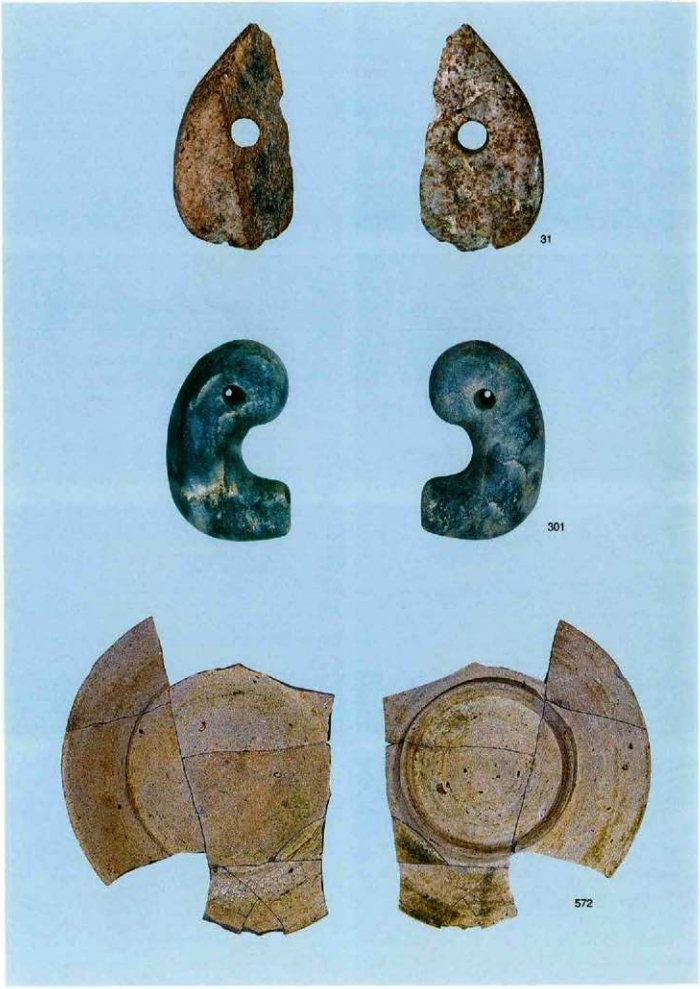
坪之内塚群調査前全景（北から）

坪之内遺跡A地区全景1

図版69

坪之内遺跡A地区全景2

坪之内遺跡B地区全景


31
301
572

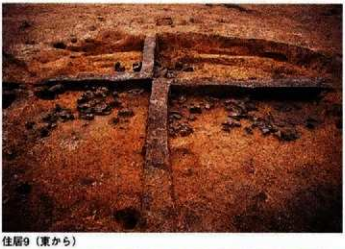
図版71

住居石組炉（北から）

住居2地区炉（南から）

炉1（北から）

住居9（南から）



住居9（東から）

B地区埋没沢（南から）

C地区建物1（南から）

住居9台形土器

1号塚（北から）

1号塚層位（西から）

1号塚層位・周溝層位（西から）

1号塚基底部（東から）

2号塚検出（南から）

2号塚・1号土坑（東から）

2号塚層位（東から）

2号塚層位（南東から）

図版73

1号土坑検出状況（南東から）

1号土坑層位（北から）

1号土坑層位（東から）

3号塚・4号塚検出状況（南から）

3号塚・4号塚層位（南から）

3号塚層位（東から）

4号塚層位（北から）

5号塚検出状況（西から）

5号塚検出状況（北から）

5号塚層位（西から）

5号塚周溝層位（南から）

5号塚下部土坑層位（南から）

5号塚下部土坑完堀（南から）

6号塚調査前（南から）

6号塚検出状況（東から）

6号塚層位（東から）

図版75

6号塚層位（南から）

7号塚層位（南から）

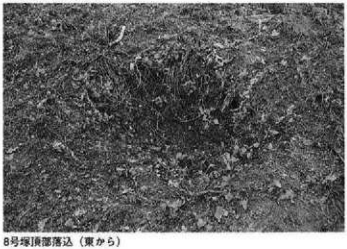
7号塚層位（西から）

7号塚層位（北から）

7号塚層位（西から）

8号塚調査前（東から）

8号塚調査前（南から）



8号塚頂部落込（東から）

8号塚頂部撹乱層位（南西から）

8号塚層位（西から）

9号塚・10号塚・11号塚調査前

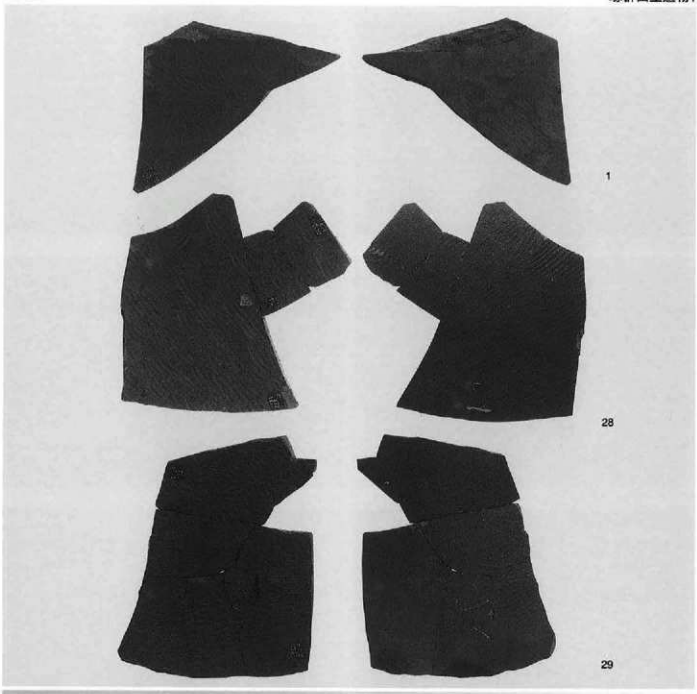
9号塚・10号塚層位（南から）

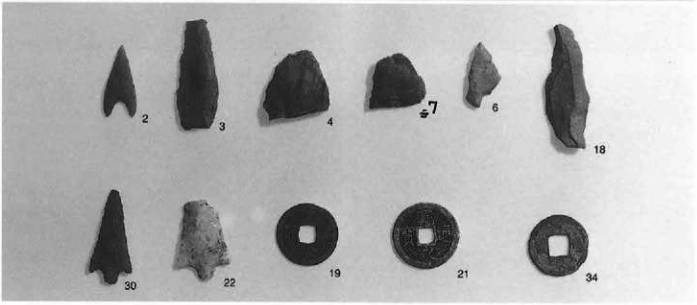
9号塚層位（南から）

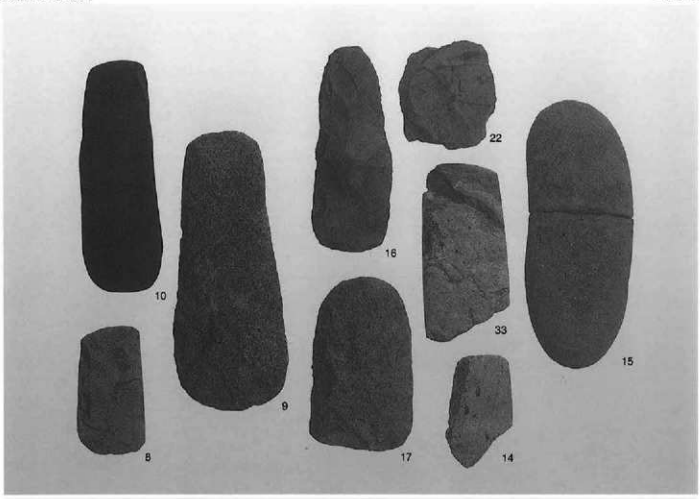
11号塚層位（東から）

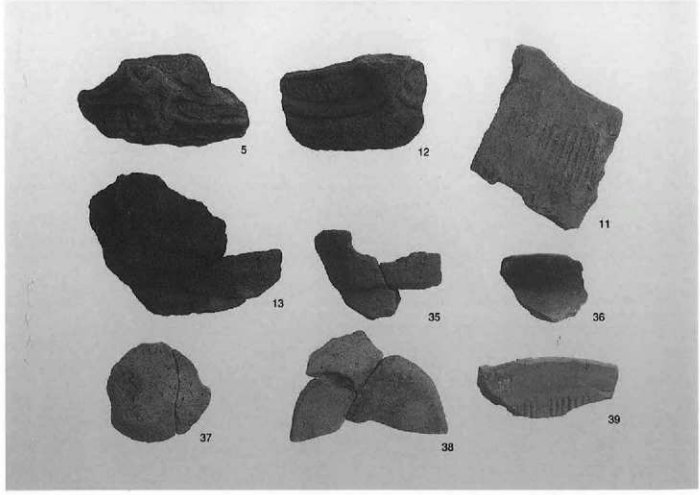
11号下部遺物出土状況（東から）

1号土壙墓・2号土壙墓完掘（東から）


1
28
29

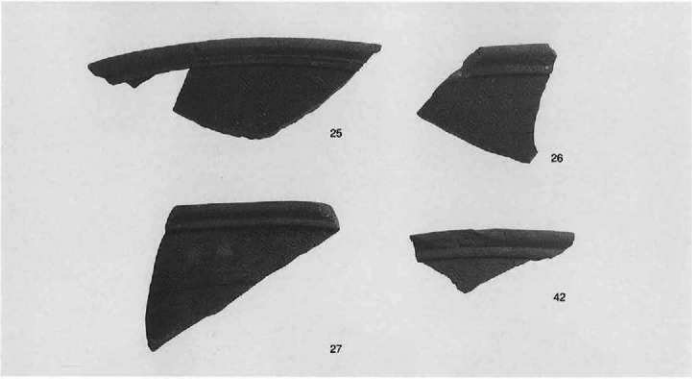

2
3
4
7
6
18
30
22
19
21
34

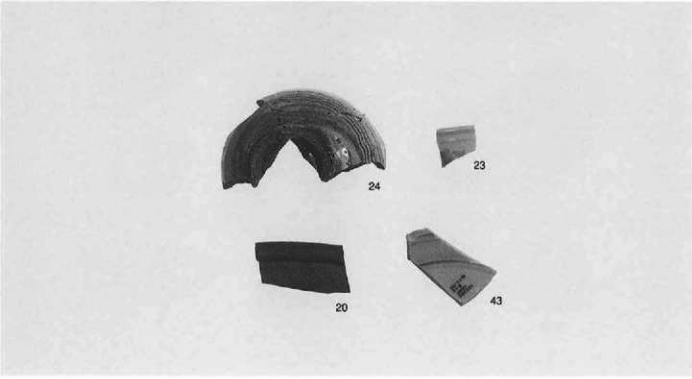

10
9
16
22
33
15
8
17
14


5
12
11
13
35
36
37
38
39

40

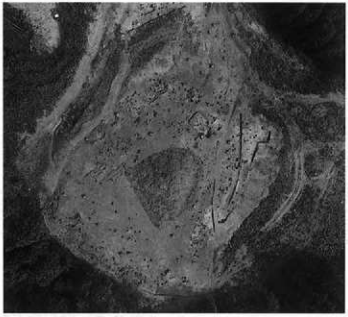
41


25
26
27
42


24
23
20
43

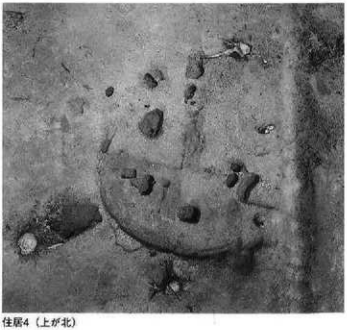
坪之内遺跡A地区全景（北から）

坪之内遺跡A地区全景（上が北）


坪之内遺跡A地区全景（上が北）

住居1A・1B（上が北）

住居3（上が北）


住居4（上が北）

図版81

住居6（上が北）

住居7（上が北）

住居9（上が北）

道382（上が北）

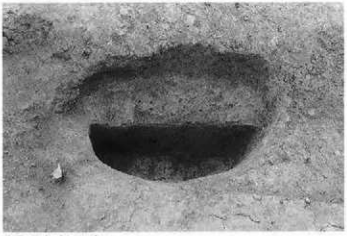
建物1（上が北）

住居1完堀（北から）

住居1完堀（東から）

住居1石組炉検出（北から）

住居1石組炉半裁（北から）


住居1柱穴（東から）

住居1覆土遺物出土状況（南から）

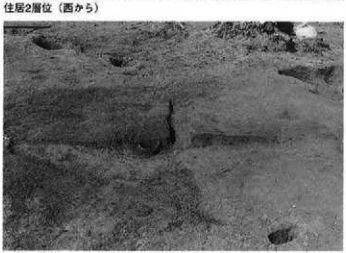
住居1完堀（西から）

住居2完堀（西から）

図版83

住居2層位（西から）

住居2層位（北から）

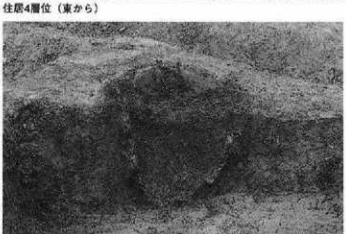

住居2地床炉（南から）

住居2炉内土器層位（南から）

住居3（東から）

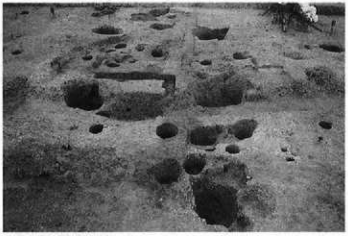
住居4層位（東から）

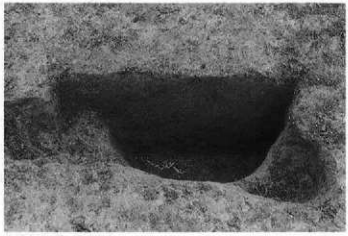
住居4完掘（北東から）


住居3埋設土器層位（北から）

住居6完堀（南東から）

住居6遺物出土状況（東から）


住居7完堀（南東から）


住居8P1層位（南から）

住居8P4層位（北から）

住居8P3層位（南から）

住居9層位（東から）

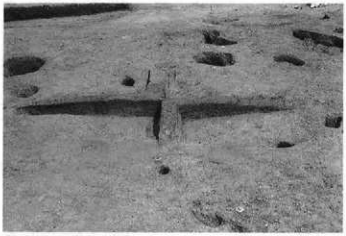
住居9遺物出土状況（北から）

図版85

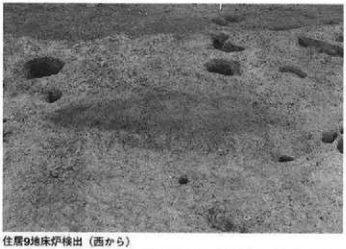
住居9完堀（南から）

住居完堀（東から）

住居9台形土器出土状況（南から）



住居9地床炉層位（西から）

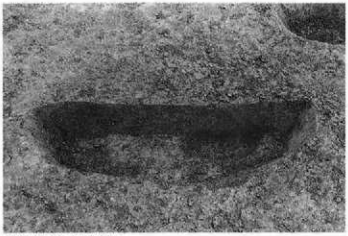


住居9地床炉検出（西から）

建物1P4層位（南から）

炉1検出（北から）

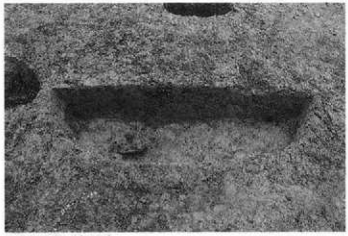
炉1層位（北から）


土坑114層位（北から）

土坑172層位（東から）

土坑196層位（南から）

土坑254層位（東から）


土坑629層位（東から）

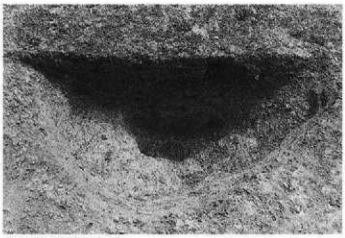
土坑630層位（南から）

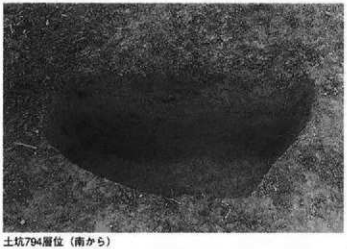
土坑765層位（南から）

土坑768遺物出土状況（南から）

図版87

土坑778層位（南から）


土坑790層位（南西から）


土坑794層位（南から）

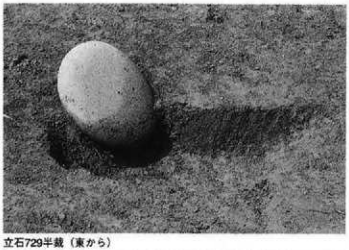
土坑794完堀（南から）

土坑901完堀（南から）

土坑901層位（南から）

土坑793検出（南から）

土坑793半裁（東から）


立石729半裁（東から）

立石729完堀（北から）

立石792半裁（南東から）

立石792完堀（北から）

土坑796完堀（南から）

土掘り796（南から）

土坑796層位（東から）

土坑796層位（北から）

図版89

土坑796層位（東から）

土坑796遺物出土状況（東から）

土坑796遺物出土状況（東から）

溝702・溝703・溝704完堀（東から）

道382完堀（北から）

道382完堀（南から）

道382層位（南から）

道382層位（南から）

44

72

65

95

116

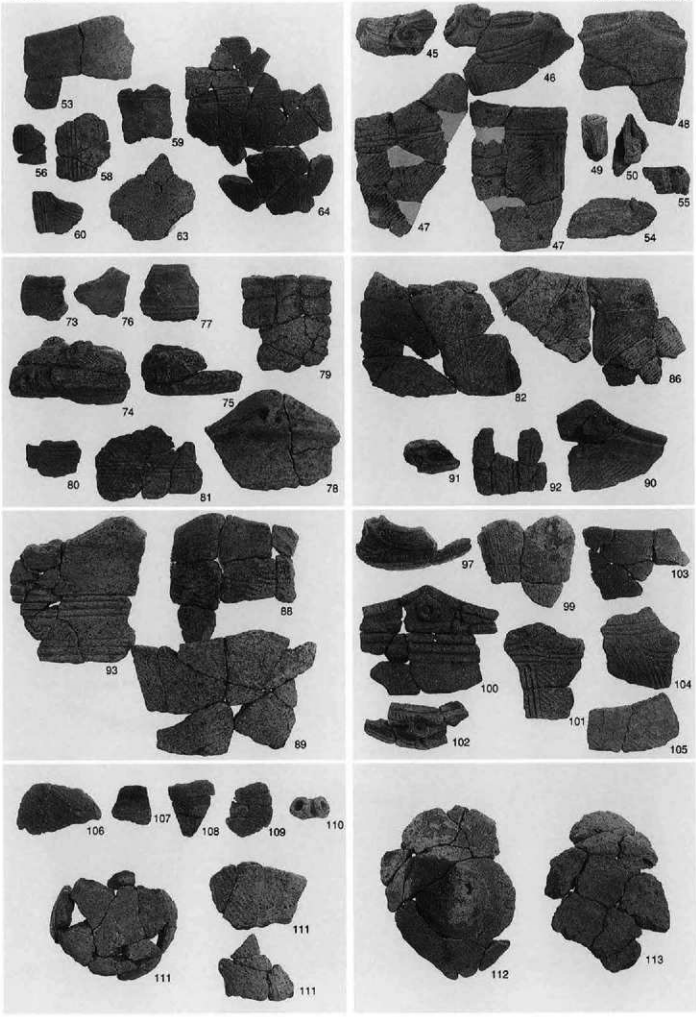
98

123

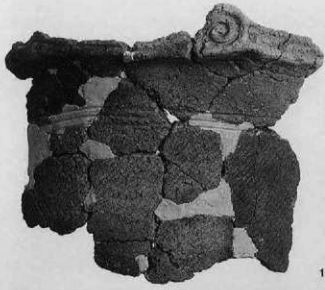
125

115

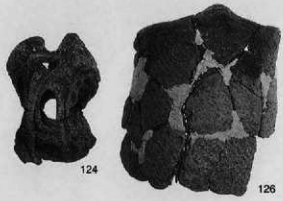
164


53
59
56
58
64
60
63
45
46
48
49
50
55
47
47
54
73
76
77
79
74
75
80
81
78
82
86
91
92
90
88
93
89
97
103
99
100
104
101
102
105
106
107
108
109
110
111
111
111
112
113

122



128



124

126

127

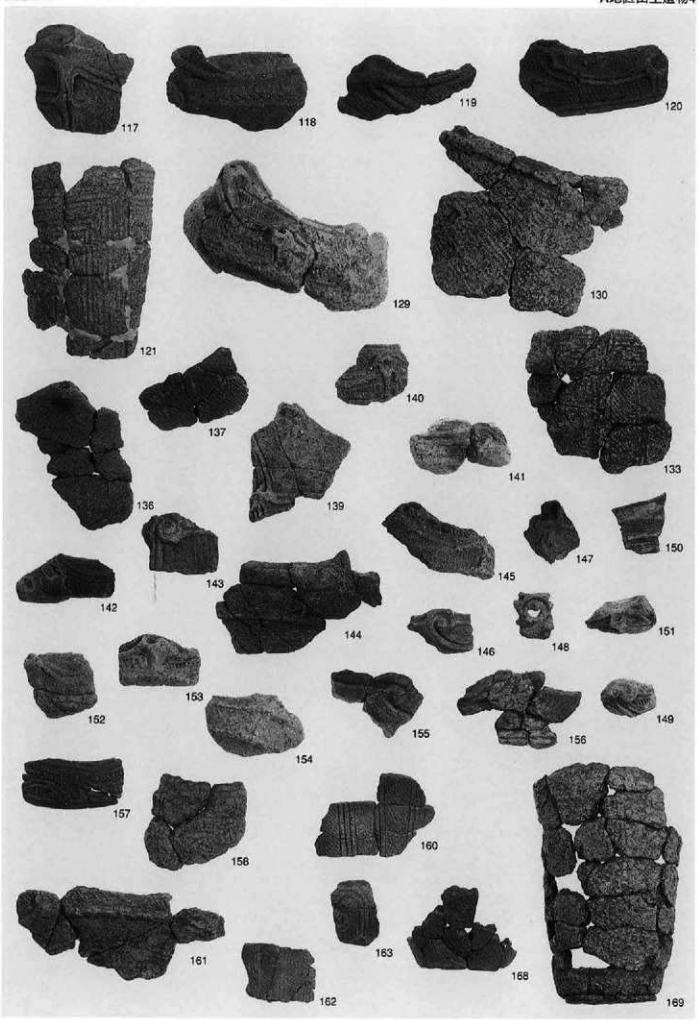
134

132

131

138

135


117
118
119
120
121
129
130
140
137
133
136
139
141
150
147
145
143
142
144
146
148
151
152
153
155
156
149
154
157
158
160
161
163
168
169
162

182

183

177

87

176

175

178

181

184

185

186

189

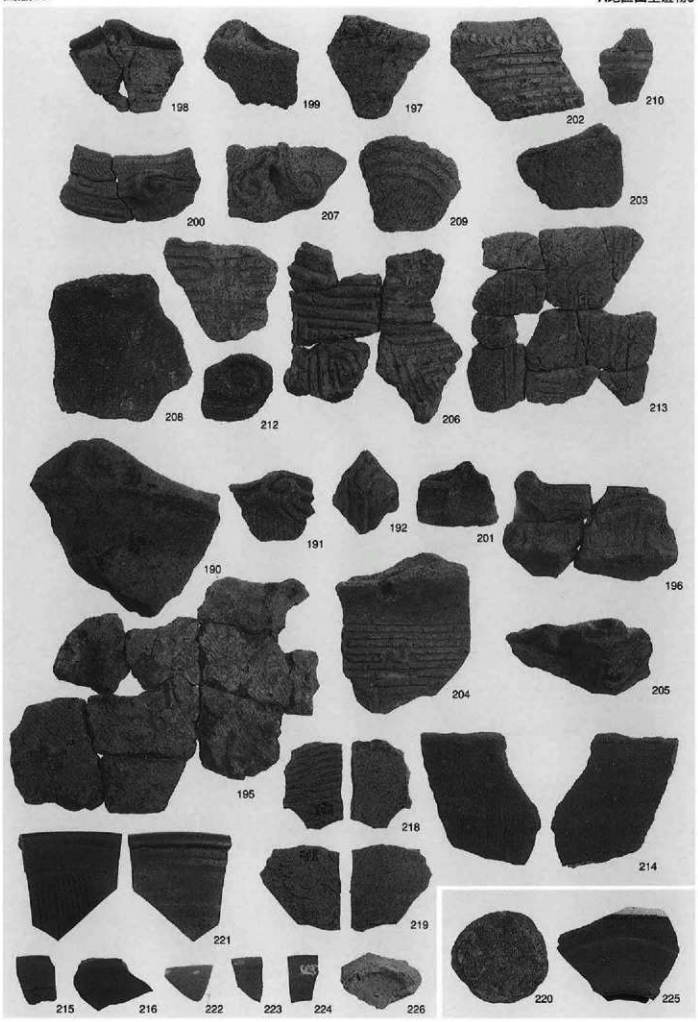
188

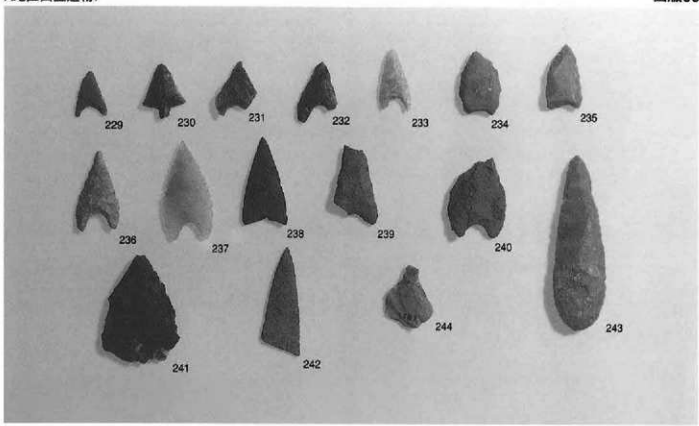
193

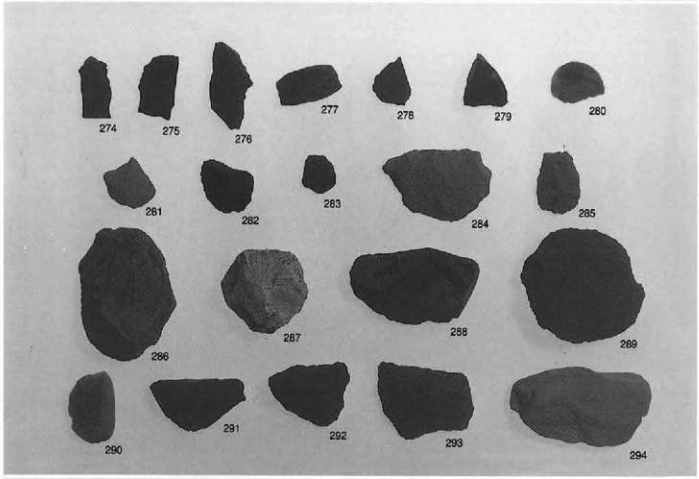
194

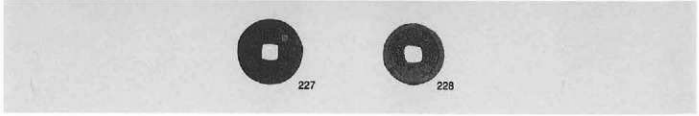
187

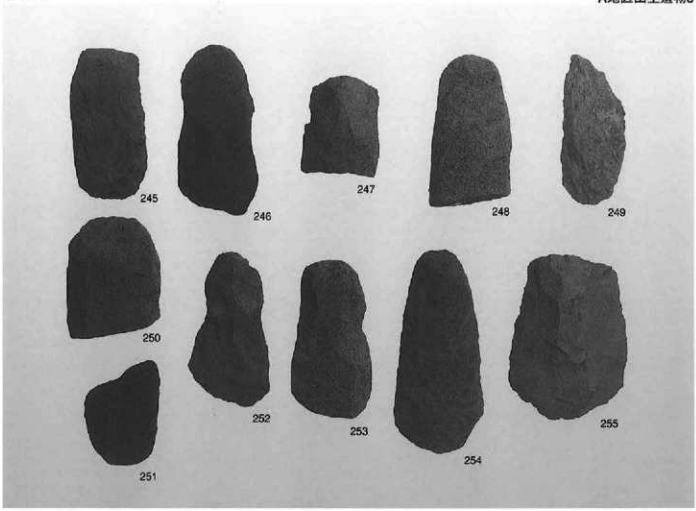
217

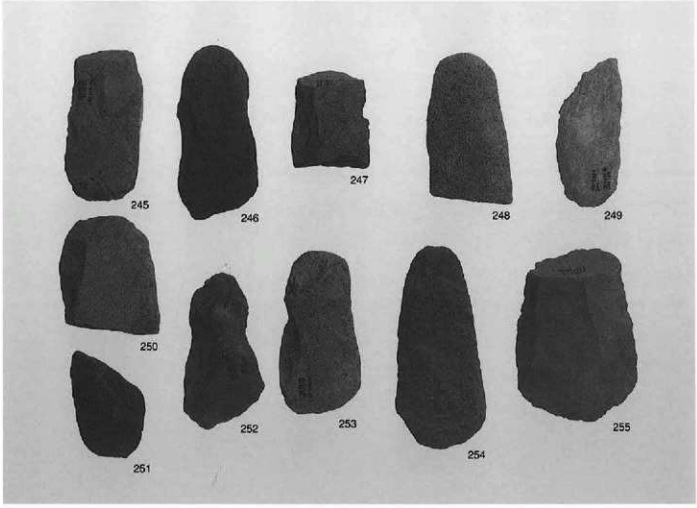

198
199
197
202
210
200
207
209
203
208
212
206
213
190
191
192
201
196
204
205
195
218
214
221
219
215
216
222
223
224
226
220
225

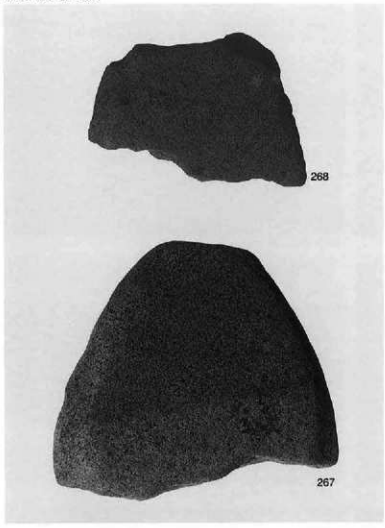

229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244

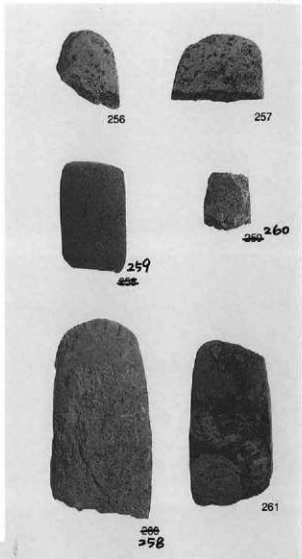

274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294

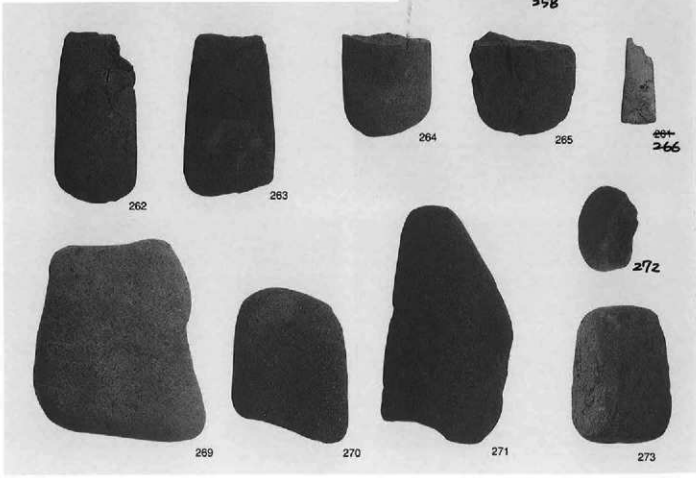

227
228


245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255


245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255


268
267

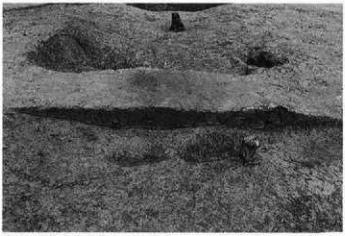

256
257
259
260
261
258

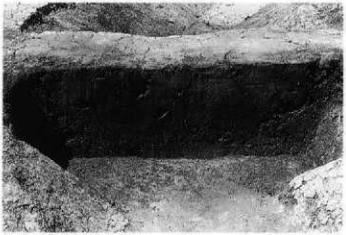

262
263
264
265
266
269
270
271
272
273

図版99

道1501層位（東から）

道1501層位（西から）

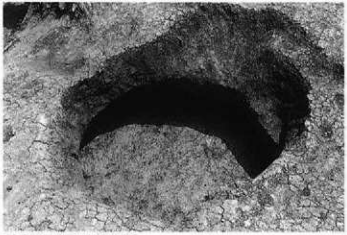

道1501層位（南から）


土坑1501層位（南から）

住居10遺物出土状況（西から）

フラスコ土坑1632遺物出土状況（東から）

フラスコ土坑1632遺物出土状況（西から）


フラスコ土坑完掘（北から）

土坑1511半截（東から）

土坑1511完堀（東から）

土坑1693半截（南から）

ピット1578半截（南東から）

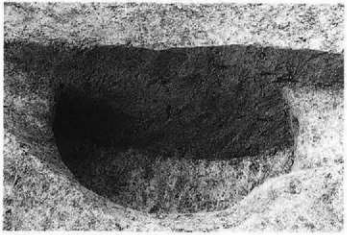
道1501完堀（西から）

北斜面層位（東から）

北斜面層位（東から）

北斜面層位（東から）

図版101


フラスコ土坑1630完堀（南から）

フラスコ土坑1502層位（南から）

フラスコ土坑1502完堀（南東から）

土坑1563完堀（南から）

土坑1580層位（東から）

土坑1534層位（北東から）

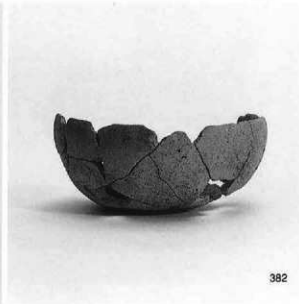
溝1548完堀（東から）

器台出土状況（南から）

384

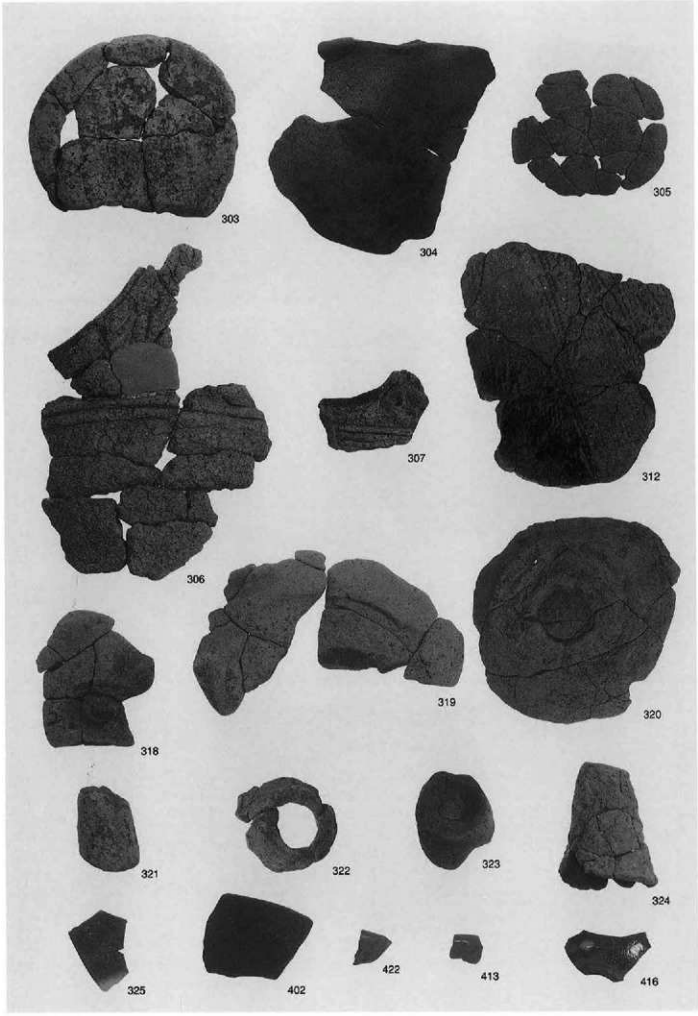
384

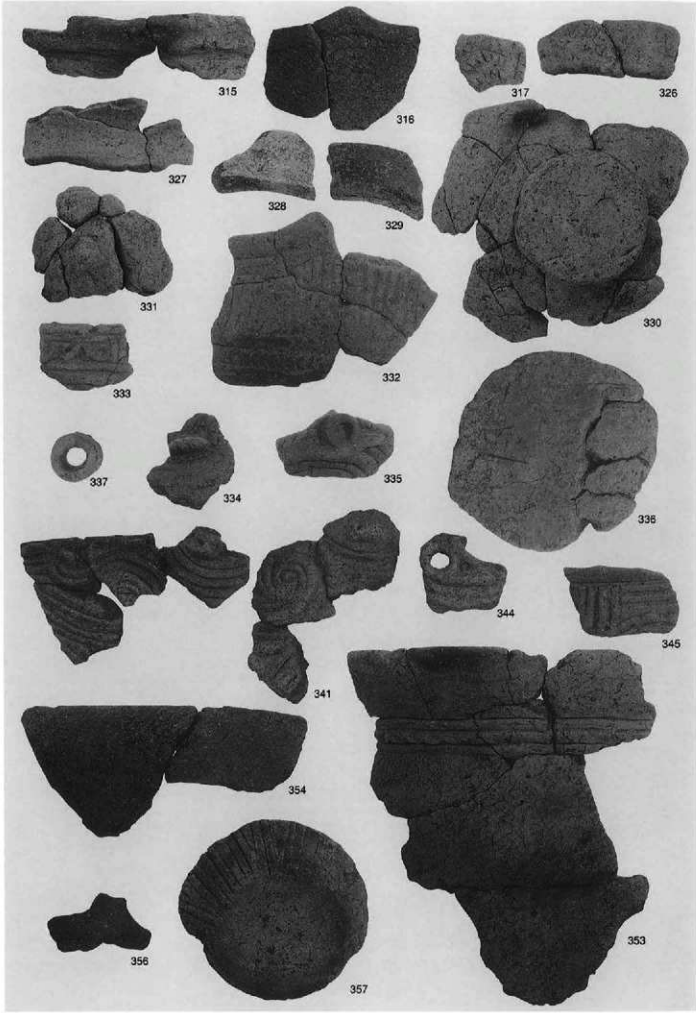
360

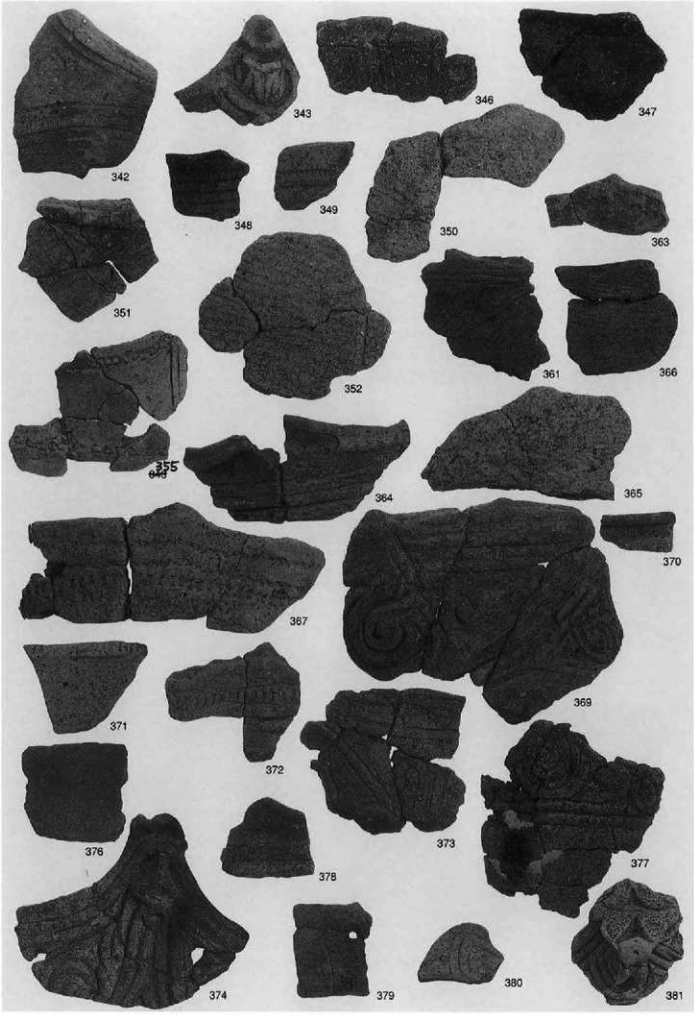


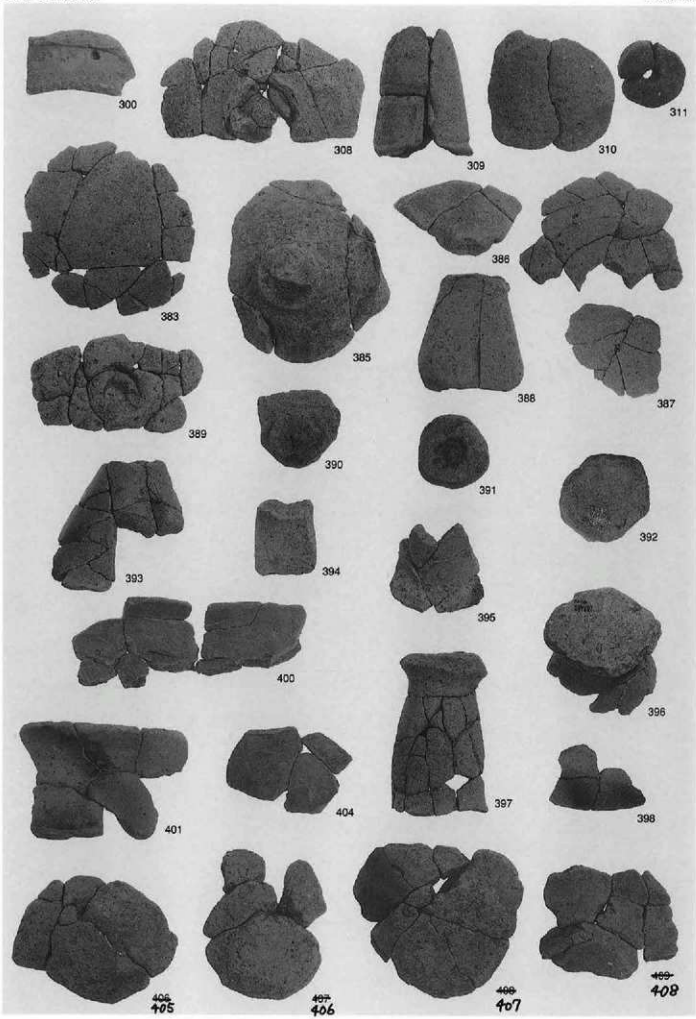
382

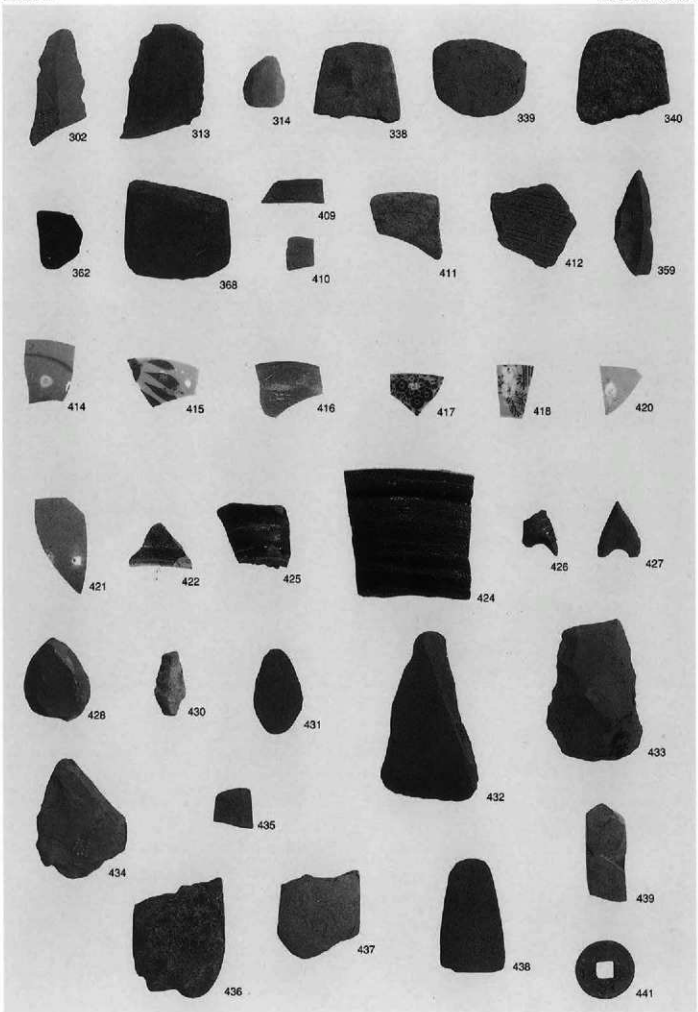
403


303
304
305
306
307
312
318
319
320
321
322
323
324
325
402
422
413
416


315
316
317
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
341
344
345
353
354
356
357


342
343
346
347
348
349
350
363
351
352
361
366
355
364
365
367
370
369
371
372
373
376
377
378
374
379
380
381

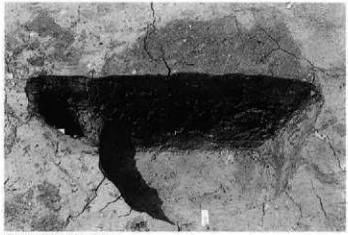

300
308
309
310
311
383
385
386
388
387
389
390
391
392
393
394
395
400
396
401
404
397
398
405
406
407
408


302
313
314
338
339
340
362
368
409
410
411
412
359
414
415
416
417
418
420
421
422
425
424
426
427
428
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
441

建物2全景（南から）

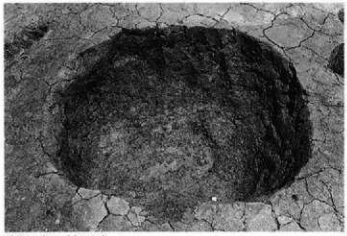
建物2全景（東から）

建物2P層位（南から）


建物2P層位（東から）

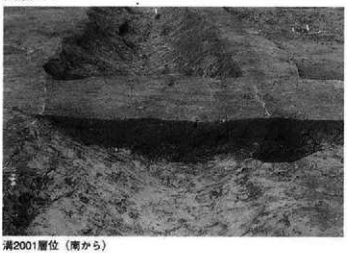
建物2P層位（東から）

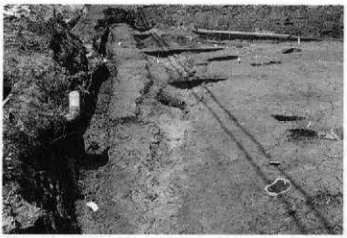
溝2034層位（東から）


建物2P完掘（南から）

溝2011層位（南から）

図版109


溝2001層位（南から）


溝2001層位（南から）

土坑2029（南から）

土坑2080完堀（南東から）

土坑2080層位（南から）

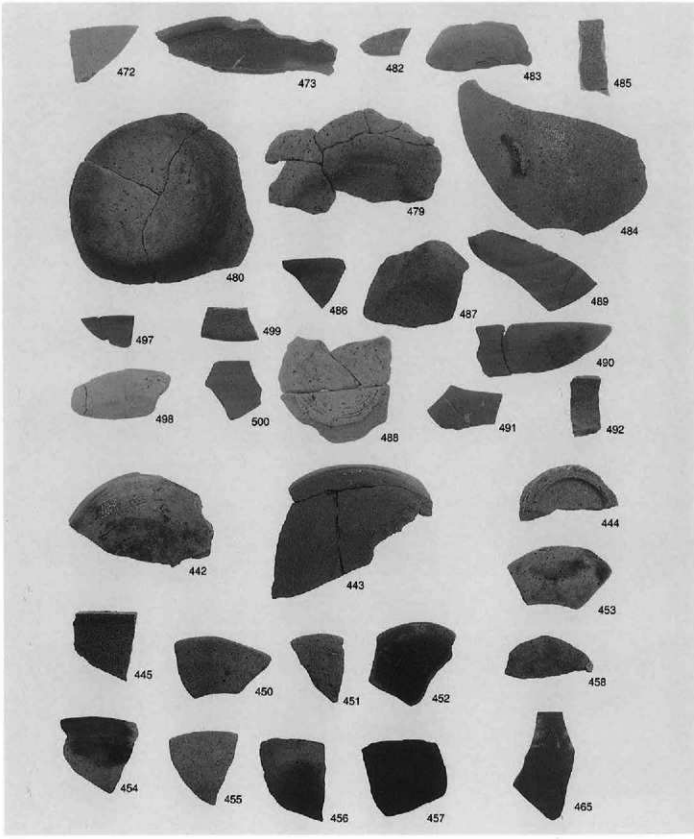
土坑2071層位（南から）

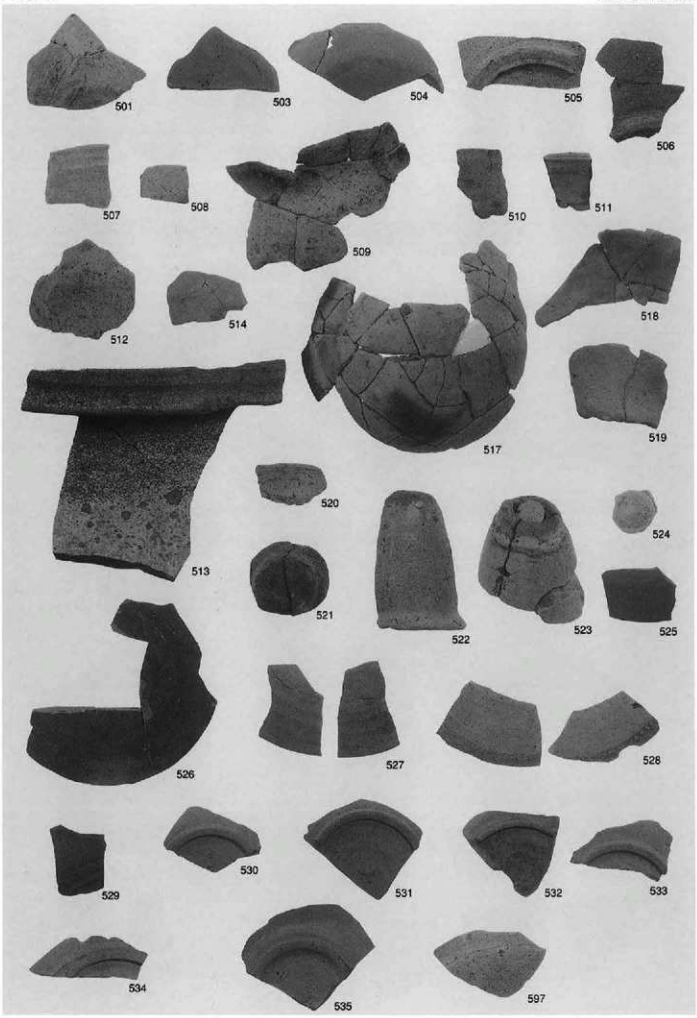
ピット2071層位（南から）

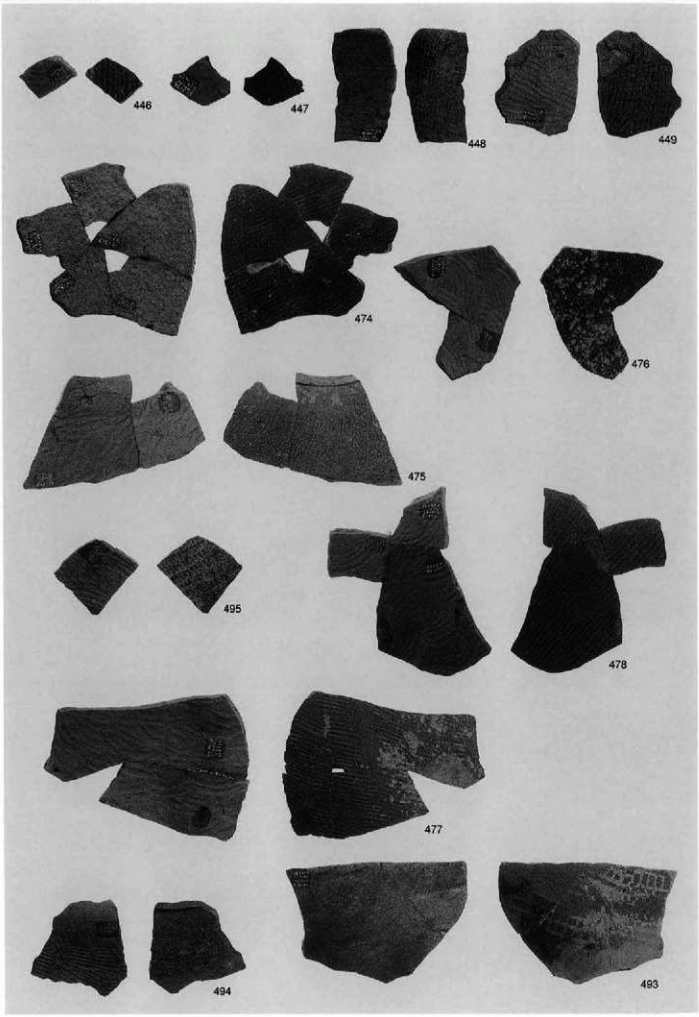
調査区東壁層位

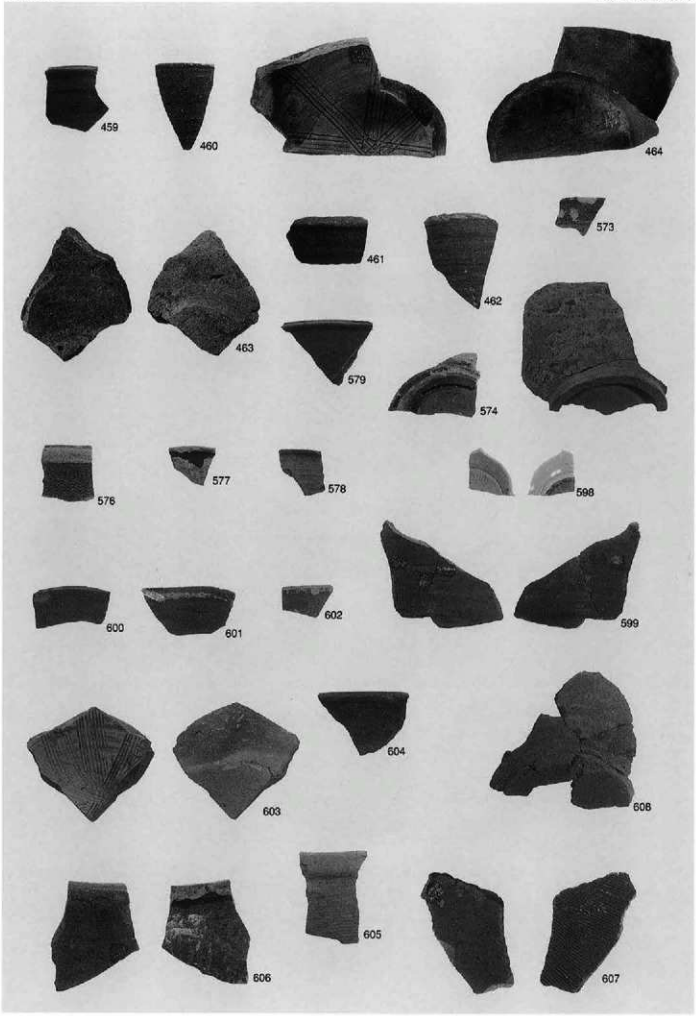
515

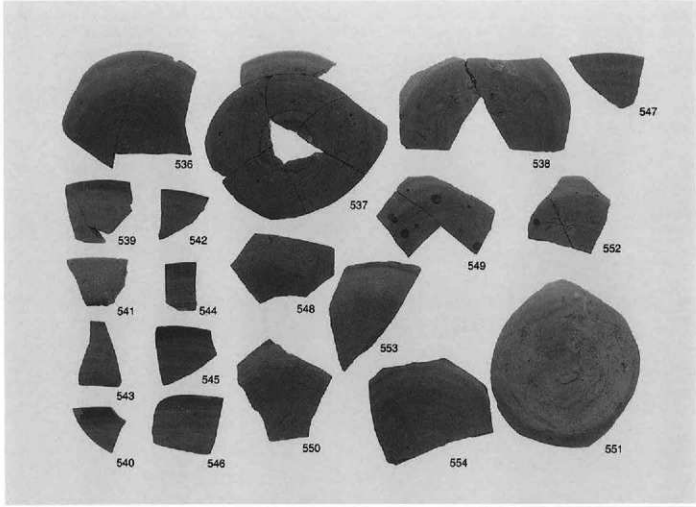
516

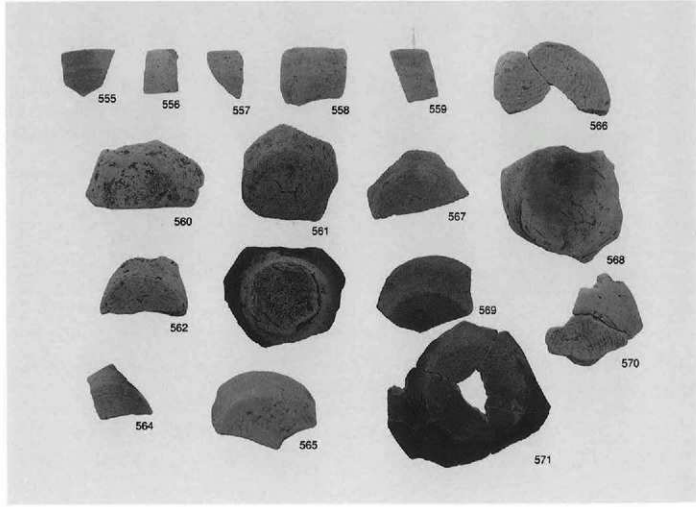

472
473
482
483
485
479
484
480
486
487
489
497
499
490
498
500
488
491
492
444
442
443
453
445
450
451
452
458
454
455
456
457
465

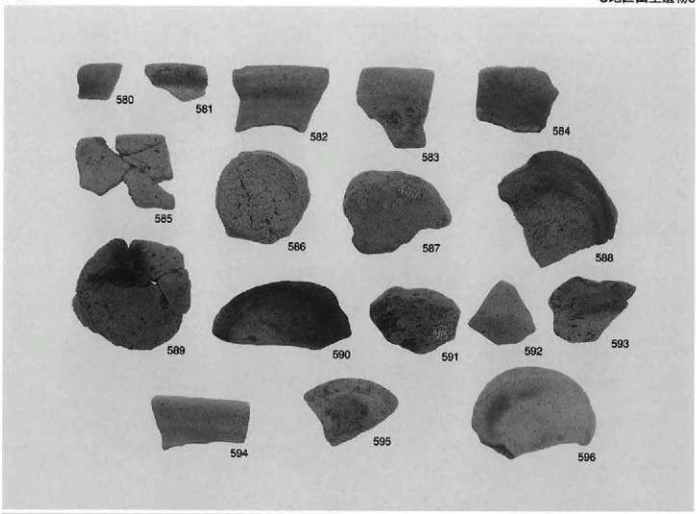

501
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
514
517
518
519
513
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
597

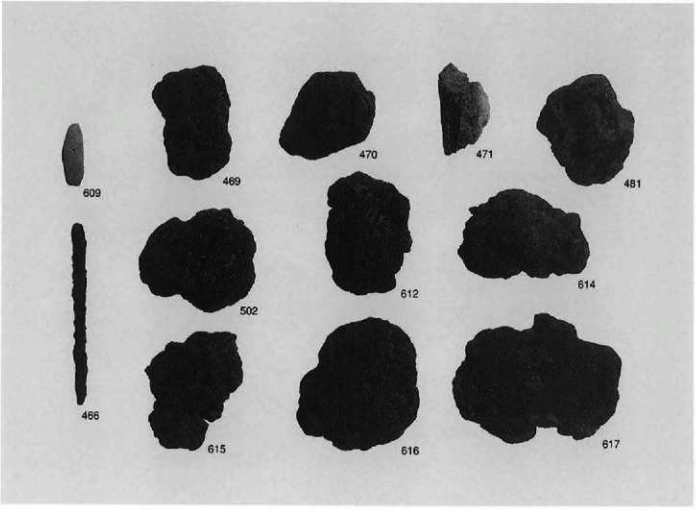

446
447
448
449
474
476
475
495
478
477
494
493


459
460
464
461
462
573
463
579
574
576
577
578
598
600
601
602
599
604
608
603
605
606
607


536
537
538
547
539
542
549
552
541
544
548
553
543
545
551
540
546
550
554


555
556
557
558
559
566
560
561
567
568
562
569
570
564
565
571


580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596


609
469
470
471
481
502
612
614
466
615
616
617

報告書抄録

ふりがな	つぼのうちつかぐん・つぼのうちいせきはっくつちょうさほうこくしょ
書名	坪之内塚群・坪之内遺跡発掘調査報告書
副書名	県代行町道南慶寺線道路改築工事に伴う発掘調査
シリーズ名	西山町文化財調査報告書
シリーズ番号	第８集
編著者名	中島義人
編集機関	西山町教育委員会
所在地	〒949-4193　新潟県刈羽郡西山町大字池浦117-2　TEL(0257)47-4006
発行年月日	2005年3月2日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 基	調査原因
つぼのうち つかぐん 坪之内塚群	ぶんぷくしょうじ　ぶんぷくしょうじ　ぶんぷくしょうじ 新潟県刈羽郡西山町大字 ぶんぷくしょうじ　ぶんぷくしょうじ 坂田字坪之内4077ほか	15505	114～120 164～167	37度 26分 34秒	138度 39分 12秒	20000612 ～ 20010314	11	県代行町道 南慶寺線 道路改築工事

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
坪之内塚群	塚	不明	塚・基壇・周溝	縄文土器・須恵器・石器・古銭・近世陶磁器	塚構築時の埋納などは認められない。

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 I	調査原因
つぼのうち いせき 坪之内遺跡	ぶんぷくしょうじ　ぶんぷくしょうじ　ぶんぷくしょうじ 新潟県刈羽郡西山町大字 ぶんぷくしょうじ　ぶんぷくしょうじ 坂田字坪之内4077ほか	15505	178	37度 26分 34秒	138度 39分 12秒	20000908 ～ 20020909	7,260	県代行町道 南慶寺線 道路改築工事

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
坪之内遺跡	集落跡	縄文時代 弥生時代 古墳時代 古代 中世	竪穴住居・掘立柱建物・土坑 ピット・溝	縄文土器・石器・弥生土器・須恵器・土師器・勾玉・鉄滓・古銭	縄文時代中期の竪穴住居からなる集落跡。 弥生時代後期の翡翠製勾玉が出土した。

西山町文化財調査報告書第8集

新潟県刈羽郡西山町

２００５年３月

発行　西山町教育委員会
印刷　北越印刷株式会社
長岡市福住1丁目6－27